

2018年度（平成30年度）事業報告

（2018（平成30）年4月1日から2019（平成31）年3月31日まで）

1 公益目的事業の状況

「公1 より良い社会の形成を推進するため、資金等の資源を募り管理活用し、また社会的活動を行う団体に対して助成、顕彰等を行うほか、社会貢献活動についての調査、研究、情報発信、相談・助言等を行う事業」にかかわる個別事業の本年度事業結果を以下に報告する。

（1） 資金等の資源を募り、管理・活用する事業

広く個人や企業等からの寄附を社会的活動につなげていくもので、当財団の中心的な事業である。受け入れた寄附金を助成金として活用する側面を含めて、本項に記載する。

2018年度に当財団が受け入れた寄附金は合計161,074,072円であった。当財団の呼びかけに賛同しご支援くださった、個人・企業の寄附者の皆様に深く感謝する。

1) オンライン寄附サイト「Give One（ギブワン）」登録団体への寄附の募集

オンライン寄附サイト「Give One（ギブワン）」を運営し、不特定多数の市民、特に初めて寄附を行う人や仕事が忙しく社会貢献活動の機会のない人などを対象に、当財団による厳正な事前審査を経た、信頼できる団体の活動情報を提供し、寄附を募った。助成先団体情報の更新、団体活動レポートの送信などを通じ、寄附者が助成先事業を共に支えていることが実感できる仕組みを提供している。

2018年度は、新規登録団体の公募・審査を行い、新たに18団体を採用した（年度末までにプロジェクト登録しているのは15団体）。2018年度末の登録団体の状況は、前年度より13団体増加し184団体となった。登録プロジェクト数は常時変動はあるものの、年度末時点での状況としては昨年度より26増加して272プロジェクトとなった。

2018年度（2018年4月～2019年3月）のオンライン受入寄附金額（クレジットカードとジャパンネット銀行を通じた決済金額）は合計29,048,060円で、前年度比約30%増となり、目標の前年度10%増を上回ることが出来た。

寄附申込の翌々月末に助成金の振込を行うことから、2018年度（2018年4月～2019年3月）に登録団体に対する助成した金額は、2018年2月～2019年1月の間に寄附の申込のあった受入寄附金26,388,933円の85%にあたる22,430,593円であった。また運営管理費用として、同15%の3,958,340円を充当した。

2018年度（2018年4月～2019年3月）の団体別受入寄附金額及び助成金額の実績は下記の通りである。

※ 受入寄附金額降順

助成先団体名	受入寄附金額	助成金額
Learning for All	5,025,106	5,071,119
Earth Company（アース・カンパニー）	2,510,000	0
パブリックリソース財団「Give One 寄付パッケージ」窓口	2,200,425	1,988,500
【東日本大震災】生活再建支援寄付パッケージ	136,000	120,700
【東日本大震災】復興ふくしま支援寄付パッケージ	22,000	21,250
【震災特別寄付パッケージ】被災地3県の7団体応援プロジェクト	186,000	269,439
【シリア内戦】緊急人道支援寄付パッケージ	10,000	11,900
【熊本地震】緊急被災者支援パッケージ	16,500	17,425
【西日本豪雨】緊急被災者支援パッケージ	1,721,995	1,463,696
【北海道胆振東部地震】緊急被災者支援パッケージ	42,930	36,491
【インドネシアスラウェシ島地震】緊急支援パッケージ	65,000	47,600
日本クマネットワーク（JBN）	2,018,660	330,446
全国女性シェルターネット	1,348,500	1,243,975
フードバンク関西	824,612	664,795
ジャパン・プラットフォーム	819,002	652,176
女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ	751,308	622,005
はたらく女性の全国センター（ACW2）	456,000	391,850
子どもシェルターモモ	448,000	347,650
難病の子どもとその家族へ夢を	409,100	349,435
長野サマライズ・センター	408,000	363,035
JUON（樹恩）NETWORK	389,500	338,725
日本芸能実演家団体協議会	377,220	321,487
石西礁湖サンゴ礁基金	376,770	316,200
スマイリングホスピタルジャパン	373,000	294,950
ピース ウィンズ・ジャパン	372,100	318,495
CAPセンター・JAPAN	369,500	355,300
アムダ（AMDA）	354,600	307,360
新宿連絡会	320,500	277,100
地球の友と歩む会（LIFE）	276,650	220,703

ケア・インターナショナル ジャパン	269,737	279,286
子どもセンター「パオ」	255,000	221,000
越谷らるご	254,720	211,067
SOS 子どもの村 JAPAN	252,500	200,600
フードバンク山梨	249,620	225,777
フローレンス	236,000	208,250
日本地雷処理を支援する会（JMAS）	230,700	197,795
ビッグイシュー基金	225,400	208,760
難民を助ける会	216,000	195,500
白神山地を守る会	213,207	227,198
日本 IDDM ネットワーク	206,700	185,045
ブリッジフォースマイル	194,000	144,500
パレスチナ子どものキャンペーン	184,000	176,800
パブリックリソース財団	184,000	183,600
グッドネーバーズ・ジャパン	181,000	148,750
チャリティーサンタ	176,000	149,600
more trees	175,000	140,250
フェアスタートサポート	175,000	119,850
こころ塾	162,000	124,950
国際環境 NGO FoE Japan	162,000	150,450
キッズドア	156,500	128,775
自立支援センターふるさとの会	140,500	126,225
ぱれっと	138,000	116,450
子どもセンターぽると	124,000	116,450
ReRoots	122,500	95,625
あおもり NPO サポートセンター	115,000	97,750
芸術家と子どもたち	106,000	107,100
チャイルド・リソース・センター	103,000	89,250
大雪山自然学校	101,000	85,850
ピアサポートネットしぶや	100,000	76,500
CODE 海外災害援助市民センター	97,000	77,350
日本国際民間協力会（NICCO）	95,000	84,150
日本クリニックラウン協会	90,000	72,250
緑の地球ネットワーク	89,000	84,150
子どもの虐待防止ネットワーク・あいち（CAPNA）	88,000	77,350

カパティラン	86,550	55,718
エバーラスティング・ネイチャー	86,000	65,450
トゥギャザー	85,000	62,050
インフォメーションギャップバスター	80,000	85,000
リトルワンズ	77,000	65,450
エイブル・アート・ジャパン	76,500	67,575
ビーンズふくしま	74,720	67,762
ハンガー・フリー・ワールド	73,000	70,550
アトピッ子地球の子ネットワーク	72,000	61,200
楽の会リーラ	69,500	55,250
まちぼっと	67,000	69,700
ジャパンハート	63,500	41,650
彩結び	62,872	62,791
民際センター	62,000	52,700
こどもコミュニティケア	59,000	51,850
エイズ孤児支援 NGO・PLAS	58,000	48,450
H I Vと人権・情報センター	55,000	38,250
遠野まごころネット	51,000	44,200
おおいた環境保全フォーラム	50,000	42,500
日本点字図書館	50,000	35,700
箕面こどもの森学園	46,136	39,216
シャンティ国際ボランティア会	45,000	39,950
DPI 日本会議	44,000	38,250
環境＝文化NGO ナマケモノ倶楽部	43,000	38,250
公害地域再生センター	42,000	34,000
女性の安全と健康のための支援教育センター	42,000	61,200
ACE	40,000	37,400
アイキャン	40,000	33,150
いるかねっと	40,000	25,500
「みのお山麓保全ファンド」	39,000	41,650
霧多布湿原ナショナルトラスト	39,000	28,900
アジア・アフリカと共に歩む会	38,000	36,550
東京シューレ	37,000	39,100
シャプラニール＝市民による海外協力の会	34,000	33,150
ふよう土2100	34,000	29,750

メコン・ウォッチ	32,000	27,200
地域・教育魅力化プラットフォーム	32,000	27,200
病気の子ども支援ネット 遊びのボランティア	30,000	23,800
リソースセンターone	29,000	22,950
しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西	28,145	16,273
子どもの虐待防止センター	27,000	21,250
たんぽぽの家	26,000	0
芸術と遊び創造協会	25,000	20,400
ブリッジエーシアジャパン	24,000	23,800
レイブクライシスセンターTSUBOMI	24,000	13,600
トラ・ゾウ保護基金	23,000	19,550
リヴォルヴ学校教育研究所	23,000	20,400
持続可能な開発のための教育推進会議	20,000	17,000
楠の木学園	20,000	34,000
アレルギー支援ネットワーク	19,000	16,150
棚田 LOVER' s	19,000	16,150
エッジ	18,000	24,650
タンザニア・ポレポレクラブ	18,000	17,850
のんびりすみちゃんの家	18,000	18,700
国際ビフレンダーズ 東京自殺防止センター	18,000	15,300
おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ	17,000	15,300
e-MADO 病気のこどもの総合ケアネット	16,000	13,600
気候ネットワーク	15,000	9,350
多言語社会リソースかながわ	15,000	55,250
緑と水の連絡会議	15,000	12,750
インド福祉村協会	14,000	11,900
5years	13,000	11,050
サイエンス・アクセシビリティ・ネット	13,000	2,550
e-Education	12,000	10,200
Hands On Tokyo	12,000	10,200
チャンス・フォー・チルドレン	12,000	10,200
ゆるら	12,000	10,200
響愛学園	12,000	10,200
桜ライン 311	12,000	10,200
チャイルド・ファンド・ジャパン	11,000	29,750

知床自然大学院大学設立財団	11,000	17,850
東京 YMCA “liby (リビー)”	11,000	17,850
JHP・学校をつくる会	10,000	8,500
チャイルドラインあいち	10,000	17,000
尾道空き家再生プロジェクト	10,000	8,500
アジア協会アジア友の会	7,000	5,950
樹木・環境ネットワーク協会	7,000	7,650
グリーンケア&ピアサポート 福島れんげの会	6,000	10,200
ロボカップ日本委員会	6,000	5,100
ジェン (JEN)	5,000	51,000
ムラのミライ	5,000	5,950
発達わんぱく会	5,000	0
みらいの森	3,500	0
アイサーチ・ジャパン	3,000	2,550
日本ウミガメ協議会	3,000	2,550
21世紀協会	2,000	5,100
WE21 ジャパン	2,000	1,700
日本国際ボランティアセンター (JVC)	2,000	1,700
きょうとグリーンファンド	1,000	850
みやぎ身体障害者サポートクラブ	1,000	0
伊万里はちがめプラン	1,000	850
高木仁三郎市民科学基金	1,000	850
児童虐待防止協会	1,000	850
地雷廃絶日本キャンペーン	1,000	850
日本フィランソロピー協会	1,000	1,700
マギーズ東京	0	10,200
ワールドキッズコミュニティ	0	8,500
東京 YMCA	0	8,500
合計	29,048,060	22,430,593

(注) アース・カンパニーに対する助成金額が0 (ゼロ) 円となっているのは、同寄附が発生したのが、2019年2月と3月であったためである。

また、上記の寄附金額には、寄附文化を広げることを目的に実施する、オンライン寄付のキャンペーン「E-ファンドレイジング・チャレンジ」(2回)の寄附金額を含んでいる。

1 回目・・・698,000 円

期間：2018 年 5 月 22 日～2018 年 7 月 5 日

(参加団体は 2017 年度新規団体 5 団体)

2 回目・・・1,601,981 円

期間：2018 年 12 月 10 日～2019 年 1 月 15 日：寄付月間に合わせて実施。

(参加団体は 28 団体 (内新規団体 10 団体))

クレジットカードとジャパンネット銀行以外の決済手段による、Give One (ギブワン) 登録団体に対する寄附は、25 件、合計 3,176,733 円だった。

寄附者名	受入寄附金額
株式会社 クオカード 様 (6 件)	111,800
みずほ社会貢献ファンド 様	1,000,000
azbil みつばち倶楽部 様	900,000
ゴールドマン・サックス証券 様	858,823
個人 (11 件)	224,000
乾杯・ごちそう・ありがとう チャリティ in 神楽坂	82,110
株式会社 アロス 様	15,000
株式会社 アミナコレクション 様	24,370
株式会社 椿屋池田商店 様	1,740
株式会社 エス・シー・シー 様	31,000
愛フラワースタジオ 様	10,000
合 計	3,176,733

2018 年度は以下の助成先に合計 3,097,368 円を助成した。

(2016 年度に受け取ったご寄附のうち 400,000 円を、2018 年度に繰り越して助成したものを含んでいる。(※印助成先団体に 100,000 円ずつ助成))

助成先団体名	助成額
5years	730,000
アムダ (AMDA)	288,813
難民を助ける会	265,627
ジャパン・プラットフォーム	265,624
ピース ウィンズ・ジャパン	265,624

CAPセンター・JAPAN ※	185,000
芸術家と子どもたち ※	102,210
エイブル・アート・ジャパン ※	100,000
キッズドア ※	100,000
インフォメーションギャップバスター	85,000
バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター	85,000
フードバンク山梨	85,000
越谷らるご	85,000
子どもセンター「パオ」	85,000
児童虐待防止協会	85,000
女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ	85,000
長野サマライズ・センター	85,000
Learning for All	47,600
石西礁湖サンゴ礁基金	31,042
JUON(樹恩) NETWORK	22,194
エバーラスティング・ネイチャー	7,378
チャリティーサンタ	2,550
日本クリニックラウン協会	2,006
ムラのミライ	1,700
合計	3,097,368

2) 財団運営への寄附

当財団の賛助会費（運営費 100%）は、個人 44 件、570,000 円、法人 4 件、400,000 円の合計 970,000 円だった。

また、財団指定寄附（事業費 100%）は、個人 1 件、10,000 円、法人 1 件、2,706 円、合計 12,706 円だった。

3) 社員参加型／顧客参加型寄附推進システムの提供・運営

<寄附付き年賀状>

寄附金付き年賀状の企画は株式会社プリプレス・センターと協働して、2014 年版年賀状（当財団 2013 年度）から実施している。年賀状に支援先を明記するために、年賀状の販売開始に先立ち、2014 年度に助成先に関する選考委員会を開催し本年賀状のデザインで採用される障がい者アートの活動（一般財団法人たんぽぽの家 エイブルアート・カンパニー）

を助成先として決定した。2018年度は、2018年版年賀状販売による寄附金（90,612円）をもとに、77,021円の助成を実施した。

受入寄附金額	90,612円
助成額	77,021円
公募	公募実施せず（継続助成）
審査会	2014年7月11日～17日（書面による持回り開催）
選考委員	■■■■■（立命館大学産業社会学部 教授） ■■■■■ 世界文化フォーラムアライアンス 日本幹事） ■■■■■（特定非営利活動法人ニンジン 常務理事）
審査結果	一般財団法人たんぼの家 エイブルアート・カンパニー
助成期間	2018年4月～2019年3月

<魚沼の未来基金>

本基金は、塩沢信用組合と協働して、魚沼地域の未来を切り拓く人材や団体を支援し、地域の誰もがいきいきと暮らせるふるさと魚沼を、将来にわたって継承・発展させることを目的として設立した。

本基金は、信用組合が組合員に呼びかけて寄附を募り共に地域に貢献するという、金融機関が「社会貢献のプラットフォーム」を提供する日本初の取り組みである。

ご寄附は「はばたき奨学金」（返済不要の高校生向け奨学金制度）に活用され、新1年生一人当たり96,000円（入学準備金36,000円、月例奨学金60,000円（5,000円×12か月））、新2,3年生は60,000円（月齢奨学金60,000円（5,000円×12か月））を支給している。

2018年度は226件、7,089,811円の寄附を受け入れた。

また、「第三期はばたき奨学金」対象者として、魚沼地域のひとり親家庭の子女50名（新1年生13名・新2年生20名・3年生17名）の奨学生の選定を行った。

2018年度の奨学金支給は、第二期奨学生38名に対して月例奨学金、第三期奨学生のうち新1年生に入学準備金を支給した。

受入寄附金額	7,089,811円
総決定金額	3,468,000円（96,000円×13名、60,000円×37名）
助成額	第二期：2,175,000円 第三期：468,000円（新1年生に対する入学準備金のみ） 合計：2,643,000円

公募	2018年10月1日～12月14日
応募	51件
審査会	2019年1月31日
選考委員	■■■■■ (新潟大学工学部建設学科 准教授) ■■■■■ (南魚沼市長) ■■■■■ (魚沼市長) ■■■■■ (塩沢信用組合 理事長)
審査結果	50人を奨学生として選定
助成期間	2019年3月1日～2020年3月31日

< ささえあい QUO カード (寄附つきプリペイドカード) >

ささえあい QUO カード (寄附つきプリペイドカード) の企画は株式会社クオカードと協働して、2015年から販売を実施している。寄附先団体は、昨年度から引き続き「特定非営利活動法人石西礁湖サンゴ礁基金」「認定特定非営利活動法人エバーラスティング・ネイチャー」「特定非営利活動法人日本クリクラウン協会」「特定非営利活動法人芸術家と子どもたち」「AED・健康スポーツ基金」「アート&ヘルス基金」「認定特定非営利活動法人 AMDA (アムダ)」である。

なお、ささえあい QUO カード (寄附つきプリペイドカード) の販売は2018年度をもって終了となった。

受入寄附金額と枚数	石西礁湖サンゴ礁基金：36,400円、910枚 エバーラスティング・ネイチャー：8,560円、214枚 日本クリクラウン協会：2,120円、53枚 芸術家と子どもたち：2,480円、62枚 AED・健康スポーツ基金：4,560円、114枚 アート&ヘルス基金：7,800円、195枚 AMDA (アムダ)：62,240円、1,556枚 総額：124,160円、総販売枚数：3,104枚
-----------	---

4) 寄附基金の運営による継続的な寄附の推進今期は下記の基金を運営した。

< 東北 3.11 基金 >

福島、宮城、岩手の子どもたちをめぐる課題を解決し、子どもたちが自らの力で未来を

切り開いていく活動を支援する基金である。認定特定非営利活動法人ジャパン・カインドネス協会の管理する寄附金つき飲料自動販売機の売り上げから、2018年度は、1,748,386円の寄附を受け入れ、2団体に対し合計800,000円を助成した。

受入寄附金額	1,748,386 円
助成額	800,000 円
公募	2018年4月2日～5月1日
審査会	2018年5月（メールによる持ち回り審査）
審査委員	<p>■■■■（立命館大学産業社会学部 教授）</p> <p>■■■■（世界文化フォーラムアライアンス 日本幹事）</p> <p>■■■■（特定非営利活動法人ニンジン 常務理事）</p>
審査結果	<p>以下の2団体を決定</p> <p>特定非営利活動法人いわき放射能市民測定室</p> <p>一般社団法人ヴォイス・オブ・フクシマ</p>
助成期間	2018年7月1日～2019年6月30日

<未来につなぐふるさと基金>

同基金は、キャノンマーケティングジャパン株式会社が使用済みカートリッジの回収本数とPPC用紙（コピー紙）の販売数に応じ同社が実施する寄附や、古本の回収等による一般からの寄附も受け付けている。同基金への2018年度寄附受け入れ件数は11件、総額は13,274,213円だった。

2017年度に採択された5団体については、2018年12月に継続審査を行い、継続助成（助成期間：2018年1月～2019年12月）を決定し、2,395,000円を助成した。また、2019年2月に新規助成団体の審査を行い、5団体を採択し（助成期間：2019年4月～2019年12月）、2,500,000円を助成した。

2018年度の助成先である10団体において、生物多様性の保全を促す46の市民参加型プログラムが実施され、1,086名の市民が参加した。また、キャノンマーケティングジャパン株式会社が助成先団体において実施する写真教室（機材と講師の無料提供）に協力し、合計10回実施した。加えて、助成先団体の組織運営力の向上を目的とした組織診断や広報ワークショップ等の、運営面での支援を行った。キャノンマーケティングジャパン株式会社が生物多様性の啓発を目的として開設した「未来につなぐふるさとプロジェクト」のサイトに掲載するためのコンテンツの収集に協力し、公益財団法人日本自然保護協会と協力して、生物多様性の専門的見地からのコメントを作成した。

2019年3月1日には、東京都品川区のキヤノンマーケティングジャパン株式会社本社で報告会を開催し、助成先の10団体が参加して情報交換や意見交換を行った。

受入寄附金額	13,274,213 円
助成額	4,895,000 円 (2019 年度分を2018年度に助成)
公募	2018年11月1日～2019年1月10日 (新規団体のみ)
審査会	2018年 12 月： 2019 年助成の継続審査 (メールによる持ち回り審査) 2019年 2月15日：2019年助成の審査
審査委員	<p>■■■■ (国学院大学大学院経済学研究科 教授)</p> <p>■■ ■■ (公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会、環境委員会副委員長、ESD活動支援センター ユース事業担当コーディネーター)</p> <p>■■ ■■ (公益財団法人日本自然保護協会 自然保護部)</p> <p>■■■■ (キヤノンマーケティングジャパン株式会社 CSR本部長)</p>
審査結果	<p>継続助成 (5団体)</p> <p>特定非営利活動法人営利活動法人霧多布湿原ナショナルトラスト</p> <p>特定非営利活動法人小網代野外活動調整会議</p> <p>富士山アウトドアミュージアム</p> <p>海辺工房ひとで</p> <p>特定非営利活動法人宮古島海の環境ネットワーク</p> <p>新規助成 (5団体)</p> <p>特定非営利活動法人 里山倶楽部</p> <p>特定非営利活動法人 三段峡-太田川流域研究会</p> <p>公益財団法人 高知県牧野記念財団</p> <p>環境ネットワーク「虹」</p> <p>貝殻浜生物調査隊</p>
助成期間	<p>継続</p> <p>2019 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日</p> <p>新規</p> <p>2019 年 4 月 1 日～2019 年 12 月 31 日</p>

<教育基金>

教育の課題解決に取り組む NPO や社会的企業を応援するための教育基金は、全ての子ども・青少年が持てる力を十全に発揮し、人生を切り拓く力を身に着けることをめざすもの

である。2014 年度に選考委員会で決定した助成先 NPO 法人 Teach For Japan のネクストティーチャープログラム（次世代のリーダーとなる資質をもった人材を選抜・育成し、正規の教員として学校現場へおくりだすプログラム）に対し、継続的に助成をしている。寄附募集の結果、今年度は 13 件 22,800 円の寄附を受け入れ、19,383 円を助成した。

受入寄附金額	22,800 円
助成額	19,383 円
公募	公募実施せず（2014 年度より継続助成）
審査結果	特定非営利活動法人 Teach For Japan
助成期間	2018 年 4 月～2019 年 3 月

<アート&ヘルス基金>

「アート&ヘルス基金」は、アートの力で病院や福祉施設、学校、コミュニティケアの場を豊かな空間とすることを目指すもので、人間が生きることを助けるアート活動を支える寄附の仕組みである。2018 年度は 9 件、42,800 円の寄附を受け入れた。2018 年度は助成は実施せず、全額を繰り越した。

<AED・地域あんしん基金>

キャノンマーケティングジャパン株式会社と共同で「AED・地域あんしん基金」を設立した。本基金はご寄附をもとに、多くの市民が利用する公共施設や福祉施設に AED を寄贈し、災害時などに避難所となることが想定される施設などに設置することを目的としている。運営管理はパブリックリソース財団が行い、キャノンマーケティングジャパン株式会社は募金活動の協力および AED の設置、講習インストラクターの派遣を行った。

本年度は、3 件合計 1,606,360 円の寄附を受け入れた。

審査委員会で応募 6 団体を審査し、2018 年度は 4 団体への寄贈を決定した。

受入寄附金額	1,606,360円
寄贈台数	4 台 ※前年度以前受け入れ寄附分も含む
公募	財団ホームページ上で随時受け付け
応募件数	6 団体
審査会	2018 年 7 月、11 月（メールによる持ち回り審査）

選考委員	<p>■■■■ (早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」 招聘研究員)</p> <p>■■■■ (NPO法人世田谷福祉住環境コーディネーター研究会 理事長)</p> <p>■■■■ (キャノンマーケティングジャパン株式会社 総務・CSR本部 主席) ※7月まで</p> <p>■■■■ (キャノンマーケティングジャパン株式会社 CSR本部CSR推進部) ※11月より</p> <p>■■■■ (特定非営利活動法人笑顔せたがや 理事・事務局長)</p>
AED寄贈先 選定結果	<p>4 団体を決定。</p> <p>特定非営利活動法人命と子育て応援隊FAD</p> <p>社会福祉法人三央会</p> <p>社会福祉法人共生の里 夢活動センター八幡</p> <p>特定非営利活動法人もりのこえん</p>

< A E D ・健康スポーツ基金 >

公益財団法人日本健康スポーツ連盟と共同で、「A E D ・健康スポーツ基金」を設立した。本基金はご寄附をもとに、地域スポーツに関わる多くの人がA E D を使えるよう、地域のスポーツチームにA E D を寄贈することを目的としている。運営管理はパブリックリソース財団が行い、日本健康スポーツ連盟は、募金活動、A E D 普及についての啓蒙活動、講習インストラクターの派遣と講習の実施を行う。本年度は、2 件合計 25,270 円の寄附を受け入れた。

なお、本基金は公益財団法人日本健康スポーツ連盟と協議の上、2018 年度をもって活動を終了し、指定寄付金残高 296,935 円に関しては同用途のA E D ・地域あんしん基金にて引き継ぐこととなった。

< ふくしま未来基金 >

「ふくしま未来基金」は福島県内の篤志家及び地域貢献を目指す企業からの寄附で創設された地域基金である。基金創設時に受け入れた大口寄附をもとに運営を行っており、2018 年度の受け入れ寄附は、10,500 円にとどまった。

2018 年度は、一般財団法人ふくしま未来研究会や一般社団法人ふくしま連携復興センターなど、複数の福島市内の中間支援組織や専門家と連携しながら、「未来づくり助成 (1 年 300 万円+コンサルタント支援 50 万円相当、2 年間継続助成)」「まちづくり草の根助成 (単年度支援 100 万円)」の二つの助成プログラムを実施した。福島市内を中心とする 15 団体 (内 3 団体は 2018 年度からの継続) に総額 23,295,320 円を助成した。

同基金では、資金助成だけでなく、経営支援を行うことを重視している。全助成団体の

理事およびスタッフを対象に、NPO マネジメント講座（通信講座）を実施したほか、「未来づくり助成」の助成団体に対して、組織基盤強化のためのコンサルタント派遣による経営支援を実施した。「まちづくり草の根」の助成団体についても、受け入れ条件が合致する団体については、組織診断を実施した。

また、2018年度は、前年度に実施した公開研究会で提起された県内NPOの抱える問題点・課題に対する具体的対策を立案し、希望団体に対して、財務会計に関する事務局支援を開始した。引き続き2019年度には会計専門家派遣や労務管理研修も実施することを決定した。

受入寄附金額	10,500 円
助成額	23,295,320 円（総額） ※前年度以前受け入れ寄附分も含む
公募	2018年3月6日～4月4日
応募件数	52 団体
審査会	一次審査会：2018年5月10日 二次審査会：2018年5月27日
選考委員	<p>■■■■■（福島大学学長参与）</p> <p>■■■■■（般財団法人CSO ネットワーク 常務理事）</p> <p>■■■■■（弊財団理事 復興庁上席政策調査官）</p> <p>■■■■■（NPO法人ビーンズふくしま 理事）</p> <p>■■■■■（一般財団法人ふくしま未来研究会）</p> <p>■■■■■（オフィスBeni 代表）</p>
選定結果	<p><未来づくり助成></p> <p>特定非営利活動法人いわき自立生活センター</p> <p>一般社団法人えこえね南相馬研究機構</p> <p>一般社団法人Bridge for Fukushima</p> <p>特定非営利活動法人みんなのひろば</p> <p>特定非営利活動法人Leaf</p> <p><まちづくり草の根助成></p> <p>公益社団法人あい権利擁護支援ネット</p> <p>特定非営利活動法人あさがお</p> <p>特定非営利活動法人0073（おおなみ）</p> <p>欽藍社</p> <p>一般社団法人JAST（日本ソーシャルセラピストアカデミー）</p> <p>特定非営利活動法人ソーシャルデザインワークス</p>

場所	TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター
講師	田口由紀絵（公益財団法人パブリックリソース財団 事務局長） 加留部孝行（NPO法人日本ファシリテーション協会 フェロー） 長浜洋二（株式会社 PubliCo 代表取締役CEO）
受講者数	11 名
組織診断実習先	3 団体

<あい基金>

すべての女性が自らの力で人生を選択できる社会を目指し、経済的自立など女性にまつわる課題解決に取り組む事業を支援する、女性のための基金「あい基金」を運営している。

同基金は1団体あたり50万円、原則2年継続、総額100万円の助成をおこなっている。2018年度は第一期助成団体については、終了報告書を受領し、2年間の助成を完了した。また、第二期助成団体については継続審査を行ったが、継続助成は行わないことを決定した。第三期目の助成事業について、審査会にて新規に1団体を選定し、総額500,000円を助成した。

2019年3月13日にあい基金フォーラム「地域の未来を創る女性たち～課題先進地 東北被災地が変わる～」を開催した。被災地で活動する女性リーダー4名が登壇し、現地の活動の難しさや苦労をリアルに伝えるとともに、地域活性のために女性の活躍の重要性とそれを支援する仕組みが必要であるという問題提起がなされた。また、同フォーラムにて、「新しい参加型の寄付者プログラム”あい基金ギビング・サークル”の創設を宣言し、2019年度に本格始動することを発表した。

2018年度は41件合計1,169,168円の寄附を受け入れた。

受入寄附金額	1,169,168円
助成額	500,000円（総額） ※前年度以前受け入れ寄附分も含む
公募	2019年1月7日～1月31日
応募	11件
審査会	一次審査（書類審査）：2019年2月 二次審査会：2019年3月1日
選考委員	■■■■■（一般財団法人CSOネットワーク 常務理事・事務局長） ■■■■■（損保ジャパン日本興亜株式会社 人事部特命部長） ■■■■■（特定非営利活動法人全国女性会館協議会 顧問）

審査結果	第三期助成決定先 特定非営利活動法人 S E T
助成期間	2019 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日

<純 子ども基金>

同基金は、経済的に困難な状況で育つ子どもの学び、発育、食、住まい等の確保に取り組む団体を対象とするオリジナル基金である。助成先団体の組織基盤強化に取り組むことを通じ、子どもたちが健やかに、心豊かに成長できる環境づくりを進めることを目的として設立された。同基金の助成金プログラムは、1 団体につき初年度 100 万円、2 年度目 150 万円、3 年度目 150 万円、総額 400 万円を支給するもので、継続助成の可否は 1 年毎に改めて審査を行って決定する。当財団がこれまで行ってきた組織診断、コンサルティング、社会的インパクト評価などのマネジメント支援の経験にもとづき、資金支援とメンタリング・サポートの両面から、継続的に団体を応援している。

2018 年度は、2017 年度に採択した 2 団体に対して継続審査を行い、2 団体が引き続き支援対象となり、総額 3,000,000 円を助成した。

受入寄附金額	3,500,000 円
助成額	3,000,000 円（総額）
応募	2 件
審査会	2018 年 4 月 25 日
選考委員	■■■■■（日本福祉大学 教授） ■■■■■（特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター 理事） ■■■■■（特定非営利活動法人ビーンズふくしま 理事）
審査結果	以下 2 団体を決定。 特定非営利活動法人寺子屋方丈舎 特定非営利活動法人ウィーズ
助成期間	2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

<I.H.K 基金>

同基金は、将来の医療福祉分野での活躍を願って、東京都内の児童養護施設または里親宅で暮らしている児童（女子）が高校卒業後に進学する授業料を助成し、児童の社会的自立を支援することを目的に設立された。一人あたり総額 100 万円の返済不要の奨学金を支給している。また、認定特定非営利活動法人ブリッジフォースマイルと連携し、就学期間中、対象者に若い社会人ボランティアを派遣し、社会的自立に向けて、近い年齢層からの

相談しやすい環境を提供していく。

2018年度は1,160,000円の寄附を受け入れた。奨学金選考委員会にて、1名の奨学生を選定し、1年目の奨学金として500,000円を支給した。

受入寄附金額	1,160,000円
総決定金額	1,000,000円 (1年目500,000円、2年目500,000円)
助成額	500,000円
公募	2018年7月4日～7月31日
応募	1件(2017年度に補欠となった児童)
審査会	2018年8月(メールによる持ち回り審査)
選考委員	<p>■■■■ (横浜市男女共同参画センター横浜南 管理事業課長)</p> <p>■■■■ (あしなが育英会 顧問)</p> <p>■■■■ (公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事)</p>
審査結果	1人を奨学生として選定
助成期間	2019年3月29日～2021年3月31日

<ゆーじチャレンジ基金>

同基金は、将来の医療福祉分野での活躍を願って、静岡県内の児童養護施設または里親宅(ファミリーホーム含む)で暮らしている児童が高校卒業後に進学する授業料を助成し、児童の社会的自立を支援することを目的に設立された。一人当たり総額100万円の返済不要の奨学金を支給する。

2018年度は1,220,000円の寄附を受け入れた。奨学金選考委員会にて、1名の奨学生を選定し、1年目の奨学金として250,000円を支給した。

受入寄附金額	1,220,000円
総決定金額	1,000,000円 (1年目250,000円、2年目250,000円、3年目250,000円、4年目250,000円)
助成額	250,000円
公募	2018年7月4日～10月15日
応募	1件
審査会	2018年11月17日

選考委員	■■■■■ (静岡県ボランティア協会市民活動センター 理事長) ■■■■■ (静岡大学 人文社会科学部長) ■■■■■ (公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事)
審査結果	1 人を奨学生として選定
助成期間	2019 年 3 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

<大和証券グループ 輝く未来へ こども応援基金>

同基金は、株式会社大和証券グループ本社の持続可能な社会の実現に向けて貢献する活動の一環として、子どもの環境改善や貧困の連鎖を防止することを目的に創設された基金である。同基金では、子どもの人生への意欲を育み将来の貧困リスクを低減する先駆的な事業をとりあげ、効果的で継続的なものとするための事業開発を支援し、子どもの貧困対策におけるイノベーションを推進している。

同基金の助成金プログラムは、1 団体につき初年度 300 万円、2 年度目 300 万円、3 年度目 300 万円、総額 900 万円を支給する。なお、継続支援には 1 年毎の審査が行われる。

2018 年度は 6 件、23,131,604 円の寄附を受け入れ、審査会にて新規採択 2 団体、継続支援 3 団体を選定した。

受入寄付金額	23,131,604 円
助成額	15,000,000 円
審査会	一次審査会：2018 年 12 月 3 日 二次審査会：2018 年 12 月 13 日
審査委員	■■■■■ (立教大学社会学部・同大学院21世紀社会デザイン研究科教授、認定NPO法人日本NPOセンター 副代表理事) ■■■■■ (特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ 理事長) ■■■■■ (ソーシャルマネジメント合同会社 代表、特定非営利活動法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京 理事) ■■■■■ (公益財団法人あすのば 代表理事) ■■■■■ (株式会社大和証券グループ本社 経営企画部 SDGs推進室長)

審査結果	以下の 5 団体を決定 <新規採択団体> 認定特定非営利活動法人エデュケーションエークューブ 認定特定非営利活動法人D×P <継続支援団体> 認定特定非営利活動法人SOS子どもの村JAPAN 認定特定非営利活動法人PIECES 特定非営利活動法人Learning for All
助成期間	2019 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日

<ゴールドマン・サックス基金>

ゴールドマン・サックス証券株式会社（GS）の持田昌典社長のイニシアチブで創設された基金であり、子どもの貧困問題に取り組む団体を支援している。持田社長は米国の大学で学んで飛躍した自身の経験から、「教育を受けるチャンスがあることは重要だ」と基金の創設を行った。

同基金では、GiveOne 登録団体の中から、NPO 法人「Learning for All (LFA)」(東京都新宿区、李炯植代表理事) を選択し、同団体が展開する学習支援などのプログラムに、今後 3 年で計約 4 億円を助成する予定である。延べ約 750 人の子どもたちへの教育支援を目指している。

2018 年度は、56,866,666 円の寄附を受け入れ、LFA に対し 51,792,539 円を助成した。LFA は、助成金をもとに、東京都葛飾区で公民館、学校などを活用した支援拠点をもうけ、生活が苦しい家庭の小中学生に、スタッフが無償で勉強を教える学習支援を展開するほか、学校や家庭以外の安心できる「第三の居場所」づくりに取り組んだ。LFA の展開するプログラムは、「子どもたちが早期から切れ目なく支援を受けられるセーフティネットを日本に構築する」ことを目標としており、今後、葛飾区での活動をモデル化して全国に広げていくことを目指すものである。

受入寄付金額	56,866,666 円
助成額	51,792,539 円
受益者数	120名

<Women's Social Change Fund>

寄付者の受勲を記念して創設された寄付基金である。来年度以降、女性支援のエコシステムを開発するために活用される予定である。

受入寄付金額	1,144,000 円
助成額	なし

<佐渡水仙基金>

相続財産からの寄附 1 件が実行された。亡くなった母親が若き日に看護師として活躍していたことを偲び、出身地の医療系人材の育成を願っての寄附である。来年度以降、同基金は運営される予定である。

受入寄付金額	2,000,000 円
助成額	なし

<角方基金>

シニア層の寄付者が、これまでの人生で受けた縁に感謝し、未来世代に恩送りするとともに、寄附文化を広めることを希望し、寄附されたものである。来年度以降、寄附文化推進キャンペーン、教育関係の支援に活用される予定である。

受入寄付金額	10,000,000 円
--------	--------------

<株主優待活用プロジェクト>

任意団体「優活プロジェクト」と協働で取り組んだプロジェクトで、放棄されたり有効に使われなかった株主優待品を現物寄附として受け取り、社会貢献に取り組む民間非営利団体等に寄贈した。2018 年度は実験的段階の取り組みとして、2 社から株主優待品を現物で受け取り、18 団体に寄贈を実行し、株主優待品の活用システムの開発に取り組んだ。

受入寄付金額	744,383 円（現物寄附）
寄贈先団体数	18団体

<緊急災害支援基金>

MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社より、災害が起こった際に会社として緊急に募金するための基金を立ち上げたいとの相談を受けた。Give One（ギブワン）の登録団体を助成の対象とすることで迅速な資金支援を行うことを提案し、基金の仕組みを協働で開発した。2018 年度は、緊急時に備えたプール金として、3,000,000 円の寄付を受け入れた。

受入寄付金額	3,000,000 円
助成額	なし

(2) 社会貢献活動についての情報提供、相談事業

社会貢献活動を促進したいと考える企業を対象に、以下の情報提供や成果評価を行った。

<azbil みつばち倶楽部>

Azbil みつばち倶楽部は、会員（アズビル株式会社の役職員の有志）が毎月 100 円を拠出して集めた寄附をもとに、会員が推薦する市民活動団体に対して資金支援をすることを目的としている。本年度は、アズビル株式会社と業務委託契約を結び、支援先の募集、受付、選定、連絡、報告書の取り寄せ、本プログラムへのアドバイス等を行った。

<東日本大震災被災地視察のコーディネート>

クラブツーリズム株式会社と業務委託契約を結び、同社の社会貢献活動の実施支援を行った。本年度は同社の社員や「エコスタッフ」を対象に、東日本大震災被災地視察のコーディネートを行った。同社では本年度現地訪問、講演会、ボランティアなどを実施した。

(3) 寄附を推進するための普及啓発活動等に関する事業

1) 個人や企業等からの寄附を喚起するための事業

遺言や相続に関する寄附やオリジナル基金の創設について説明する各種パンフレットの作成に取り組んだ。遺贈寄附推進のために全国レガシーギフト協会の「いぞうの窓口」として活動した。

2) 寄附を推進する仕組みやプロジェクトの企画及び実施に係る事業

日本証券アナリスト協会の行う、第 16 回 PB（プライベートバンカー）スクール（2019 年 2 月 16 日（土）開催）において、「海外プライベートバンクとフィランソロピー研究 ～ 経営者・資産家に関心の高い話題と課題中心に～」を企画し、「日本でのフィランソロピーの HOWTO - その定義、特長、具体的な進め方」のテーマで、専務理事の岸本幸子が講演を行った。

(4) 社会的活動を行う団体等に対する助成事業

上記（4）は、（1）の事業において受け入れた寄附を活用する事業である。いずれの事業においても、広く対象を募集し、社会的活動や各種の公益活動分野に関して知見のある有識者で構成された委員会による公平かつ厳正な審査を経て選定を行う。（4）の助成事業

については、(1)の事業で記載した。

(5) 社会的活動を行う団体等に対する表彰・顕彰事業

<「チャンピオン・オブ・チェンジ」日本大賞>

本賞は、アメリカ在住の日本出身女性、厚子・東光・フィッシュの提案により、創設された。フィッシュ・ファミリー財団と業務委託契約を結び、本賞の実施を担った。超高齢社会、大災害、子どもの貧困、地域社会の疲弊など様々な課題に対して、勇気をもって自ら行動を起こし、地道に活動を続け、地域社会の課題解決や新たなシステムの構築に取り組んできた女性たちを表彰すると同時に、その活動を広く知らしめ、受賞者の志、知恵やアイデアをより多くの女性と共有し、後につなぎ、より良い社会を築くための社会貢献活動の意義と喜びを広める事を目指している。

公募	2018年6月7日～7月2日
応募	143件
選考会	一次選考会：2018年9月10日 最終選考会：2018年11月12日
選考委員	<ul style="list-style-type: none"> ■■■■ (特定非営利活動法人ケア・センターやわらぎ代表理事) ■■■■ (一般社団法人INNO-Lab International 共同代表) ■■■■ (日本マイクロソフト株式会社 法務政策企画統括本部 渉外・社会貢献課長) ■■■■■■■■■■■■ (フィッシュ・ファミリー財団 共同創設者・理事) ■■■■ (NPO法人CANPANセンター 代表理事) ■■■■■■■■■■■■ (ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク 社長)
選考結果	<p><大賞></p> <p>■■■■ (認定特定非営利活動法人 女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ 代表理事)</p> <p><入賞者></p> <p>■■■■</p> <p>(認定特定非営利活動法人 エンパ ワメントかながわ 理事長)</p> <p>■■■■■■■■■■■■</p> <p>(特定非営利活動法人ADDS 共同代表 (理事))</p>

	<p>■■■■■ (一般社団法人 CAN net(キャンネット) 代表理事)</p> <p>■■■■■ (特定非営利活動法人 BOND プロジェクト 代表)</p> <p>■■■■■ (特定非営利活動法人 チャイルド・ケモ・ハウス 副理事長)</p> <p>■■■■■ (認定特定非営利活動法人 女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ 代表理事)</p> <p>■■■■■ (特定非営利活動法人 移動支援 Rera 代表理事)</p> <p>■■■■■ (特定非営利活動法人 ザ・ピープル いわきおてんとSUN企業組合/ふくしまオーガニックコットンプロジェクト)</p>
表彰式	2018 年 11 月 12 日
表彰内容	<大賞> 正賞 (ティファニー社製カップ) と副賞 100 万円 <ファイナリスト> ティファニー社製の記念品

(6) 社会的活動を行う団体等に対する研修事業

NPO 法人の経営力・信頼性の向上を支援することを目的に、以下の研修事業を実施した。

1) NPO のマネジメントコンサルティングの実施

<社会福祉法人 日本国際社会事業団>

日本国際社会事業団が Panasonic NPO サポート ファンドの支援を受け、弊財団にマネジメントコンサルティングを業務委託した。弊財団では、中期計画策定のためのコンサルティングを 2017 年度に引き続き実施した。

契約期間：2018 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日

コンサルティングの内容：中期計画策定支援

<特定非営利活動法人あそびっこネットワーク>

あそびっこネットワークが独立行政法人福祉医療機構の支援を受け、弊財団に事業の有効性を評価するためのコンサルティングを業務委託した。

契約期間：2018年7月末日～2019年3月末日

コンサルティングの内容：屋外ひろばに併設した相談ひろば事業の事業評価

<特定非営利活動法人あきた結いネット>

あきた結いネットが Panasonic NPO サポート ファンドの支援を受け、弊財団にマネジメントコンサルティングを業務委託した。弊財団では、組織診断のコンサルティングを開始した。

契約期間：2019年1月21日～2019年5月31日

コンサルティングの内容：組織診断

<公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパン>

ケア・インターナショナル ジャパンが Panasonic NPO サポート ファンドの支援を受け、弊財団にマネジメントコンサルティングを業務委託した。弊財団では、組織診断のコンサルティングを開始した。

契約期間：2019年1月17日～2019年5月31日

コンサルティングの内容：組織診断

2) NPO マネジメントに関する講座の運営および講師派遣

<講師派遣>

外部セミナー等への講師派遣を8回行った。

3) ソーシャルビジネスに関する講座企画、運営、起業支援

2つの社会的な法人（特定非営利活動法人自治創造コンソーシアム、特定非営利活動法人ニンジン）の事務局運営支援を行った。

(7) 調査研究、情報発信、政策提言に関する事業

<Panasonic NPO サポート ファンド 2016 年に助成事業を終了した団体を対象とした成果評価>

パナソニック株式会社が企業市民活動の一環として実施する「Panasonic NPO サポート ファンド」に関し、成果評価を行った。

評価対象は、2016 年に同ファンドによる組織基盤強化事業を終了した団体（対象団体：11 団体）である。本事業による資金提供及び非資金的取組みが、助成の受け手における組織基盤の強化、活動の充実による社会課題の解決の促進に与えた影響を検証した。また、組織基盤強化の手法として、組織診断を実施したことによる効果、および第三者によるコンサルティングの効果をはかった。

助成先団体の応募用紙・報告書類の分析、診断シートを活用した事前・事後の変化分析、助成先団体へのアンケート調査を行った。弊財団では、同社に対し報告書を提出した。

<Panasonic NPO サポート ファンドの社会的インパクト評価>

同ファンドの組織基盤強化助成により生まれた社会的インパクトを評価するために、2018 年度は、特定非営利活動法人 CAP センター・JAPAN を対象としたインパクト評価を行った。

<パナソニック株式会社 100 周年フォーラムにおけるセミナーの企画・実施>

Social Value から、日本で最初となる認証を得た SROI レポートの内容を広く報告するために、「企業市民活動の効果をどう測るか」～NPO の組織基盤強化助成の社会的インパクト測定の試み～と題した SROI レポート報告会を実施した。

2018 年 11 月 2 日（金）午後 12 時 30 分～13 時 30 分

場所：東京国際フォーラム

主催：パナソニック株式会社、弊財団

協力：助成財団センター、社会的インパクト評価イニシアチブ

参加者：約 100 名

以上

2019 年度（令和 1 年度）事業報告

（2019（平成 31）年 4 月 1 日から 2020（令和 2）年 3 月 31 日まで）

目次

1 公益目的事業の状況	1
(1) 資金等の資源を募り、管理・活用する事業	1
1) オンライン寄附サイト「Give One (ギブワン)」登録団体への寄附の募集...	1
2) 財団運営への寄附	8
3) 社員参加型／顧客参加型寄附推進システムの提供・運営	8
4) 寄附基金の運営による継続的な寄附の推進	10
(2) 社会貢献活動についての情報提供、相談事業	28
(3) 寄附を推進するための普及啓発活動等に関する事業	29
1) 個人や企業等からの寄附を喚起するための事業	29
(4) 社会的活動を行う団体等に対する助成事業	29
(5) 社会的活動を行う団体等に対する表彰・顕彰事業	29
(6) 社会的活動を行う団体等に対する研修事業	30
1) NPO のマネジメントコンサルティングの実施	30
2) NPO マネジメントに関する講座の運営および講師派遣	31
3) ソーシャルビジネスに関する講座企画、運営、起業支援	31
(7) 調査研究、情報発信、政策提言に関する事業	33
1) Panasonic NPO サポート ファンド 2017 年に助成事業を終了した団体を対象 とした成果評価	33
2) Panasonic NPO サポート ファンドの組織基盤強化助成の成果をはかる調査	33

1 公益目的事業の状況

「公1 より良い社会の形成を推進するため、資金等の資源を募り管理活用し、また社会的活動を行う団体に対して助成、顕彰等を行うほか、社会貢献活動についての調査、研究、情報発信、相談・助言等を行う事業」にかかわる個別事業の本年度事業結果を以下に報告する。

(1) 資金等の資源を募り、管理・活用する事業

広く個人や企業等からの寄附を社会的活動につなげていくもので、当財団の中心的な事業である。受け入れた寄附金を助成金として活用する側面を含めて、本項に記載する。

2019 年度に当財団が受け入れた寄附金は下記の通りである。当財団の呼びかけに賛同しご支援くださった、個人・企業の寄附者の皆様に深く感謝する。

◆寄付金	718,291,606 円
内訳) 現金受領	712,343,460 円
現物受領	5,948,146 円
◆土地建物寄付	10,105,372 円
内訳) 建物	2,952,701 円
土地	7,152,671 円

1) オンライン寄附サイト「Give One (ギブワン)」登録団体への寄附の募集

オンライン寄附サイト「Give One (ギブワン)」を運営し、不特定多数の市民、特に初めて寄附を行う人や仕事が忙しく社会貢献活動の機会のない人などを対象に、当財団による厳正な事前審査を経た、信頼できる団体の活動情報を提供し、寄附を募った。助成先団体情報の更新、団体活動レポートの送信などを通じ、寄附者が助成先事業を共に支えていることが実感できる仕組みを提供している。

2019 年度は、新規団体の登録は行わず、2020 年 2 月 26 日から 2020 年 4 月 6 日までの予定で新規登録団体の公募を行った。登録プロジェクト数は常時変動があるものの、年度末時点での状況としては昨年度より 19 増加して 291 プロジェクトとなった。

2019 年度 (2019 年 4 月～2020 年 3 月) のオンライン受入寄附金額 (クレジットカードとジャパンネット銀行を通じた決済金額) は合計 36,185,011 円で、前年度比 約 25%増となり、目標の前年度 10%増を上回ることが出来た。

寄附申込の翌々月末に助成金の振込を行うことから、2019 年度 (2019 年 4 月～2020 年 3 月) に登録団体に対する助成した金額は、2019 年 2 月～2020 年 1 月の間に寄附の申込のあ

った受入寄附金 40,111,707 円の 85%にあたる 34,094,951 円であった。また運営管理費用として、同 15%の 6,016,756 円を充当した。

2019 年度（2019 年 4 月～2020 年 3 月）の団体別受入寄附金額及び助成金額の実績は下記の通りである。

※ 受入寄附金額降順

助成先団体名	受入寄附金額	助成金額
Learning for All	9,068,710	9,006,794
Earth Company (アース・カンパニー)	7,483,000	9,977,000
パブリックリソース財団「Give One 寄付パッケージ」窓口	1,902,950	1,868,850
【インドネシアスラウェシ島地震】緊急支援パッケージ	6,000	12,750
【九州北部豪雨】緊急被災者支援パッケージ	291,000	247,350
【新型コロナ緊急支援】ひとり親家庭等に食品を	43,000	0
【震災特別寄付パッケージ】被災地 3 県の 7 団体応援プロジェクト	197,000	174,250
【千葉県台風 15 号】緊急被災者支援パッケージ	629,850	535,373
【台風 19 号】緊急支援パッケージ	576,100	482,800
【東日本大震災】生活再建支援寄付パッケージ	136,000	115,600
【東日本大震災】復興ふくしま支援寄付パッケージ	24,000	20,400
女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ	909,708	724,606
フードバンク関西	721,936	659,695
長野サマライズ・センター	719,864	604,234
フェアスタートサポート	683,010	596,709
ジャパン・プラットフォーム	679,000	572,050
タンザニア・ポレポレクラブ	651,000	549,950
全国女性シェルターネット	628,500	591,600
グッドネーバーズ・ジャパン	531,500	425,000
CAP センター・JAPAN	501,000	425,425
パブリックリソース財団	436,000	371,450
地域・教育魅力化プラットフォーム	424,000	331,500
インフォメーションギャップバスター	404,769	313,879
石西礁湖サンゴ礁基金	395,080	343,638
JUON (樹恩) NETWORK	392,436	321,671
シャンティ国際ボランティア会	340,000	294,100
地球の友と歩む会 (LIFE)	319,920	275,332

越谷らるご	304,458	252,045
アムダ (AMDA)	283,000	237,150
子どもシェルターモモ	279,000	285,600
子どもセンター「パオ」	262,724	232,665
児童虐待防止協会	260,000	221,000
フードバンク山梨	232,250	198,263
ブリッジフォースマイル	217,000	175,950
スマイリングホスピタルジャパン	207,000	158,100
新宿連絡会	207,000	192,525
はたらく女性の全国センター (ACW2)	201,500	146,625
グローバル・ヴィレッジ	200,000	170,000
日本地雷処理を支援する会 (JMAS)	171,400	155,040
ジャパンハート	163,000	129,625
日本クリニクラウン協会	163,000	132,600
ビッグイシュー基金	161,000	53,550
カパティラン	159,000	161,500
パレスチナ子どものキャンペーン	159,000	131,750
箕面こどもの森学園	156,976	133,430
ぱれっと	142,500	121,125
日本 IDDM ネットワーク	140,700	121,295
SOS 子どもの村 JAPAN	139,000	133,875
ハンガー・フリー・ワールド	137,000	107,950
KHJ 全国ひきこもり家族会連合会	136,000	106,250
自立支援センターふるさとの会	135,500	119,425
気候ネットワーク	133,000	85,000
こころ塾	132,000	107,950
日本芸能実演家団体協議会	129,000	118,150
エイブル・アート・ジャパン	128,000	111,350
レイプクライシスセンターTSUBOMI	126,000	100,300
キッズドア	125,000	96,900
難民を助ける会	123,900	100,300
ビーンズふくしま	120,220	97,512
フローレンス	117,000	89,250
チャイルド・リソース・センター	112,500	96,475
CODE 海外災害援助市民センター	110,000	95,200

持続可能な開発のための教育推進会議 (ESD-J)	110,000	93,500
桜ライン 311	108,500	70,975
みらいの森	102,500	87,125
ピース ウィンズ・ジャパン	99,300	84,405
エバーラスティング・ネイチャー	97,000	83,300
DPI 日本会議	96,000	81,600
子どもセンターぼると	93,000	73,950
トゥギャザー	78,000	68,850
たんぽぽの家	75,200	81,770
日本国際民間協力会 (NICCO)	75,000	58,650
あおもり NPO サポートセンター	73,000	62,050
遠野まごころネット	73,000	62,050
難病の子どもとその家族へ夢を	68,500	58,225
日本点字図書館	67,000	60,350
アトピッ子地球の子ネットワーク	61,000	51,850
緑の地球ネットワーク	61,000	51,850
日本クマネットワーク (JBN)	60,000	1,434,715
こどもコミュニティケア	59,000	46,750
いるかねっと	56,000	55,250
民際センター	56,000	49,300
チャリティーサンタ	55,500	45,475
発達わんぱく会	54,500	50,575
子どもの虐待防止ネットワーク・あいち (CAPNA)	49,500	46,325
国際環境 NGO FoE Japan	49,000	51,000
おおいた環境保全フォーラム	48,000	40,800
東京シューレ	46,000	39,950
more trees	45,000	46,750
白神山地を守る会	45,000	32,300
霧多布湿原ナショナルトラスト	43,000	39,100
HIV と人権・情報センター	40,000	42,500
地雷廃絶日本キャンペーン	40,000	34,000
多言語社会リソースかながわ	37,000	29,750
リソースセンターone	36,000	30,600
大雪山自然学校	36,000	23,800
彩結び	34,000	25,925

アイキャン	33,000	29,750
環境＝文化 NGO ナマケモノ倶楽部	33,000	28,900
芸術家と子どもたち	33,000	31,450
国際医療技術財団	33,000	28,050
ふよう土 2100	32,000	27,200
ピアサポートネットしぶや	31,000	34,000
まちぼっと	30,000	31,450
病気の子ども支援ネット 遊びのボランティア	29,000	28,050
響愛学園	26,000	22,100
(公益財団法人公害地域再生センター)	24,000	18,700
e-MADO 病気のこどもの総合ケアネット	24,000	20,400
チャイルドラインあいち	23,000	17,850
トラ・ゾウ保護基金	23,000	17,850
「みのお山麓保全ファンド」	22,000	25,500
チャンス・フォー・チルドレン	22,000	18,700
楽の会リーラ	20,000	20,825
子どもの虐待防止センター	19,000	12,750
しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西	18,000	11,050
棚田 LOVER's	18,000	14,450
アジア・アフリカと共に歩む会	16,000	13,600
e-Education	15,000	11,050
ゆるら	15,000	11,900
おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ	14,000	12,750
5years	13,000	5,100
リヴォルヴ学校教育研究所	13,000	11,900
女性の安全と健康のための支援教育センター	13,000	11,900
ACE	12,000	10,200
Hands On Tokyo	12,000	10,200
アレルギー支援ネットワーク	12,000	10,200
インド福祉村協会	12,000	10,200
エッジ	11,000	10,200
ケア・インターナショナル ジャパン	11,000	18,275
楠の木学園	10,000	8,500
ReRoots	9,000	16,150
東京 YMCA “liby (リビー)”	9,000	9,350

エイズ孤児支援 NGO・PLAS	8,000	5,950
サイエンス・アクセシビリティ・ネット	8,000	15,300
シャプラニール=市民による海外協力の会	8,000	6,800
バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター	7,000	4,250
国際ビフレンダーズ 東京自殺防止センター	7,000	5,100
JHP・学校をつくる会	6,000	6,800
高木仁三郎市民科学基金	6,000	5,100
WE21 ジャパン	5,000	4,250
アジア協会アジア友の会	5,000	4,250
芸術と遊び創造協会	5,000	4,250
日本フィランソロピー協会	5,000	3,400
野生生物保全論研究会	5,000	0
きょうとグリーンファンド	4,500	1,275
チャイルド・ファンド・ジャパン	4,000	1,700
ブリッジエーシアジャパン	4,000	850
みやぎ身体障害者サポートクラブ	4,000	4,250
めぐはうす 地域生活支援センターMOTA	3,000	2,550
メコン・ウォッチ	3,000	850
いわき放射能市民測定室 「たらちね」	1,000	0
神戸定住外国人支援センター (KFC)	1,000	0
知床自然大学院大学設立財団	1,000	0
緑と水の連絡会議	0	850
合計	36,185,011	34,094,951

また、上記の寄附金額には、寄附文化を広げることを目的に実施する、オンライン寄付のキャンペーン「E-ファンドレイジング・チャレンジ」（アズビルみつばち倶楽部との共催）の寄附金額を含んでいる。

（アズビルみつばち倶楽部杯 E-ファンドレイジング・チャレンジ）

期間：2019年12月3日～2020年1月16日

（参加団体は30団体）

クレジットカードとジャパンネット銀行以外の決済手段による、Give One（ギブワン）登録団体に対する寄附は、25件、合計3,176,733円だった。

寄附者名	受入寄附金額
株式会社 クオカード 様 (6件)	35,240
azbil みつばち倶楽部 様	2,573,624
ゴールドマン・サックス証券 様	1,176,470
個人 (4件)	59,000
Book 募金	1,063
合 計	3,845,397

2019年度は以下の助成先に合計 3,275,338 円を助成した。

助成先団体名	助成額
5years	1,000,000
女性と子ども支援センター ウィメンズネットこうべ	265,370
タンザニア・ポレポレクラブ	261,290
フェアスタートサポート	223,890
長野サマライズ・センター	178,783
CAP センター・JAPAN	130,390
インフォメーションギャップバスター	128,265
シャンティ国際ボランティア会	127,160
JUON NETWORK	122,825
児童虐待防止協会	117,130
グローバル・ヴィレッジ	87,550
石西礁湖サンゴ礁基金	73,683
箕面こどもの森学園	63,113
日本芸能実演家団体協議会	59,755
持続可能な開発のための教育推進会議	53,295
フードバンク山梨	48,259
越谷らるご	30,798
あおもり NPO サポートセンター	28,475
ビーンズふくしま	25,840
チャリティーサンタ	22,483
チャイルド・リソース・センター	22,270

ジャパンハート	21,930
桜ライン 311	21,335
難民を助ける会	14,168
グッドネーバーズ・ジャパン	14,166
ジャパン・プラットフォーム	14,166
白神山地を守る会	12,835
アムダ (AMDA)	12,342
おおいた環境保全フォーラム	11,560
民際センター	10,455
トゥギャザー	10,455
石西礁湖サンゴ礁基金	10,268
チャリティーサンタ	10,200
5years	8,330
棚田 LOVER's	7,905
エッジ	6,205
ReRoots	5,950
日本クリニックラウン協会	5,372
ぱれっと	5,100
芸術家と子どもたち	1,802
エバーラスティング・ネイチャー	170
合計	3,275,338

2) 財団運営への寄附

当財団の賛助会費（運営費 100%）は、590,000 円だった。

また、財団指定寄附（事業費 100%）は、35,000 円だった。

3) 社員参加型／顧客参加型寄附推進システムの提供・運営

< 寄附付き年賀状 >

寄附金付き年賀状の企画は株式会社プリプレス・センターと協働して、2014 年版年賀状（当財団 2013 年度）から実施している。年賀状に支援先を明記するために、年賀状の販売開始に先立ち、2014 年度に助成先に関する選考委員会を開催し本年賀状のデザインで採用される障がい者アートの活動（一般財団法人たんぽぽの家 エイブルアート・カンパニー）を助成先として決定した。2019 年度は、2019 年版年賀状販売による寄附金（37,584 円）を

もとに、31,946 円の助成を実施した。

受入寄附金額	37,584 円
助成額	31,946 円
公募	公募実施せず（継続助成）
審査会	2014 年 7 月 11 日 ～ 17 日（書面による持回り開催）
選考委員	■■■■■（立命館大学産業社会学部 教授） ■■■■■ 世界文化フォーラムアライアンス 日本幹事） ■■■■■（特定非営利活動法人ニンジン 常務理事）
審査結果	一般財団法人たんぼぼの家 エイブルアート・カンパニー
助成期間	2019 年 4 月 ～ 2020 年 3 月

<魚沼の未来基金>

本基金は、塩沢信用組合と協働して、魚沼地域の未来を切り拓く人材や団体を支援し、地域の誰もがいきいきと暮らせるふるさと魚沼を、将来にわたって継承・発展させることを目的として設立した。

本基金は、信用組合が組合員に呼びかけて寄附を募り共に地域に貢献するという、金融機関が「社会貢献のプラットフォーム」を提供する日本初の取り組みである。

ご寄附は「はばたき奨学金」（返済不要の高校生向け奨学金制度）に活用され、新1年生一人当たり 96,000 円（入学準備金 36,000 円、月例奨学金 60,000 円（5,000 円×12 か月）、新2、3年生は 60,000 円（月齢奨学金 60,000 円（5,000 円×12 か月））を支給している。

2019 年度は 241 件、7,155,639 円の寄附を受け入れた。

また、「第四期はばたき奨学金」対象者として、魚沼地域のひとり親家庭の子女 55 名（新1年生 23 名・新2年生 14 名・新3年生 18 名）の奨学生の選定を行った。

2019 年度の奨学金支給は、第三期奨学生 50 名に対して月例奨学金、第四期奨学生のうち新1年生に入学準備金を支給した。

受入寄附金額	7,155,639 円
総決定金額	4,128,000 円（96,000 円 × 23 名、60,000 円 × 33 名）
助成額	第三期：2,888,000 円 第四期：828,000 円（新1年生に対する入学準備金のみ） 合計：3,716,000 円
公募	2019 年 10 月 1 日～10 月 30 日

応募	55 件
審査会	2020 年 1 月 27 日
選考委員	■■■■■ (新潟大学工学部建設学科 准教授) ■■■■■ (南魚沼市長) ■■■■■ (魚沼市長) ■■■■■ (塩沢信用組合 理事長)
審査結果	55 人を奨学生として選定
助成期間	2020 年 3 月 1 日 ~ 2021 年 3 月 31 日

4) 寄附基金の運営による継続的な寄附の推進

今期は下記の基金を運営した。

<東北 3.11 基金>

福島、宮城、岩手の子どもたちをめぐる課題を解決し、子どもたちが自らの力で未来を切り開いていく活動を支援する基金である。認定特定非営利活動法人ジャパン・カインドネス協会の管理する寄附金つき飲料自動販売機の売り上げから、2019 年度は、1,635,084 円の寄附を受け入れ、3 団体に対し合計 1,472,472 円を助成した。

受入寄附金額	1,635,084 円
助成額	1,472,472 円
公募	2019 年 4 月 9 日 ~ 5 月 14 日
審査会	2019 年 5 月 (メールによる持ち回り審査)
審査委員	■■■■■ (立命館大学産業社会学部 教授) ■■■■■ (世界文化フォーラムアライアンス 日本幹事) ■■■■■ (特定非営利活動法人 ニンジン 常務理事)
審査結果	以下の 3 団体を決定 特定非営利活動法人 アスイク 特定非営利活動法人 かぎかつこPROJECT 一般社団法人 美馬森Japan
助成期間	2019 年 7 月 1 日 ~ 2020 年 6 月 30 日

<未来につなぐふるさと基金>

同基金は、キヤノンマーケティングジャパン株式会社で使用済みカートリッジの回収本数と PPC 用紙（コピー紙）の販売数に応じ同社が実施する寄附や、古本の回収等による一般からの寄附も受け付けている。同基金への 2019 年度寄附受け入れ件数は 14 件、総額は 12,990,519 円だった。

2018 年度に採択された 5 団体については、2019 年 12 月に継続審査を行い、継続助成（助成期間：2019 年 1 月～2019 年 12 月）を決定し、2,500,000 円を助成した。また、2020 年 2 月に新規助成団体の審査を行い、5 団体を採択し（助成期間：2020 年 4 月～2020 年 12 月）、2,304,000 円を助成した。

2019 年度の助成先である 10 団体において、生物多様性の保全を促す 53 の市民参加型プログラムが実施され、1,208 名の市民が参加した。また、キヤノンマーケティングジャパン株式会社が助成先団体において実施する写真教室（機材と講師の無料提供）に協力し、合計 10 回実施した。加えて、助成先団体の組織運営力の向上を目的とした組織診断や広報ワークショップ等の、運営面での支援を行った。キヤノンマーケティングジャパン株式会社が生物多様性の啓発を目的として開設した「未来につなぐふるさとプロジェクト」のサイトに掲載するためのコンテンツの収集に協力し、公益財団法人日本自然保護協会と協力して、生物多様性の専門的見地からのコメントを作成した。

2020 年 3 月に予定していた報告会は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策の影響により延期した。

受入寄附金額	12,990,519 円
助成額	4,804,000 円（2020 年度分を2019年度に助成）
公募	2019 年 11 月 1 日～2020 年 1 月 10 日（新規団体のみ）
審査会	2019 年 12 月：2019 年助成の継続審査（メールによる持ち回り審査） 2020 年 2 月 13 日：2020年助成の審査
審査委員	<p>■■■■■（東京学芸大学名誉教授）</p> <p>■■■■■ 公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会、環境委員会副委員長、ESD活動支援センター ユース事業担当コーディネーター）</p> <p>■■■■■（公益財団法人日本自然保護協会 自然保護部）</p> <p>■■■■■（キヤノンマーケティングジャパン株式会社 CSR本部長）</p>

審査結果	継続助成（4団体） 特定非営利活動法人 里山倶楽部 特定非営利活動法人 三段峡－太田川流域研究会 公益財団法人 高知県牧野記念財団 環境ネットワーク「虹」 貝殻浜生物調査隊新規助成（5団体） 一般社団法人 風土人 一般財団法人 C.W. ニコル・アフアンの森財団 NPO法人 持続可能な開発のための教育推進会議 ウェットランドフォーラム NPO法人 中池見ねっと
助成期間	継続 2020年1月1日～2020年12月31日 新規 2020年4月1日～2020年12月31日

<アート&ヘルス基金>

「アート&ヘルス基金」は、アートの力で病院や福祉施設、学校、コミュニティケアの場を豊かな空間とすることを目指すもので、人間が生きることを助けるアート活動を支える寄附の仕組みである。2019年度は7,655円の寄附を受け入れた。2019年度は助成を実施せず、全額を繰り越した。

<AED・地域あんしん基金>

キャノンマーケティングジャパン株式会社と共同で「AED・地域あんしん基金」を設立した。本基金はご寄附をもとに、多くの市民が利用する公共施設や福祉施設にAEDを寄贈し、災害時などに避難所となることが想定される施設などに設置することを目的としている。運営管理はパブリックリソース財団が行い、キャノンマーケティングジャパン株式会社は募金活動の協力およびAEDの設置、講習インストラクターの派遣を行った。

本年度は、1件合計400,000円の寄附を受け入れた。

審査委員会で応募5団体を審査し、2019年度は4団体への寄贈を決定した。

受入寄附金額	400,000円
寄贈台数	4台 ※前年度以前受け入れ寄附分も含む
公募	財団ホームページ上で随時受け付け
応募件数	5団体

審査会	2019年6月、12月（メールによる持ち回り審査）
選考委員	■■■■■（早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」招聘研究員） ■■■■■（NPO法人世田谷福祉住環境コーディネーター研究会 理事長） ■■■■■（キヤノンマーケティングジャパン株式会社 CSR本部CSR推 進部）※6月まで ■■■■■（キヤノンマーケティングジャパン株式会社 CSR本部CSR推 進部）※12月から ■■■■■（特定非営利活動法人笑顔せたがや 理事・事務局長）
AED寄贈先 選定結果	4団体を決定。 社会福祉法人 開く会 社会福祉法人 聖ヒルダ会 横浜市平戸地域ケアプラザ 社会福祉法人 きはだ会十七夜山しぶかわほいくえん 特定非営利活動法人 ふよう土2100

<ふくしま未来基金>

「ふくしま未来基金」は福島県内の篤志家及び地域貢献を目指す企業からの寄附で創設された地域基金である。基金創設時に受け入れた大口寄附をもとに運営を行っている。

2019年度は、一般財団法人ふくしま未来研究会や一般社団法人ふくしま連携復興センターなど、複数の福島市内の中間支援組織や専門家と連携しながら、「未来づくり助成（1年300万円+コンサルタント支援50万円相当、2年間継続助成）」「まちづくり草の根助成（単年度支援100万円）」の二つの助成プログラムを実施した。福島市内を中心とする20団体（内1団体は2018年度からの継続）に総額16,260,720円を助成した。

同基金では、資金助成だけでなく、経営支援を行うことを重視している。全助成団体の理事およびスタッフを対象に、NPOマネジメント講座（通信講座）を実施したほか、「未来づくり助成」の助成団体に対して、組織基盤強化のためのコンサルタント派遣による経営支援を実施した。「まちづくり草の根」の助成団体についても、受け入れ条件が合致する団体については、組織診断を実施した。また、希望団体に対して、財務会計に関する事務局支援、会計専門家派遣を実施した他、助成対象団体及び県内NPOを対象に労務管理研修も実施した。

助成額	16,260,720円（総額） ※前年度以前受け入れ寄附分も含む
公募	2019年3月1日～4月7日
応募件数	50団体

審査会	一次審査会：2019 年 5 月 15 日 二次審査会：2019 年 5 月 29 日
選考委員	<p>■■■■ (福島大学学長参与)</p> <p>■■■■ (般財団法人CSO ネットワーク 常務理事)</p> <p>■■■■ (弊財団理事 復興庁上席政策調査官)</p> <p>■■■■ (NPO法人ビーンズふくしま 理事)</p> <p>■■■■ (オフィスBeni 代表)</p>
選定結果	<p><未来づくり助成></p> <p>特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ</p> <p>特定非営利活動法人 いわき自立生活センター</p> <p>合同会社 はまから</p> <p><まちづくり草の根助成></p> <p>特定非営利活動法人 あさがお</p> <p>特定非営利活動法人 0073 (おおなみ)</p> <p>認定特定非営利活動法人 キャリア・デザイナーズ</p> <p>一般社団法人 権利擁護支援プロジェクトともす</p> <p>特定非営利活動法人 しらかわ市民活動支援会</p> <p>特定非営利活動法人 ビーンズふくしま</p> <p>福島大学災害ボランティアセンター</p> <p>ベルフォンテ</p> <p>ポレポレ-ねうぼらふくしま-</p>
助成期間	2019 年 6 月 1 日 ~ 2020 年 5 月 31 日

○ NPO マネジメント講座の実施状況

通信講座の実施期間	2019 年 9 月 2 日 ~ 2019 年 12 月 24 日
通信講座講師	■■■■ ■■■■
通信講座受講者数	10 名

同基金では、上記の資金助成に加え、人材育成事業も実施している。

2019 年度は、未来を志向した夢のあるプロジェクトを地域に立脚しながら構想し実現する有為な「人材」を育てる「ふくしま志高塾」と、福島県内における NPO や社会起業家の活

受講者数	10 名
組織診断実習先	2 団体

<あい基金>

すべての女性が自らの力で人生を選択できる社会を目指し、経済的自立など女性にまつわる課題解決に取り組む事業を支援する、女性のための基金「あい基金」を運営している。

2019年度は、新しく立ち上げた「自分の寄付が社会を変える」を実感できる 寄付者サークル“あい基金ギビング・サークル”が本格的に稼働した。2019年度は“あい基金ギビング・サークル”のメンバー計23名が活動に参加した。うちI Clubメンバーが11名、I Club Goldメンバーが3名、I Partnersメンバーが9名であった。

同サークル活動としては、以下の日程で活動を実施した。

- ・5月：発足会の開催
- ・8月：セミナー交流会（Giving Together/Focusing ゲーム、寄付先団体の見極め方）
- ・10月：助成先選定オリエンテーション
- ・11月：I Partners 限定による助成先候補団体の現地訪問、助成先選定会議の実施

I Partners による助成候補団体の現地訪問と助成選定会議の議論の結果をうけて、12月には、あい基金助成プログラムの外部審査員による審査を経て、最終的に2019年度は、あい基金助成プログラムより、2団体に対し、それぞれ50万円と30万円の単年度助成を行った。なお、2018年度に採択した第三期助成事業については、継続審査を行ったが、2年目の継続助成は行わないことを決定した。

なお、2019年度はクラウドファンディングを通じた”あい基金ギビング・サークル”のメンバーならびに2019年度あい基金助成金原資の獲得に成功した。Readyforを通じたクラウドファンディングを6月～8月にかけて実施し、のべ45名の寄付者より109万円の寄付を受領した。

2019年度は合計1,796,441円の寄附を受け入れた。

受入寄附金額	1,796,441 円
助成額	800,000 円（総額） ※前年度以前受け入れ寄附分も含む
公募	2019年6月27日～7月31日
応募	11 件
審査会	一次審査（書類審査）：2019年9月 二次審査会：2019年12月6日

選考委員	<p>■■■■■ (立教大学社会学部・同大学院21世紀社会デザイン研究科教授、認定NPO法人日本NPOセンター 代表理事)</p> <p>■■■■■ (損保ジャパン日本興亜株式会社 人事部特命部長)</p> <p>■■■■■ (特定非営利活動法人全国女性会館協議会 顧問)</p>
審査結果	<p>第四期助成決定先</p> <p>一般社団法人 コミュニティスペースうみねこ</p> <p>ベルフォンテ</p>
助成期間	2020年1月1日～2020年12月31日

<純 子ども基金>

同基金は、経済的に困難な状況で育つ子どもの学び、発育、食、住まい等の確保に取り組む団体を対象とするオリジナル基金である。助成先団体の組織基盤強化に取り組むことを通じ、子どもたちが健やかに、心豊かに成長できる環境づくりを進めることを目的として設立された。同基金の助成金プログラムは、1団体につき初年度100万円、2年度目150万円、3年度目150万円、総額400万円を支給するもので、継続助成の可否は1年毎に改めて審査を行って決定する。当財団がこれまで行ってきた組織診断、コンサルティング、社会的インパクト評価などのマネジメント支援の経験にもとづき、資金支援とメンタリング・サポートの両面から、継続的に団体を応援している。

当該基金の最終年度となる2019年度は、2017年度に採択した2団体に対して継続審査を行い、2団体が引き続き支援対象となり、総額3,000,000円を助成した。

受入寄附金額	3,500,000円
助成額	3,000,000円(総額)
応募	2件
審査会	2019年7月4日
選考委員	<p>■■■■■ (日本福祉大学 教授)</p> <p>■■■■■ (特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター理事)</p> <p>■■■■■ (特定非営利活動法人 ビーンズふくしま理事)</p>
審査結果	<p>以下2団体を決定。</p> <p>特定非営利活動法人 寺子屋方丈舎</p> <p>特定非営利活動法人 ウィーズ</p>
助成期間	2019年4月1日～2020年3月31日

<I.H.K 基金>

同基金は、将来の医療福祉分野での活躍を願って、東京都内の児童養護施設または里親宅で暮らしている児童（女子）が高校卒業後に進学する授業料を助成し、児童の社会的自立を支援することを目的に設立された。一人あたり総額 100 万円の返済不要の奨学金を支給している。また、認定特定非営利活動法人ブリッジフォースマイルと連携し、就学期間中、対象者に若い社会人ボランティアを派遣し、社会的自立に向けて、近い年齢層からの相談しやすい環境を提供していく。

2019 年度は 1,580,000 円の寄附を受け入れた。奨学金選考委員会にて、1 名の奨学生を選定し、1 年目の奨学金として 400,000 円を支給した。

受入寄附金額	1,580,000 円
総決定金額	1,000,000 円 (1 年目 400,000 円、2 年目 300,000 円、3 年目 300,000 円)
助成額	400,000 円
公募	2019 年 4 月 17 日 ~ 5 月 31 日
応募	2 件
審査会	2019 年 7 月 21 日
選考委員	<p>■■■■ (横浜市男女共同参画センター横浜南 管理事業課長)</p> <p>■■■■ (あしなが育英会 顧問)</p> <p>■■■■ (公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事)</p>
審査結果	1 人を奨学生として選定
助成期間	2020 年 3 月 29 日 ~ 2022 年 3 月 31 日

<ゆーじチャレンジ基金>

同基金は、将来の医療福祉分野での活躍を願って、静岡県内の児童養護施設または里親宅（ファミリーホーム含む）で暮らしている児童が高校卒業後に進学する授業料を助成し、児童の社会的自立を支援することを目的に設立された。一人あたり総額 100 万円の返済不要の奨学金を支給する。

2019 年度は 1,220,000 円の寄附を受け入れた。奨学金選考委員会にて、1 名の奨学生を選定し、1 年目の奨学金として 250,000 円を支給した。

受入寄附金額	1,220,000 円
総決定金額	1,000,000 円 (1 年目 250,000 円、2 年目 250,000 円、3 年目 250,000円、4 年目 250,000円)
助成額	250,000 円
公募	2019 年 4 月 17 日～5 月 31 日
応募	3 件
審査会	2019 年 7 月 13 日
選考委員	■■■■■ (静岡県ボランティア協会市民活動センター 理事長) ■■■■■ (静岡大学 人文社会科学部長) ■■■■■ (公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事)
審査結果	1 人を奨学生として選定
助成期間	2020 年 3 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

<大和証券グループ 輝く未来へ こども応援基金>

同基金は、株式会社大和証券グループ本社の持続可能な社会の実現に向けて貢献する活動の一環として、子どもの環境改善や貧困の連鎖を防止することを目的に創設された基金である。同基金では、子どもの人生への意欲を育み将来の貧困リスクを低減する先駆的な事業をとりあげ、効果的で継続的なものとするための事業開発を支援し、子どもの貧困対策におけるイノベーションを推進している。

同基金の助成金プログラムは、1 団体につき初年度 300 万円程度、2 年度目 300 万円程度、3 年度目 300 万円程度、総額 900 万円程度を支給する。なお、継続支援には 1 年毎の審査が行われる。

2018 年度は 6 件、29,902,245 円の寄附を受け入れ、審査会にて新規採択 2 団体、継続支援 5 団体を選定した。

受入寄付金額	29,902,245 円
助成額	15,000,000 円
審査会	一次審査会：2019 年 11 月 26 日 二次審査会：2019 年 12 月 23 日
審査委員	■■■■■ (立教大学社会学部・同大学院21世紀社会デザイン研究科 教授、認定NPO法人日本NPOセンター 代表理事)

	<p>■■■■■ (特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ 理事長)</p> <p>■■■■■ (公益財団法人あすのば 代表理事)</p> <p>■■■■■ (株式会社大和証券グループ本社 経営企画部 SDGs推進室長)</p> <p>■■■■■ (株式会社シグマクシス 常務執行役員)</p>
審査結果	<p>以下の 7 団体を決定</p> <p><新規採択団体></p> <p>特定非営利活動法人 パノラマ</p> <p>特定非営利活動法人 フェアスタートサポート</p> <p><継続支援団体></p> <p>認定特定非営利活動法人 SOS子どもの村JAPAN</p> <p>認定特定非営利活動法人 PIECES</p> <p>特定非営利活動法人 Learning for All</p> <p>認定特定非営利活動法人 エデュケーションエーキューブ</p> <p>認定特定非営利活動法人 D×P</p>
助成期間	2020 年 1 月 1 日 ~ 2020 年 12 月 31 日

<ゴールドマン・サックス基金>

ゴールドマン・サックス証券株式会社 (GS) の持田昌典社長のイニシアチブで創設された基金であり、子どもの貧困問題に取り組む団体を支援している。持田社長は米国の大学で学んで飛躍した自身の経験から、「教育を受けるチャンスがあることは重要だ」と基金の創設を行った。

同基金では、Give One (ギブワン) 登録団体の中から、NPO 法人「Learning for All (LFA)」(東京都新宿区、李炯植代表理事) を選択し、同団体が展開する学習支援などのプログラムに、今後 3 年で計約 4 億円を助成する予定である。延べ約 750 人の子どもたちへの教育支援を目指している。

2019 年度は、113,196,417 円の寄附を受け入れ、LFA に対し 107,520,398 円を助成した。LFA は、助成金をもとに、2019 年度は、「つながり・育ち・学びの環境を包含したセーフティネットを地域に作り、全国に展開すること」を目的として、東京都葛飾区での活動拠点の他、戸田・つくばにおいても支援拠点をもうけ、モデル構築に取り組んだ。

受入寄付金額	113,196,417 円
助成額	107,520,398 円
受益者数	年約323人、延べ年約7000人

<民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律に伴う事業>

民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律に基づき、指定活用団体である一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）により。弊財団は資金分配団体として選定された。助成対象となった事業は「子ども支援団体の組織基盤強化（草の根活動支援事業・全国ブロック）」および「支援付住宅建設・人材育成事業（ソーシャルビジネス形成支援事業）」である。

① 子ども支援団体の組織基盤強化

本事業は、子ども支援に取り組む団体（実行団体）が組織基盤強化事業に取り組むことを支援することで、支援ニーズのある子どもを対象としたプログラムを提供する NPO の組織力を高めることを目指す。その結果、支援プログラムやサービスの量や質が向上し、5～10年後には最終受益者である子どもの状況が改善される社会環境となっていくことを目標にするものである。

2019 年度は実行団体の公募・審査・選定を実施した。なお、助成金の交付及び助成事業開始は 2020 年度からとなる。なお、本事業の実施期間は 2022 年度までとなる。

受入助成金額	81,686,819 円（3年間総額、PO関連経費、評価関連経費含む）
助成額	45,532,800 円（3年間総額、評価関連経費含む）
公募	2019 年 12 月 23 日 ～ 2020 年 2 月 3 日
応募件数	21 件
審査会	2020 年 3 月 10 日
審査委員	<p>■■■■■（立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 教授）</p> <p>■■■■■（office musubime 代表）</p> <p>■■■■■（特定非営利活動法人 子どもと文化全国フォーラム代表理事、特定非営利活動法人 子ども文化地域コーディネーター協会 専務理事）</p>
実行団体	<p>特定非営利活動法人 沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい</p> <p>認定特定非営利活動法人 発達わんぱく会</p> <p>認定特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル</p> <p>一般社団法人 無限</p>

実行団体 事業実施期間	2020 年 4 月 ～ 2023 年 3 月
----------------	-------------------------

② 支援付住宅建設・人材育成事業

本事業は、2020 年 4 月から政府が実施する「貧困ビジネス対策と、単独での居住が困難な方への生活支援」制度を活用し、無料低額宿泊所の新基準に対応する改修・建替え費用を助成すると同時に、質の高い生活支援人材の育成を通じ、「住まい」と「生活支援」をセットで提供するソーシャルビジネスのビジネスモデルの構築を支援するものである。

2019 年度は事業設計を中心に行った。公募・審査・選定・助成金の交付及び助成事業開始は 2020 年度からとなる。なお、本事業の実施期間は 2022 年度までとなる。

受入助成金額	244,084,451 円（3年間総額、PO関連経費、評価関連経費含む）
助成額	197,470,587 円（3年間総額、評価関連経費含む）
実行団体 事業実施期間	2020 年 11 月 ～ 2023 年 3 月

< 謝縁教育基金 >

「自身が生きてくる中で、多くの皆様からいただいたご恩を次の世代に送り、自分が人生で大切にしてきた志を次の世に遺したい。」という寄付者の想いにより設立された。当基金は、困難を抱える若者への教育支援や、不登校や発達障害の若者の居場所づくりに取り組む NPO 法人等の活動を支援することを目的としており、助成開始は 2020 年度からとなる。

2020 年度は、Give One（ギブワン）に登録されている審査済みの団体から、同基金の目的に合致する活動を行っている下記 2 団体を選出し、助成を行うこととなった。資金助成は、1 団体あたり 50 万円を 6 年間、合計 6,000,000 円の資金助成を行う予定である。

当助成金の使途は、同基金の目的に合致するプロジェクトに限定して活用される。

当基金の設立に際しては、寄付者の縁のあった方々へ感謝を伝え、旧交を温め、これからの人生の夢を語り合う宴「謝縁会」（しゃえんかい）も開催され、弊財団が運営を務めた。「謝縁会」では、本基金をご披露するとともに、参加者へ基金への寄付や、参加者自身のオリジナル基金の創設が呼び掛けられた。

受入寄付金額	11,490,000 円 (2018年度受入分含)
助成額	6,000,000 円 (総額)
助成対象団体	特定非営利活動法人 Learning for All 特定非営利活動法人 楠の木学園
助成期間	2020 年 4 月 ~ 2026 年 3 月

<株主優待活用プロジェクト>

一般社団法人ギビングフオワードと協働で取り組んだプロジェクトで、放棄されたり有効に使われなかったりしていない株主優待品を現物寄附として受け取り、社会貢献に取り組む民間非営利団体等に寄贈した。2019 年度は昨年度に引き続き実験的段階の取り組みとして、4 社から株主優待品を現物で受け取り、のべ 72 団体に寄贈を実行し、株主優待品の活用システムの開発に取り組んだ。

受入寄付金額	5,948,146 円 (現物寄附)
寄贈先団体数	のべ72団体

<緊急災害支援基金>

MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社より、災害が起こった際に会社として緊急に募金するための基金を立ち上げたいとの相談を受けた。Give One (ギブワン) の登録団体を助成の対象とすることで迅速な資金支援を行うことを提案し、基金の仕組みを協働で開発した。2019 年度は、台風 19 号被災地支援を実施している 2 団体に、各 50 万円を助成した。また、緊急時に備えたプール金として、3,000,000 円の寄付を受け入れた。

受入寄付金額	3,000,000 円
助成額	1,000,000 円
助成対象団体	特定非営利活動法人 難民を助ける会 特定非営利活動法人グッドネーバーズ・ジャパン

<移民・難民支援基金>

当基金は、日本国内の難民、移民、技能実習生、外国人労働者とその家族など、外国籍または外国にルーツをもつ人々への支援を行っている NPO 法人等の民間非営利組織に対し、資金助成をはかり、その活動を支援することを目的として創設された。2019 年度は、400 万円の寄付を受入れ、1 団体あたり 80 万円の資金助成を行い、全 4 団体に対して合計 320 万円の資金助成を実施した。

受入寄附金額	4,000,000 円
助成額	3,200,000 円 (総額)
応募	32 件
審査会	2019 年 8 月 20 日
選考委員	■■■■■ (一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事) ■■■■■ (国士舘大学文学部 教授) ■■■■■ (全国難民弁護団連絡会議事務局)
審査結果	以下 4 団体を決定。 特定非営利活動法人 北関東医療相談会 特定非営利活動法人 外国人支援ネットワーク すたんどばいみー RAFIQ 特定非営利活動法人 名古屋難支援室
助成期間	2019 年 9 月 1 日 ~ 2019 年 8 月 31 日

<高山弘子基金>

当基金は、個人からの遺贈により創設したオリジナル基金である。寄付者の生前の遺志に従って、「恵まれない環境を余儀なくされた子ども達」のために役立てるために、貧困により生活に困難を抱えている子どもやその家庭に対して支援を行う NPO 法人等の民間非営利組織に対し資金助成を図り、その活動を支援することを目的としている。

2019 年度は、Give One (ギブワン) に登録されている審査済みの団体から、同基金の目的に合致する活動を行っている全ての団体を選出し、全 15 団体に対して、1 団体あたり 50 万円、合計 7,500,000 円の資金助成を行った。

当助成金の用途は、同基金の目的に合致するプロジェクトに限定して活用され、同基金の残高が無くなるまで、全国の恵まれない環境を余儀なくされた子ども達のために、幅広い分野で役立てられる。

受入寄付金額	55,250,000 円
助成額	7,500,000 円 (総額)
助成対象団体	Give One登録団体から以下の15団体を選出し、交付決定した。 認定特定非営利活動法人 グッドネーバース・ジャパン 認定特定非営利活動法人 フードバンク山梨 認定特定非営利活動法人 フードバンク関西 特定非営利活動法人 いるか

	特定非営利活動法人 ビーンズふくしま 特定非営利活動法人 キッズドア 特定非営利活動法人 Learning for All 認定特定非営利活動法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ 認定特定非営利活動法人 越谷らるご 認定特定非営利活動法人 フローレンス 特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西 特定非営利活動法人 ピアサポートネットしぶや 特定非営利活動法人 フェアスタートサポート 特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル 認定特定非営利活動法人 SOS子どもの村JAPAN
助成期間	2020年1月1日～2020年12月31日

<ビック・ブリッジ基金>

当基金は、海洋プラスチックゴミ問題に関連する環境保全活動や一般啓発活動を行っている NPO 法人等の民間非営利組織に対し資金助成を図り、その活動を支援することを目的として創設された。2019年度は、Give One（ギブワン）に登録されている審査済みの団体から、同基金の目的に合致する活動を行っている下記1団体に対して17万円の資金助成を行った。

当助成金の使途は、同基金の目的に合致するプロジェクトに限定して活用され、5年間継続して、海洋プラスチックゴミ問題の活動支援のために役立てられる。

受入寄付金額	1,000,000 円
助成額	170,000 円
助成対象団体	Give One登録団体から以下の1団体を選出し、交付決定した。 特定非営利活動法人 おおいた環境保全フォーラム
助成期間	2020年2月1日～2021年1月31日

<はる基金>

当基金は、国内の経済的に恵まれない子ども達への支援を行っている NPO 法人等の民間非営利組織に対し資金助成を図り、その活動を支援することを目的として創設された。2019年度は、Give One（ギブワン）に登録されている審査済みの団体から、同基金の目的に合致する活動を行っている下記5団体を選出し、1団体あたり34万円、合計1,700,000円の資

金助成を行った。

当助成金の使途は、同基金の目的に合致するプロジェクトに限定して活用され、全国の経済的に恵まれない子ども達への支援に幅広く役立てられている。

受入寄付金額	2,000,000 円
助成額	1,700,000 円
助成対象団体	Give One登録団体から以下の5団体を選出し、交付決定した。 認定特定非営利活動法人 グッドネーバーズ・ジャパン 認定特定非営利活動法人 フードバンク関西 特定非営利活動法人 Learning for All 認定特定非営利活動法人 越谷らるご 認定特定非営利活動法人 SOS子どもの村JAPAN
助成期間	2020年3月1日～2021年2月28日

<じゅんき教育基金>

当財団では、昨年度の税制改正（租税特別措置法）により公益財団法人を含む一定の法人が不動産等の現物寄付を受け入れることへの制約が緩和されたところ、その要件である一定の基金を、現物資産等寄付基金規程の制定とともに設置の上、同基金に対する公益認定等委員会の証明を取得していた。

原則としては寄付者が負うこととなるみなし譲渡所得（当該資産の寄付時の時価額と取得価額の差額）課税の非課税申請について、従来の一般特例の他に、上記の基金内で寄付財産を管理・運用することを条件とする承認特例が定められた。

寄付を受けた不動産を有価証券に買い換えて、その運用益を公益目的事業に充当することが可能となった。

上記の緩和内容が適用されることを前提に、相続する不動産を寄付したいとする寄付者から相談があり、当該不動産の寄付を受け入れるに至った。受入後、当該不動産から有価証券への買換えを行い、有価証券による運用を開始した。

<遺贈によるM基金（仮称）の創設>

都内の寄付者から遺贈（総額477,412,956円）を受け入れ、取り崩し型ではなく、運用型の基金を創設した。生前のご希望に従い、運用益は、2020年度以降において、遺贈者が長年操業していた地域で、関連する人々及び地域の社会福祉、文化の興隆、経済の振興に資することを目的に活用される予定である。

<大和証券グループ サンタチャリティープログラム>

同プログラムは、大和証券グループの社員による寄附を原資とし、社会的養護にいる子どもたちやNPO等の支援を受けるひとり親家庭やその子どもたちに対して、NPO等の団体を通じてクリスマスシーズンにおもちゃ、ケーキなどをプレゼントする基金である。

2019年度は、812件、7,442,000円の寄附を受け入れた。

審査委員会により35件の団体が採択され、おもちゃセットとお菓子セット、ケーキを寄贈した。

受入寄附金額	7,442,000 円
寄贈数	おもちゃセット：68セット お菓子セット：2,090セット ケーキ：80台
公募	2019年11月5日～2019年11月15日
応募件数	35 団体
審査会	2019年12月7日～2019年12月12日（メールによる持ち回り審査）
選考委員	■■■■■（公益財団法人あすのば 代表理事） ■■■■■（公財団法人パブリックリソース財団 専務理事） ■■■■■（株式会社大和証券グループ本社経営企画 部長）
寄贈先選定結果	沖縄県マザーズスクエアゆいはあと 沖縄県マザーズスクエアゆいはあと中部 沖縄県マザーズスクエアゆいはあと北部 沖縄県マザーズスクエアうるはし 沖縄市立母子生活支援施設レインボーハイツ 浦添市母子生活支援施設浦和寮 那覇市母子生活支援センターさくら 特定非営利活動法人 エンカレッジ 公益社団法人 那覇市母子寡婦福祉会 特定非営利活動法人 フードバンクセカンドハーベスト沖縄 一般社団法人 サポートセンターHOPE 一般社団法人 全国フードバンク協議会 特定非営利活動法人 フードバンク山形 認定特定非営利活動法人 ふーどばんくOSAKA

<p>グリーンヒル相模原</p> <p>社会福祉法人厚生館 厚生館立花</p> <p>社会福祉法人昭徳会 駒方寮</p> <p>社会福祉法人昭徳会 若松寮</p> <p>公益社団法人慈友会 慈友学園</p> <p>社会福祉法人名古屋文化福祉会 キンダーホルト</p> <p>社会福祉法人愛知県母子寡婦福祉連合会 愛知しらゆり荘</p> <p>社会福祉法人愛知県母子寡婦福祉連合会 愛知昭和荘</p> <p>認定特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ</p> <p>特定非営利活動法人 女性ネットSaya-Saya</p> <p>認定特定非営利活動法人 グッドネーバーズ・ジャパン</p> <p>特定非営利活動法人 Mama's café</p> <p>認定特定非営利活動法人 ファミリーハウス</p> <p>認定特定非営利活動法人 カタリバ</p> <p>特定非営利活動法人 豊島子どもWAKUWAKUネットワーク</p> <p>ふくしまこども食堂ネットワーク</p> <p>“がきんちょ”ファミリー</p> <p>ステップアップ塾（特定非営利活動法人維新隊ユネスコクラブ）</p> <p>特定非営利活動法人 まちの塾フリービー</p> <p>特定非営利活動法人 青少年の居場所 Kitos</p> <p>特定非営利活動法人 キッズドア</p>

（２） 社会貢献活動についての情報提供、相談事業

社会貢献活動を促進したいと考える企業を対象に、以下の情報提供や成果評価を行った。

<azbil みつばち倶楽部>

Azbil みつばち倶楽部は、会員（アズビル株式会社の役職員の有志）が毎月 100 円を拠出して集めた寄附をもとに、会員が推薦する市民活動団体に対して資金支援をすることを目的としている。本年度は、アズビル株式会社と業務委託契約を結び、支援先の募集、受付、選定、連絡、報告書の取り寄せ、本プログラムへのアドバイス等を行った。

(3) 寄附を推進するための普及啓発活動等に関する事業

1) 個人や企業等からの寄附を喚起するための事業

遺言や相続に関係する寄附やオリジナル基金の創設について説明する各種パンフレットの作成に取り組んだ。遺贈寄附推進のために全国レガシーギフト協会の「いぞうの窓口」として活動した。

(4) 社会的活動を行う団体等に対する助成事業

上記(4)は、(1)の事業において受け入れた寄附を活用する事業である。いずれの事業においても、広く対象を募集し、社会的活動や各種の公益活動分野に関して知見のある有識者で構成された委員会による公平かつ厳正な審査を経て選定を行う。(4)の助成事業については、(1)の事業で記載した。

(5) 社会的活動を行う団体等に対する表彰・顕彰事業

<「チャンピオン・オブ・チェンジ」日本大賞>

本賞は、アメリカ在住の日本出身女性、厚子・東光・フィッシュの提案により、創設された。フィッシュ・ファミリー財団と業務委託契約を結び、本賞の実施を担った。超高齢社会、大災害、子どもの貧困、地域社会の疲弊など様々な課題に対して、勇気をもって自ら行動を起こし、地道に活動を続け、地域社会の課題解決や新たなシステムの構築に取り組んできた女性たちを表彰すると同時に、その活動を広く知らしめ、受賞者の志、知恵やアイデアをより多くの女性と共有し、後につなぎ、より良い社会を築くための社会貢献活動の意義と喜びを広める事を目指している。

公募	2019年6月24日～7月31日
応募	127件
選考会	一次選考会：2019年10月27日 最終選考会：2019年12月8日
選考委員	■■■■■■■■■■ (フィッシュ・ファミリー財団 共同創設者・理事) ■■■■■■■■■■ (日本マイクロソフト株式会社 法務政策企画統括本部 渉外・社会貢献課長)

	<p>■■■■■ (NPO法人CANPANセンター 代表理事)</p> <p>■■■■■ (特定非営利活動法人 CANPANセンター 代表理事)</p> <p>■■■■■■■■■■ (ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク 社長)</p>
選考結果	<p><大賞></p> <p>■■■■■ (DPI助成障害者ネットワーク 代表) <入賞者></p> <p>■■■■■ (認定NPO法人難民支援協会 代表理事)</p> <p>■■■■■ (NPO法人リカバリー 代表)</p> <p>■■■■■ (認定NPO法人Switch 理事長)</p> <p>■■■■■ (認定NPO法人こまちぷらす 理事長)</p> <p>■■■■■ (一般社団法人サポートセンターHOPE 代表理事)</p>
表彰式	2019年12月9日
表彰内容	<p><大賞></p> <p>正賞 (ティファニー社製カップ) と副賞 100 万円</p> <p><ファイナリスト></p> <p>ティファニー社製の記念品</p>

(6) 社会的活動を行う団体等に対する研修事業

NPO 法人の経営力・信頼性の向上を支援することを目的に、以下の研修事業を実施した。

1) NPO のマネジメントコンサルティングの実施

<特定非営利活動法人あきた結いネット>

あきた結いネットが Panasonic NPO サポート ファンドの支援を受け、弊財団にマネジメントコンサルティングを業務委託した。弊財団では、組織診断のコンサルティングを実施した。

契約期間：2019年1月21日～2019年5月31日

コンサルティングの内容：組織診断

<公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパン>

ケア・インターナショナル ジャパンが Panasonic NPO サポート ファンドの支援を受け、弊財団にマネジメントコンサルティングを業務委託した。弊財団では、組織診断のコンサルティングを実施した。

契約期間：2019年1月17日～2019年5月31日

コンサルティングの内容：組織診断

＜特定非営利活動法人全国初等教育研究会（JEES）＞

定款および内規の整備に関する相談・アドバイスをを行った。

契約期間：2019年9月3日～2019年12月25日

コンサルティングの内容：定款および内規の整備に関する相談・アドバイス

＜特定非営利活動法人 ESA アジア教育支援の会＞

ESA アジア教育支援の会が Panasonic NPO サポート ファンドの支援を受け、弊財団にマネジメントコンサルティングを業務委託した。弊財団では、組織診断のコンサルティングを開始した。

契約期間：2020年1月18日～2019年8月31日

コンサルティングの内容：組織診断

＜特定非営利活動法人ラムサール・ネットワーク日本＞

同団体に依頼に基づき、組織診断を行った。

契約期間：2020年1月10日～2020年3月31日

コンサルティングの内容：組織診断

＜認定特定非営利活動法人 SOS 子どもの村 JAPAN＞

SOS 子どもの村 JAPAN が WAM 助成モデル事業からの助成を受け、「困難を抱えた家族への里親による地域養育支援の仕組みづくり事業」を実施するにあたり、伴走支援を行うことを、業務受託した。

契約期間：2019年4月1日～2022年3月31日

コンサルティングの内容：進捗管理と自己評価の伴走支援

2) NPO マネジメントに関する講座の運営および講師派遣

＜講師派遣＞

外部セミナー等への講師派遣を6回行った。

3) ソーシャルビジネスに関する講座企画、運営、起業支援

第一勧業信用組合と業務委託契約を結び、「東京ソーシャルビジネス・アクセラレーター」プログラムを下記の要領で実施した。

① 事前説明会の実施

・2019年6月11日（第1回）並びに同20日（第2回）に実施

② 対象者選考の企画、書類・面談審査の実施及びコンテスト（公開審査）の実施

- ・公募：5月23日～7月5日
- ・応募数：34法人・個人
- ・面談審査：7月22日～同26日
- ・公開審査（コンテスト）：8月29日
- ・メンタリング対象団体：5法人
株式会社マジェルカ
一般社団法人ファストエイド
ダンウェイ株式会社
特定非営利活動法人チャイボラ
特定非営利活動法人 Chance for All

③ メンタリングの計画・運営：9月～11月

各メンターは、月1回の面談の他にメール、オンライン等の各種ツールを利用して、約3か月間のメンタリングを実施した。

<メンター>

- (合同会社志事創業社 代表)
- (株式会社シグマックス 常務執行役員)
- (一般社団法人新興事業創出機構 理事長、弊財団 理事)
- (株式会社TGコンサルティング 代表取締役)
- (一般社団法人 Women Help Women 代表理事、弊財団 理事)

④ デモ・デイ（公開プレゼンテーション）の実施

メンタリング対象5法人がメンタリングの成果、事業の展開予定等を発表するデモ・デイ（公開プレゼンテーション）を12月16日に実施し、1法人あたり10万円の奨励金の支払いを行った。

<デモ・デイ（公開プレゼンテーション）コメンテーター>

- (弁護士、Social Hive HONGO)
- (社会起業大学 学長)
- (風とつばさ 代表取締役、弊財団 理事)

⑤ 簡易版「社会的インパクト可能性評価」の実施

メンタリング対象5法人からの質問表への回答に基づきヒアリングを実施し、質問表への回答及びヒアリング結果を踏まえて評価の結果を報告書としてまとめ、各法人に対しフィードバックした。

(7) 調査研究、情報発信、政策提言に関する事業

1) Panasonic NPO サポート ファンド 2017年に助成事業を終了した団体を対象とした 成果評価

パナソニック株式会社が企業市民活動の一環として実施する「Panasonic NPO サポートファンド」に関し、成果評価を行った。

評価対象は、2017年に同ファンドによる組織基盤強化事業を終了した団体（対象団体：8団体）である。本事業による資金提供及び非資金的取組みが、助成の受け手における組織基盤の強化、活動の充実による社会課題の解決の促進に与えた影響を検証した。また、組織基盤強化の手法として、組織診断を実施したことによる効果、および第三者によるコンサルティングの効果をはかった。

助成先団体の応募用紙・報告書類の分析、診断シートを活用した事前・事後の変化分析、助成先団体へのアンケート調査を行った。弊財団では、同社に対し報告書を提出した。

2) Panasonic NPO サポート ファンドの組織基盤強化助成の成果をはかる調査

同ファンドの20周年の節目に、これまでの組織基盤強化助成の成果評価のための調査を受託し、2019年度は企画書および計画書の策定を行った。

以上

2020 年度（令和 2 年度）事業報告

（2020（令和 2）年 4 月 1 日から 2021（令和 3）年 3 月 31 日まで）

目次

1 公益目的事業の状況	1
(1) 資金等の資源を募り、管理・活用する事業	1
1) オンライン寄附サイト「Give One (ギブワン)」登録団体への寄附の募集...	1
2) 財団運営への寄附	7
3) 社員参加型／顧客参加型寄附推進システムの提供・運営	8
4) 寄附基金の運営による継続的な寄附の推進	11
(2) 社会貢献活動についての情報提供、相談事業	79
(3) 寄附を推進するための普及啓発活動等に関する事業	79
1) 個人や企業等からの寄附を喚起するための事業	79
(4) 社会的活動を行う団体等に対する助成事業	79
(5) 社会的活動を行う団体等に対する表彰・顕彰事業	79
(6) 社会的活動を行う団体等に対する寄贈事業	81
(7) 社会的活動を行う団体等に対する研修事業	82
1) NPO のマネジメントコンサルティングの実施	82
2) NPO マネジメントに関する講座の運営および講師派遣	82
(8) 調査研究、情報発信、政策提言に関する事業	82
1) Panasonic NPO サポート ファンド 2018 年に助成事業を終了した団体を対象 とした成果評価	82
2) Panasonic NPO サポート ファンドの組織基盤強化助成の成果をはかる調査	83

1 公益目的事業の状況

「公1 より良い社会の形成を推進するため、資金等の資源を募り管理活用し、また社会的活動を行う団体に対して助成、顕彰等を行うほか、社会貢献活動についての調査、研究、情報発信、相談・助言等を行う事業」にかかわる個別事業の本年度事業結果を以下に報告する。

(1) 資金等の資源を募り、管理・活用する事業

広く個人や企業等からの寄附を社会的活動につなげていくもので、当財団の中心的な事業である。受け入れた寄附金を助成金として活用する側面を含めて、本項に記載する。

2020 年度に当財団が受け入れた寄附金は下記の通りである。当財団の呼びかけに賛同しご支援くださった、個人・企業の寄附者の皆様に深く感謝する。

◆寄付金	1,962,132,066 円
内訳) 現金受領	1,958,030,845 円
現物受領	4,101,221 円

1) オンライン寄附サイト「Give One (ギブワン)」登録団体への寄附の募集

オンライン寄附サイト「Give One (ギブワン)」を運営し、不特定多数の市民、特に初めて寄附を行う人や仕事が忙しく社会貢献活動の機会のない人などを対象に、当財団による厳正な事前審査を経た、信頼できる団体の活動情報を提供し、寄附を募った。助成先団体情報の更新、団体活動レポートの送信などを通じ、寄附者が助成先事業を共に支えていることが実感できる仕組みを提供している。

2020 年度は、グローシップパートナーズ株式会社によるプロボノ支援により、セキュリティの強化とユーザビリティの向上を兼ねて、Give One サイト全体のリニューアルを行った。ウェブサイトのスマートフォン対応、寄付プロジェクトごとの SDGs テーマ設定、寄付者が団体への寄付を自分の周囲の人などに呼び掛けることのできる「応援企画機能」、登録団体向けの管理画面の機能の大幅な向上などが実現した。

また、2020 年 2 月 26 日から 2020 年 4 月 6 日まで新規登録団体の公募を行い、審査を通過した 36 団体が新規登録団体となった。これに伴い、既存の登録団体についても、登録団体への信頼性向上のため、3 年ごとに組織の側面から審査を行う認証登録更新制とした。この第一回の認証登録の更新において、117 の既存登録団体が継続掲載となった。

登録プロジェクト数は常時変動があるものの、年度末時点での状況としては 380 前後のプロジェクト掲載となった。

2020 年度 (2020 年 4 月～2021 年 3 月) のオンライン受入寄附金額 (クレジットカードと

ジャパンネット銀行、Payeasy を通じた決済金額) は合計 26,836,000 円で、E-ファンドレイジングチャレンジを行った前年度と比べて約 25%減となった。

寄附申込の翌々月末に助成金の振込を行うことから、2020 年度 (2020 年 4 月～2021 年 3 月) に登録団体に対する助成した金額は、2020 年 2 月～2021 年 1 月の間に寄附の申込のあった受入寄 27,433,872 円の 85%にあたる 23,318,792 円であった。また運営管理費用として、同 15%の 4,115,080 円を充当した。

2020 年度 (2020 年 4 月～2021 年 3 月) の団体別受入寄附金額及び助成金額の実績は下記の通りである。

※受入寄附金額降順

団体名	受入寄附金額 (2020.4～2021.3)	助成金額 (2020 年度支払済)
Learning for All	8,671,500	7,403,925
Earth Company (アース・カンパニー)	2,660,800	2,006,340
パブリックリソース財団「Give One 寄付パッケージ」窓口	1,441,296	1,315,287
＜パッケージ寄付の内訳＞		
【新型コロナ緊急支援】ひとり親家庭等に食品を	545,805	504,734
【震災特別寄付パッケージ】被災地 3 県の 7 団体応援プロジェクト	280,000	238,850
【台風 19 号】緊急支援パッケージ	0	2,635
【東日本大震災】生活再建支援寄付パッケージ	30,000	69,700
【東日本大震災】復興ふくしま支援寄付パッケージ	2,000	3,400
九州豪雨等の被災者支援にご協力を	583,491	495,967
全国女性シェルターネット	1,363,000	1,205,300
女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ	891,193	816,156
子どもの虐待防止センター	711,000	189,550
フードバンク関西	636,713	732,149
ケア・インターナショナル ジャパン	538,650	431,460
子どもセンター「パオ」	452,000	361,250
日本クマネットワーク (JBN)	387,182	335,055
地球の友と歩む会 (LIFE)	329,350	236,598
きょうとグリーンファンド	317,000	272,000
はたらく女性の全国センター (ACW2)	316,000	257,550

チャイルド・リソース・センター	303,000	251,600
フェアスタートサポート	298,000	255,000
新宿連絡会	278,000	261,800
インフォメーションギャップバスター	273,000	267,325
パレスチナ子どものキャンペーン	237,000	305,150
長野サマライズ・センター	212,000	199,750
自立支援センターふるさとの会	212,000	189,550
石西礁湖サンゴ礁基金	211,440	224,154
子どもシェルターモモ	193,000	188,700
グッドネーバーズ・ジャパン	193,000	181,050
民際センター	189,500	136,000
アムダ (AMD A)	182,186	160,808
子どもの虐待防止ネットワーク・あいち (CAPNA)	166,000	158,100
スマイリングホスピタルジャパン	151,000	162,350
日本地雷処理を支援する会 (JMAS)	142,400	128,180
認定 NPO 法人フードバンク山梨	140,500	121,550
ブリッジフォースマイル	138,000	198,050
ぱれっと	130,000	124,950
芸術家と子どもたち	128,000	113,900
キッズドア	127,000	205,700
気候ネットワーク	121,000	130,050
カパティラン	113,000	51,850
RAFIQ(在日難民との共生ネットワーク)	111,000	82,450
アイキャン	104,500	76,075
難民を助ける会 (AAR Japan)	104,330	93,696
ピース ウィンズ・ジャパン	102,500	91,375
日本クリニクラウン協会	101,900	119,935
パノラマ	100,000	18,700
日本 IDDM ネットワーク	98,961	96,399
ジャパンハート	98,000	94,350
越谷らるご	97,728	142,637
みんなのことば	93,000	73,950
国際ビフレンダーズ 東京自殺防止センター	89,000	39,950

CAP センター・JAPAN	87,000	98,600
エイズ孤児支援 NGO・PLAS	87,000	26,350
ビッグイシュー基金	82,000	149,600
トゥギャザー	81,333	83,300
エバーラスティング・ネイチャー	78,000	75,650
ブリッジ エーシア ジャパン	77,000	60,350
SOS 子どもの村 JAPAN	75,773	59,732
東京シューレ	73,000	64,600
シャプラニール=市民による海外協力の会	73,000	51,850
GrowAsPeople	73,000	29,750
ハンガー・フリー・ワールド	72,500	67,575
ウォーターエイドジャパン	60,500	49,300
リトルワンズ	60,000	49,300
ジャパン・プラットフォーム	58,000	153,000
子どもセンターぼると	57,000	53,550
もうひとつの美術館	49,000	41,650
地球市民の会	49,000	30,600
地域・教育魅力化プラットフォーム	48,000	66,300
タンザニア・ポレボレクラブ	47,000	38,250
JHP・学校をつくる会	43,000	30,600
ビーンズふくしま	40,000	48,977
フローレンス	40,000	43,350
知床自然大学院大学設立財団	40,000	42,500
公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)	39,000	28,900
霧多布湿原ナショナルトラスト	37,000	39,950
日本国際民間協力会 (NICCO)	36,620	32,827
東京 YMCA “liby (リビー)”	36,000	35,700
アトピッ子地球の子ネットワーク	35,000	40,800
おおいた環境保全フォーラム	34,073	12,750
エイブル・アート・ジャパン	33,344	20,334
緑の地球ネットワーク	33,000	34,850
こころ塾	32,000	47,600
ReRoots	30,500	34,425

hareruya／ケア・シェアリング・ポノ	30,000	0
KHJ 全国ひきこもり家族会連合会	30,000	26,350
宮古島海の環境ネットワーク	30,000	25,500
PHD 協会	30,000	8,500
JUON NETWORK (樹恩ネットワーク)	29,500	48,875
さいたまユースサポートネット	29,070	16,210
高木仁三郎市民科学基金	28,000	25,500
アムネスティ・インターナショナル日本	28,000	22,100
石巻復興支援ネットワーク	28,000	21,250
CODE 海外災害援助市民センター	26,000	39,100
バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター	24,000	34,000
日本国際ボランティアセンター (JVC)	23,520	15,742
箕面こどもの森学園(コクレオの森)	23,476	19,955
難病の子どもとその家族へ夢を	23,000	19,550
いるか	22,000	18,700
ぴいかあぶう	22,000	18,700
チャイボラ	22,000	15,300
フィリピン日系人リーガルサポートセンター	22,000	13,600
リソースセンターone	21,000	29,750
シマフクロウ・エイド	21,000	17,850
トラ・ゾウ保護基金	20,000	15,300
公益財団法人 国際医療技術財団	20,000	8,500
日本芸能実演家団体協議会	20,000	8,500
発達わんぱく会	18,891	16,057
レイプクライシスセンターTSUBOMI	18,000	22,950
病気の子ども支援ネット 遊びのボランティア	18,000	22,100
シャンティ国際ボランティア会	18,000	18,700
PIECES	18,000	12,750
多言語社会リソースかながわ	17,000	24,650
アジア・アフリカと共に歩む会	17,000	16,150
白神山地を守る会	17,000	12,750
国際環境 NGO FoE Japan	16,000	21,250
楽の会リーラ	16,000	13,600

まちぽっと	15,000	12,750
モザンビークのいのちをつなぐ会	15,000	12,750
日本教育再興連盟	15,000	11,050
こどもコミュニティケア	14,000	25,500
たんぼぼの家	14,000	16,150
しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西	13,000	20,400
あおもり NPO サポートセンター	12,000	11,900
Hands On Tokyo	12,000	11,900
DPI 日本会議	11,000	10,200
日本生態系協会	11,000	9,350
めぐはうす 地域生活支援センターMOT A	10,000	8,500
トージバ	10,000	8,500
ふよう土2100	10,000	8,500
TeachForJapan	10,000	8,500
アクセプト・インターナショナル	10,000	4,250
芸術と遊び創造協会	8,271	7,880
エッジ	8,000	13,600
5years	8,000	11,050
アジア協会アジア友の会	8,000	2,550
女性の安全と健康のための支援教育センター	7,000	34,850
遠野まごころネット	7,000	17,850
環境=文化NGO ナマケモノ倶楽部	7,000	7,650
サンクチュアリ エヌピーオー	6,000	5,100
CIESF	6,000	5,100
エンパワリング ブレストキャンサー	6,000	5,100
棚田 LOVER' s	5,000	0
日本点字図書館	5,000	11,900
野生生物保全論研究会	5,000	8,500
みらいの森	5,000	7,225
e-Education	5,000	5,950
チャイルドラインあいち	5,000	5,950
神戸定住外国人支援センター (KFC)	5,000	4,250
メコン・ウォッチ	5,000	4,250
インド福祉村協会	5,000	4,250

大雪山自然学校	5,000	4,250
more trees	5,000	4,250
ACE	4,000	6,800
e-MADO 病気のこどもの総合ケアネット	4,000	6,800
日本フィランソロピー協会	4,000	4,250
桜ライン 311	3,000	23,800
アレルギー支援ネットワーク	3,000	4,250
響愛学園	3,000	4,250
日本ウミガメ協議会	2,000	3,400
樹木・環境ネットワーク協会	2,000	3,400
楠の木学園	1,000	850
チャンス・フォー・チルドレン	1,000	850
チャリティーサンタ	1,000	850
彩結び	0	2,975
「みのお山麓保全ファンド」	0	1,700
ゆるら	0	850
アイサーチ・ジャパン	0	850
緑と水の連絡会議	0	850
合計	26,836,000	23,318,792

クレジットカード、ペイジーおよびジャパンネット銀行以外の決済手段による、Give One（ギブワン）登録団体に対する寄附は 9,000,000 円だった。2020 年度受け入れ寄附については 2021 年度に助成を実施する予定である。

寄附者名	受入寄附金額
個人 (1 件)	9,000,000
合 計	9,000,000

2) 財団運営への寄附

当財団の賛助会費（運営費 100%）は、1,050,000 円だった。

また、財団指定寄附（事業費及び運営費 各 50%）は、4,959,086 円だった。

3) 社員参加型／顧客参加型寄附推進システムの提供・運営

<寄附付き年賀状>

寄附金付き年賀状の企画は株式会社プリプレス・センターと協働して、2014年版年賀状（当財団2013年度）から実施している。年賀状に支援先を明記するために、年賀状の販売開始に先立ち、2014年度に助成先に関する選考委員会を開催し本年賀状のデザインで採用される障がい者アートの活動（一般財団法人たんぼぼの家 エイブルアート・カンパニー）を助成先として決定した。2020年度は、2020年版年賀状販売による寄附金（40,535円）をもとに、34,455円の助成を実施した。

受入寄附金額	40,535 円
助成額	34,455 円
公募	公募実施せず（継続助成）
審査会	2014年7月11日～17日（書面による持回り開催）
選考委員	■■■■■（立命館大学産業社会学部 教授） ■■■■■ 世界文化フォーラムアライアンス 日本幹事） ■■■■■（特定非営利活動法人ニンジン 常務理事）
審査結果	一般財団法人たんぼぼの家 エイブルアート・カンパニー
助成期間	2020年4月～2021年3月

<東北3.11基金>

福島、宮城、岩手の子どもたちをめぐる課題を解決し、子どもたちが自らの力で未来を切り開いていく活動を支援する基金である。認定特定非営利活動法人ジャパン・カインドネス協会の管理する寄附金つき飲料自動販売機の売り上げから、2020年度は、1,331,482円の寄附を受け入れ、3団体に対し合計1,314,000円を助成した。

受入寄附金額	1,331,482 円
助成額	1,314,000 円
公募	2020年8月17日～9月16日
審査会	2020年10月（オンラインでの審査会）
審査委員	■■■■■（立命館大学産業社会学部 教授） ■■■■■（合同会社志事創業社 代表） ■■■■■（特定非営利活動法人 ニンジン 常務理事）

審査結果	以下の 3 団体を決定 特定非営利活動法人 ふくしま30年プロジェクト 北上 まちかど保健室 一般社団法人 ワタママスマイル
助成期間	2020年 11 月 1 日 ～ 2021 年 10 月 31 日

<魚沼の未来基金>

本基金は、塩沢信用組合と協働して、魚沼地域の未来を切り拓く人材や団体を支援し、地域の誰もがいきいきと暮らせるふるさと魚沼を、将来にわたって継承・発展させることを目的として設立した。

本基金は、信用組合が組合員に呼びかけて寄附を募り共に地域に貢献するという、金融機関が「社会貢献のプラットフォーム」を提供する日本初の取り組みである。

ご寄附は「はばたき奨学金」（返済不要の高校生向け奨学金制度）に活用され、新1年生一人当たり96,000円（入学準備金36,000円、月例奨学金60,000円（5,000円×12か月））、新2、3年生は60,000円（月奨学金60,000円（5,000円×12か月））を支給している。

2020年度は8,275,264円の寄附を受け入れた。

また、「第五期はばたき奨学金」対象者として、魚沼地域のひとり親家庭の子女48名（新1年生11名・新2年生23名・新3年生14名）の奨学生の選定を行った。

2020年度の奨学金支給は、第四期奨学生54名に対して月例奨学金、第五期奨学生のうち新1年生に入学準備金を支給した。

受入寄附金額	8,275,264円
助成額	第四期：3,270,000円 第五期：396,000円（新1年生に対する入学準備金のみ） 卒業祝金：160,000円（10,000円×16人） 合計：3,826,000円
公募	2020年10月1日～10月30日
応募	48件
審査会	2021年1月28日
選考委員	■■■■（新潟大学工学部建設学科 准教授） ■■■■（南魚沼市長） ■■■■（魚沼市長） ■■■■（塩沢信用組合 理事長）
審査結果	48人を奨学生として選定

助成期間	2020年3月1日～2022年3月31日
------	----------------------

<大和証券グループ サンタチャリティープログラム>

同プログラムは、大和証券グループの社員による寄附を原資とし、社会的養護にいる子どもたちやNPO等の支援を受けるひとり親家庭やその子どもたちに対して、NPO等の団体を通じてクリスマスシーズンにおもちゃ、ケーキなどをプレゼントする基金である（本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からケーキのプレゼントは中止した）。

2020年度は、12,635,648円の寄附を受け入れた。

審査委員会により33件の団体が採択され、おもちゃセットとお菓子セットを寄贈した。

受入寄附金額	12,635,648円
寄贈数	おもちゃセット：120セット お菓子セット：2,682セット
公募	2020年11月5日～2020年11月16日
応募件数	33団体
審査会	2020年12月7日～2020年12月12日（メールによる持ち回り審査）
選考委員	<p>■■■■■（公益財団法人あすのば 代表理事）</p> <p>■■■■■（公財団法人パブリックリソース財団 専務理事）</p> <p>■■■■■（株式会社大和証券グループ本社経営企画 部長）</p>
寄贈先選定結果	<p>沖縄県マザーズスクエアゆいはあと</p> <p>沖縄県マザーズスクエアゆいはあと中部</p> <p>沖縄県マザーズスクエアゆいはあと北部</p> <p>沖縄県マザーズスクエアうるはし</p> <p>浦添市母子生活支援施設浦和寮</p> <p>NPO 法人エンカレッジ</p> <p>公益社団法人那覇市母子寡婦福祉会</p> <p>NPO 法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄</p> <p>一般社団法人サポートセンターHOPE</p> <p>認定 NPO 法人ふーどばんく OSAKA</p> <p>グリーンヒル相模原</p> <p>社会福祉法人厚生館 厚生館立花</p> <p>社会福祉法人昭徳会 若松寮</p> <p>公益社団法人慈友会 慈友学園</p> <p>社会福祉法人名古屋文化福祉会 キンダーホルト</p> <p>社会福祉法人愛知県母子寡婦福祉連合会 愛知しらゆり荘</p>

社会福祉法人愛知県母子寡婦福祉連合会 愛知昭和荘 認定 NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ NPO 法人女性ネット Saya-Saya NPO 法人 Mama's café 認定 NPO 法人ファミリーハウス NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク ふくしまこども食堂ネットワーク 認定 NPO 法人エデュケーションエーキューブ NPO 法人青少年の居場所 Kiitos NPO 法人キッズドア “がきんちょ”ファミリー 新潟県フードバンク連絡協議会 社会福祉法人親和会 NPO 法人フードバンクにいがた NPO 法人ビーンズふくしま 一般社団法人 Mother Tree ライトハウス新宿チャーチ (J Mate)

4) 寄附基金の運営による継続的な寄附の推進

今期は下記の基金を運営した。

<未来につなぐふるさと基金>

同基金は、キヤノンマーケティングジャパン株式会社が使用済みカートリッジの回収本数と PPC 用紙（コピー紙）の販売数に応じ同社が実施する寄附や、古本の回収等による一般からの寄附も受け付けている。同基金への 2020 年度寄附受け入れ額は 10,714,116 円だった。

2019 年度に採択された 5 団体については、2020 年 12 月に継続審査を行い、継続助成（助成期間：2020 年 1 月～2020 年 12 月）を決定し、2,381,000 円を助成した。また、2021 年 3 月に新規助成団体の審査を行い、5 団体を採択し（助成期間：2021 年 4 月～2021 年 12 月）、2,500,000 円を助成した。

2020 年度の助成先である 10 団体において、生物多様性の保全を促す 42 の市民参加型プログラムが実施され、1,044 名の市民が参加した。また、キヤノンマーケティングジャパン株式会社が助成先団体において実施する写真教室（機材と講師の無料提供）に協力し、合計 7 回実施した。加えて、助成先団体の組織運営力の向上を目的とした組織診断や広報ワークショップ等の、運営面での支援を行った。キヤノンマーケティングジャパン株式会社が生物

多様性の啓発を目的として開設した「未来につなぐふるさとプロジェクト」のサイトに掲載するためのコンテンツの収集に協力し、公益財団法人日本自然保護協会と協力して、生物多様性の専門的見地からのコメントを作成した。

2021年3月に予定していた報告会は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策の影響により2020年3月出席予定であった団体も合わせた15団体で、オンラインにより2回にわたり開催した。

受入寄附金額	10,714,116円
助成額	4,831,000円（2021年度分を2020年度に助成）
公募	2020年11月30日～2021年1月18日（新規団体のみ）
審査会	2020年12月：2019年助成の継続審査（メールによる持ち回り審査） 2021年3月29日：2021年助成の審査
審査委員	<p>■■■■（東京学芸大学名誉教授）</p> <p>■■■■（公益財団法人日本自然保護協会 自然のちから推進部）</p> <p>■■■■ 公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会、環境委員会副委員長）</p> <p>■■■■（キヤノンマーケティングジャパン株式会社 企画本部 サステナビリティ推進部 部長）</p>
審査結果	<p>継続助成（5団体）</p> <p>一般社団法人 風土人</p> <p>一般財団法人 C.W.ニコル・アフアの森財団</p> <p>NPO法人 持続可能な開発のための教育推進会議</p> <p>ウエットランドフォーラム</p> <p>NPO法人 中池見ねっと</p> <p>新規助成（5団体）</p> <p>NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム</p> <p>のまはら</p> <p>一般社団法人 自然再生と自然保護区のための基金</p> <p>NPO法人 Peace & Nature</p> <p>NPO法人 グラウンドワーク三島</p>
助成期間	<p>継続</p> <p>2021年1月1日～2021年12月31日</p> <p>新規</p>

2021年4月1日～2021年12月31日

<大和証券グループ 輝く未来へ こども応援基金>

同基金は、株式会社大和証券グループ本社の持続可能な社会の実現に向けて貢献する活動の一環として、子どもの環境改善や貧困の連鎖を防止することを目的に創設された基金である。同基金では、子どもの人生への意欲を育み将来の貧困リスクを低減する先駆的な事業をとりあげ、効果的で継続的なものとするための事業開発を支援し、子どもの貧困対策におけるイノベーションを推進している。

同基金の助成金プログラムは、1団体につき初年度300万円程度、2年度目300万円程度、3年度目300万円程度、総額900万円程度を支給する。なお、継続支援には1年毎の審査が行われる。

2020年度は16,675,480円の寄附を受け入れ、審査会にて継続支援4団体を選定した。

受入寄附金額	16,675,480円
助成額	13,400,000円
審査会	審査会：2020年11月24日
審査委員	<p>■■■■■（立教大学社会学部・同大学院21世紀社会デザイン研究科教授、認定NPO法人日本NPOセンター代表理事）</p> <p>■■■■■（特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長）</p> <p>■■■■■（公益財団法人あすのば代表理事）</p> <p>■■■■■（株式会社大和証券グループ本社 経営企画部 SDGs推進室長）</p> <p>■■■■■（株式会社シグマクシス 常務執行役員）</p>
審査結果	<p>以下の4団体を決定</p> <p>認定特定非営利活動法人 エデュケーションエークューブ</p> <p>認定特定非営利活動法人 D×P</p> <p>特定非営利活動法人 パノラマ</p> <p>特定非営利活動法人 フェアスタートサポート</p>
助成期間	2021年1月1日～2021年12月31日

<大和証券グループ未来応援ボンド こども支援団体サステナブル基金>

同基金は、新型コロナウイルスのような感染症の流行や、昨今の豪雨災害、また今後予期される首都直下型地震・南海トラフ地震等の自然災害の発生時においても、子どもが必要な支援を継続的に受けることができるよう、子ども支援団体が平時より団体運営の持続可能性とレジリエンスを高めることを応援するものである。なお、2020年6月に発行した社債

「大和証券グループ未来応援ボンド」の手取金の一部を、本基金への寄付金に充当している。

同基金の助成金プログラムは、1団体につき350万円の助成金を支給する。2020年度は3件、35,199,455円の寄附を受け入れ、審査会にて8団体を選定した。

受入寄附金額	35,199,455 円
助成額	24,735,400 円
審査会	一次審査会：2020年12月8日 二次審査会：2020年12月22日
審査委員	<p>■■■■■（立教大学 21世紀社会デザイン研究科 教授）</p> <p>■■■■■（認定 特定非営利活動 法人びーのびーの 理事長）</p> <p>■■■■■（株式会社大和証券グループ本社 経営企画部 SDGs 推進室長）</p> <p>■■■■■（株式会社シグマクス 常務執行役員）</p> <p>■■■■■（子どもの未来サポートオフィス 代表）</p>
審査結果	<p>以下の8団体を決定</p> <p>特定非営利活動 法人アスクネット</p> <p>特定非営利活動 法人サンカクシャ</p> <p>認定 特定非営利活動 法人 3keys</p> <p>認定 特定非営利活動 法人 D×P</p> <p>特定非営利活動 法人トイボックス</p> <p>特定非営利活動 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク</p> <p>認定 特定非営利活動 法人 PIECES</p> <p>特定非営利活動 法人フェアスタートサポート</p>
助成期間	2021年1月1日～2021年12月31日

<ゴールドマン・サックス基金>

ゴールドマン・サックス証券株式会社（GS）の持田昌典社長のイニシアチブで創設された基金であり、子どもの貧困問題に取り組む団体を支援している。持田社長は米国の大学で学んで飛躍した自身の経験から、「教育を受けるチャンスがあることは重要だ」と基金の創設を行った。

同基金では、Give One（ギブワン）登録団体の中から、NPO法人「Learning for All（LFA）」（東京都新宿区、李炯植代表理事）を選択し、同団体が展開する学習支援などのプログラムに、3年間で計約4億円を助成するものである。延べ約750人の子どもたちへの教育支援を目指し取り組んできた。

2020年度は、142,096,174円の寄附を受け入れ、LFAに対し118,272,421円を助成した。

LFA は、助成金をもとに、2020 年度は各拠点で活動を継続し、コロナ禍で困難度を深める子ども達とその家族のために、いち早くオンライン学習を取り入れ、食糧支援に取り組むなどして活動を展開した。またプロジェクト最終年度にあたることから、「つながり・育ち・学びの環境を包含したセーフティネットを地域に作り、全国に展開すること」を目的として、これまで培ってきたノウハウや経験をコンテンツ化し横展開するためのサイト整備にも取り組んだ。

2020 年 3 月 4 日に LFA より GS に対し、オンラインによる 3 年間の振り返りと成果報告会が行われ、3 年間で 1724 名の子ども達に支援を行い、また LFA の学習支援を行うことによって子どもたちの学力向上が見られたといった成果が報告された。

受入寄附金額	142,096,174円
助成額	118,272,421 円
受益者数	年約235人

<緊急災害支援基金>

MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社より、災害が起こった際に会社として緊急に募金するための基金を立ち上げたいとの相談を受けた。Give One (ギブワン) の登録団体を助成の対象とすることで迅速な資金支援を行うことを提案し、基金の仕組みを協働で開発した。2020 年度は、2020 年 7 月 4 日に発生した九州豪雨災害への緊急支援を実施している 2 団体に、各 50 万円を助成した。また、緊急時に備えたプール金として、3,000,000 円の寄付を受け入れた。

受入寄附金額	3,000,000 円
助成額	1,000,000 円
助成対象団体	特定非営利活動法人 難民を助ける会 特定非営利活動法人 ジャパンハート

<東京海上日動キャリアサービス 働く力応援基金>

当基金は、様々な理由で働くことに困難を抱える方々を、働きがいのある就労につなげ、インクルーシブな世界の実現を図ることを目的に、株式会社東京海上日動キャリアサービスからの寄付をもとに創設された。本基金では、全ての人が自分で職業を選ぶことができる社会、働く権利を保障される社会を目指し、「働くを求める人」の就労を促進し、社会課題の解決を行う就労支援の NPO 等に対し、助成を行う。

総額 150,000,000 円の寄付を受入れ、2021 年度から 3 年間助成事業を継続して行うこととし、2020 年度は 1 年目の公募のみを行った。なお、助成金の交付及び助成事業開始は 2021

年度からとなる。

受入寄附金額	150,000,000 円
公募	2021 年 3 月 1 日 ～ 2021 年 3 月 26 日
応募	88 件
助成期間	2021 年 6 月 1 日 ～ 2022 年 3 月 31 日

<ふくしま未来基金>

「ふくしま未来基金」は福島県内の篤志家及び地域貢献を目指す企業からの寄附で創設された地域基金である。基金創設時に受け入れた大口寄附をもとに運営を行っている。

2020 年度は、一般財団法人ふくしま未来研究会や一般社団法人ふくしま連携復興センターなど、複数の福島市内の中間支援組織や専門家と連携しながら、「未来づくり助成（1 年 300 万円+コンサルタント支援 50 万円相当、2 年間継続助成）」「まちづくり草の根助成（単年度支援 100 万円）」の二つの助成プログラムを実施した。福島市内を中心とする 11 団体（内 1 団体は 2019 年度からの継続）に総額 11,833,000 円を助成した。

同基金では、資金助成だけでなく、経営支援を行うことを重視している。「まちづくり草の根助成」の助成団体に対して、受け入れ条件が合致する団体については、組織診断を実施した。

なお、2020 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、前年度まで実施していた「専門家派遣」「NPO マネジメントコンサルタント養成講座」「ふくしま志高塾」は実施しなかった。

助成額	11,833,000 円（総額） ※前年度以前受け入れ寄附分も含む
公募	2020 年 3 月 1 日 ～ 4 月 5 日
応募件数	42 団体
審査会	未来づくり助成 継続審査会：2020 年 5 月 26 日 まちづくり草の根助成 一次審査会：2020 年 7 月 6 日（月） 同 二次審査会：2020 年 7 月 29 日
選考委員	<p>■■■■■（福島大学学長参与）</p> <p>■■■■■（弊財団理事 復興庁上席政策調査官）</p> <p>■■■■■（NPO 法人ビーンズふくしま 理事）</p> <p>■■■■■（立教大学社会学部・同大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授、認定 NPO 法人日本 NPO センター 代表理事）</p> <p>■■■■■（オフィス Beni 代表）</p>
選定結果	<未来づくり助成>

	特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ <まちづくり草の根助成> いわき・双葉の子育て応援コミュニティ cotohana 特定非営利活動法人 0073 (おおなみ) 認定特定非営利活動法人 キャリア・デザイナーズ 一般社団法人 子育て支援コミュニティ プチマママン 特定非営利活動法人 しんせい しんちの子育て考え隊 特定非営利活動法人 野馬土 一般社団法人 福島県助産師会 ベルフォンテ ポレポレ-ねうぼらふくしま-
助成期間	未来づくり助成：2020年6月1日～2021年5月31日 まちづくり草の根助成：2020年8月1日～2021年7月31日

<あい基金>

すべての女性が自らの力で人生を選択できる社会を目指し、経済的自立など女性にまつわる課題解決に取り組む事業を支援する、女性のための基金「あい基金」を運営している。

2020年度は合計 95,711 円の寄附を受け入れたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、2019年度に立ち上げた“あい基金ギビング・サークル”のメンバーによる現地視察を行うといった活動を行うことはリスクが高いと判断し、活動休止とした。

2021年3月19日(金)には、あい基金ギビング・サークルのメンバーを対象に、オンラインによる2019年度に採択した下記2団体からの活動報告会を行った。

- ・一般社団法人 コミュニティスペース うみねこ
- ・一般社団法人 tenten (ベルフォンテ)

<I. H. K 基金>

同基金は、将来の医療福祉分野での活躍を願って、東京都内の児童養護施設または里親宅で暮らしている児童(女子)が高校卒業後に進学する授業料を助成し、児童の社会的自立を支援することを目的に設立された。専門教育機関を卒業するまで一人当たり総額100万円の返済不要の奨学金を支給している。また、認定特定非営利活動法人ブリッジフォースマイルと連携し、就学期間中、対象者に若い社会人ボランティアを派遣し、社会的自立に向けて、近い年齢層からの相談しやすい環境を提供していく。

2020年度は1,580,000円の寄附を受け入れた。奨学金選考委員会にて、1名の奨学生を選定し、1年目の奨学金として400,000円を支給した。

受入寄附金額	1,580,000 円
総助成金額	1,150,000円
公募	2020 年 4 月 1 日 ～ 5 月 29 日
応募	1 件
審査会	2020 年 7 月 5 日
選考委員	■■■■■ (横浜市男女共同参画センター横浜南 管理事業課長) ■■■■■ (あしなが育英会 顧問) ■■■■■ (公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事)
審査結果	1人を奨学生として選定
助成期間	2021 年 3 月 29 日 ～ 2023 年 3 月 31 日

<ゆーじチャレンジ基金>

同基金は、将来の医療福祉分野での活躍を願って、静岡県内の児童養護施設または里親宅（ファミリーホーム含む）で暮らしている児童が高校卒業後に進学する授業料を助成し、児童の社会的自立を支援することを目的に設立された。一人当たり総額 100 万円の返済不要の奨学金を支給する。

2020 年度は 1,270,000 円の寄附を受け入れた。奨学金選考委員会にて、1 名の奨学生を選定し、1 年目の奨学金として 250,000 円を支給した。

受入寄附金額	1,220,000 円
総助成額	500,000円
公募	2020 年 4 月 1 日～5 月 29 日
応募	1 件
審査会	2020 年 7 月 18 日
選考委員	■■■■■ (静岡県ボランティア協会市民活動センター 理事長) ■■■■■ (静岡大学 人文社会科学部長) ■■■■■ (公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事)
審査結果	1 人を奨学生として選定
助成期間	2021年 3 月 1 日～2025年 3 月 31 日

<謝縁教育基金>

「自身が生きてくる中で、多くの皆様からいただいたご恩を次の世代に送り、自分が人生で大切にしてきた志を次の世に遺したい。」という寄付者の想いにより 2019 年度に設立された。当基金は、困難を抱える若者への教育支援や、不登校や発達障害の若者の居場所づくりに取り組む NPO 法人等の活動を支援することを目的としており、Give One (ギブワン) に登録されている審査済みの団体から、1 団体あたり 50 万円を 6 年間、合計 6,000,000 円の資金助成を行う予定である。

2020 年度には、オンライン寄付サイト Give One (ギブワン) を通じて本基金へ 50,000 円の寄附を受け入れた。また、同基金の目的に合致する活動を行っている下記 2 団体を選出し、助成を行った。

受入寄附金額	50,000円
助成額	1,000,000 円
助成対象団体	特定非営利活動法人 Learning for All 特定非営利活動法人 楠の木学園
助成期間	2020 年 4 月 ~ 2026 年 3 月

<移民・難民支援基金>

当基金は、日本国内の難民、移民、技能実習生、外国人労働者とその家族など、外国籍または外国にルーツをもつ人々への支援を行っている NPO 法人等の民間非営利組織に対し、資金助成をはかり、その活動を支援することを目的として創設された。2020 年度は、400 万円の寄付を受入れ、1 団体あたり 40~60 万円の資金助成を行い、全 6 団体に対して合計 320 万円の資金助成を実施した。

受入寄附金額	4,000,000 円
助成額	3,200,000 円
公募	2020 年 9 月 1 日 ~ 2020 年 9 月 30 日
応募	26 件
審査会	2020 年 11 月 17 日
選考委員	<p>■■■■ (一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事)</p> <p>■■■■ (国士舘大学文学部 教授)</p> <p>■■■■ (全国難民弁護団連絡会議事務局)</p>

審査結果	以下 6 団体を決定。 特定非営利活動法人 J F C ネットワーク 福島移住女性支援ネットワーク クルド日本語教室 特定非営利活動法人 北関東医療相談会 RAFIQ 特定非営利活動法人 名古屋難支援室
助成期間	2020 年 12 月 1 日 ~ 2021 年 11 月 30 日

<高山弘子基金>

当基金は、個人からの遺贈により 2018 年度に 55,250,000 円の寄付を受け、創設されたオリジナル基金である。寄付者の生前の遺志に従って、「恵まれない環境を余儀なくされた子ども達」のために役立てるために、貧困により生活に困難を抱えている子どもやその家庭に対して支援を行う NPO 法人等の民間非営利組織に対し資金助成を図り、その活動を支援することを目的としている。

2020 年度は、Give One（ギブワン）に登録されている審査済みの団体から、同基金の目的に合致する活動を行っている全ての団体を選出し、全 14 団体に対して、1 団体あたり 50 万円、合計 7,000,000 円の資金助成を行った。

当助成金の用途は、同基金の目的に合致するプロジェクトに限定して活用され、同基金の残高が無くなるまで、全国の恵まれない環境を余儀なくされた子ども達のために、幅広い分野で役立てられる。

受入寄附金額	0円
助成額	7,000,000 円
助成対象団体	Give One登録団体から以下の14団体を選出し、交付決定した。 認定特定非営利活動法人 グッドネーバーズ・ジャパン 認定特定非営利活動法人 フードバンク山梨 特定非営利活動法人 いるか 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま 特定非営利活動法人 キッズドア 特定非営利活動法人 Learning for All 認定特定非営利活動法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ

	認定特定非営利活動法人 越谷らるご 認定特定非営利活動法人 フローレンス 特定非営利活動法人 ピアサポートネットしぶや 特定非営利活動法人 フェアスタートサポート 特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル 認定特定非営利活動法人 SOS子どもの村JAPAN 特定非営利活動法人 リトルワンズ
助成期間	2021年1月1日～2021年12月31日

<ビックブリッジ基金>

当基金は、海洋プラスチックゴミ問題に関連する環境保全活動や一般啓発活動を行っている NPO 法人等の民間非営利組織に対し資金助成を図り、その活動を支援することを目的として、2019年度に1,000,000円の寄付を受け創設された。2020年度は、Give One（ギブワン）に登録されている審査済みの団体から、同基金の目的に合致する活動を行っている下記1団体に対して17万円の資金助成を行った。

当助成金の使途は、同基金の目的に合致するプロジェクトに限定して活用され、5年間継続して、海洋プラスチックゴミ問題の活動支援のために役立てられる。

受入寄附金額	0円
助成額	170,000円
助成対象団体	Give One登録団体から以下の1団体を選出し、交付決定した。 特定非営利活動法人 おおいた環境保全フォーラム
助成期間	2021年2月1日～2022年1月31日

<じゅんき教育基金>

当財団では、税制改正（租税特別措置法）により公益財団法人を含む一定の法人が不動産等の現物寄付を受け入れることへの制約が緩和されたところ、その要件である一定の基金を、現物資産等寄付基金規程の制定とともに設置の上、同基金に対する公益認定等委員会の証明を取得していた。

原則としては寄付者が負うこととなるみなし譲渡所得（当該資産の寄付時の時価額と取得価額の差額）課税の非課税申請について、従来の一般特例の他に、上記の基金内で寄付財産を管理・運用することを条件とする承認特例が定められた。

寄付を受けた不動産を有価証券に買い換えて、その運用益を公益目的事業に充当することが可能となった。

上記の緩和内容が適用されることを前提に、相続する不動産を寄付したいとする寄付者から相談があり、当該不動産の寄付を受け入れるに至った。受入後、当該不動産から有価証券への買換えを行い、有価証券による運用を開始した。

<遺贈によるM基金（仮称）の創設>

都内の寄付者から遺贈（総額 123,558,801 円）を受け入れ、運用型の基金を創設した。生前のご希望に従い、運用益は、2021 年度以降において、遺贈者が長年操業していた地域で、関連する人々及び地域の社会福祉、文化の興隆、経済の振興に資することを目的に活用される予定である。

<匿名基金 A>

当基金は、個人からの寄付により創設したオリジナル基金である。コロナ禍において社会的に最も弱い立場にある子どもたちを守るために活動に取り組む NPO 法人等の民間非営利組織に対し資金助成を図り、社会的弱者である子どもの生命と暮らしと未来を守ることを目的として創設された。

2020 年度は、Give One（ギブワン）に登録されている子ども支援団体のうち、コロナ禍で支援を必要とする子どもと家族に対して国内でサービスを提供している団体を選出し、下記 34 団体に対して 45,000,000 円の資金助成を行った。

当助成金の使途は、同基金の目的に合致するプロジェクトに限定して活用され、コロナ禍で深刻な影響・被害を受けている子どもの支援に幅広く役立てられている。

受入寄附金額	50,000,000 円
助成額	45,000,000 円
公募	2021 年 12 月 9 日 ~ 2021 年 1 月 5 日
応募	34 件
審査会	2021 年 1 月 18 日
選考委員	<p>■■■■■（公益財団法人助成財団センター 理事）</p> <p>■■■■■（一般社団法人 Women Help Women 代表理事）</p> <p>■■■■■（子どもの未来サポートオフィス 代表）</p>
助成対象団体	<p>IMADATE ART FIELD</p> <p>認定 NPO 法人 発達わんぱく会</p> <p>特定非営利活動法人 ぴいかあぶう</p> <p>特定非営利活動法人 子どもセンター「パオ」</p> <p>NPO 法人 神戸定住外国人支援センター</p> <p>特定非営利活動法人 ビーンズふくしま</p> <p>NPO 法人 リトルワンズ</p>

	<p>NPO 法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ 認定特定非営利活動法人 Teach For Japan NPO 法人 楠の木学園 特定非営利活動法人 越谷らるご 認定特定非営利活動法人 アレルギー支援ネットワーク 特定非営利活動法人 長野サマライズ・センター NPO 法人 エッジ 認定 NPO 法人 PIECES NPO 法人 いるか 認定 NPO 法人 フードバンク山梨 カパティラン NPO 法人 いわき放射能市民測定室 (たらちね) NPO 法人 パノラマ 公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を 特定非営利活動法人 CAP センター・JAPAN 認定 NPO 法人 CPAO 特定非営利活動法人 せんだいこども食堂 NPO 法人 インフォメーションギャップバスター 認定 NPO 法人 アトピッ子地球の子ネットワーク NPO 法人 アクセプト・インターナショナル 特定非営利活動法人 日本教育再興連盟 特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク 公益社団法人 チャンス・フォー・チルドレン NPO 法人 ピルコン NPO 法人 みんなのことば NPO 法人 棚田LOVER's NPO 法人 ピアサポートネットしぶや</p>
助成期間	2021 年 1 月 22 日 ~ 2021 年 7 月 30 日

<NOBUKO 基金>

当基金は、相続財産からの寄付により創設されたオリジナル基金である。故人の遺志に従って、困難な状況を生きる子どもたちが困難を乗り越え、それぞれの可能性を最大限に伸ばせるように支援を行っている NPO 法人等の民間非営利組織に対し資金助成を図り、困難を抱える子どもや家庭に育つ子どもたちを支援することを目的としている。

2020 年度は、公募を実施した。審査・選定・助成金の交付及び助成事業開始は 2021 年度からとなる。なお、本事業の実施期間は 2023 年度までとなる。

受入寄附金額	50,000,000 円
--------	--------------

<女性リーダー支援基金（仮称）>

日本における意思決定過程への女性の一層の参画を通じ、女性の社会的地位の向上を図ることをめざし、相続財産からの寄付に基づき、創設されたオリジナル基金である。2021年度以降、女性リーダーシップ開発やビジョンの実現の支援に活用される予定である。

受入寄附金額	40,000,000 円
--------	--------------

<高田弘子基金>

当基金は、個人の意志に基づき 2019 年度に設立されたオリジナル基金である。日本政府に対して難民申請中の児童が、日本の専門学校や大学等の高等教育を受けるための奨学金を給付することを目的に創設された。2020 年度は、審査会により 2 名の奨学生が決定した。

受入寄附金額	1,000,000 円
総決定金額	1,600,000 円 (奨学生 1 人に対して 800,000 円)
助成額	1,600,000 円
公募	2020 年 9 月 16 日～10 月 19 日
応募	2 件
審査会	2020 年 11 月 29 日
選考委員	■■■■■ (国士舘大学文学部 教授) ■■■■■ (全国難民弁護団連絡会議事務局) ■■■■■ (パブリックリソース財団 代表理事・専務理事)
審査結果	2 人を奨学生として選定
助成期間	2021 年 3 月

<ゴールドマン・サックス 緊急子ども支援基金>

当基金は、ゴールドマン・サックス社からの寄付をもとに、新型コロナウイルス流行による非常事態下において、緊急事態に追い込まれている経済的に困難な状況下の子どもやその家庭に支援を届ける活動を行う非営利団体に対して、スピーディーな支援を届けるために緊急助成を行うことを目的に創設された。

新型コロナ対応の第 1 フェーズとして、上記を目的に助成事業を実施した後、第 2 フェーズとして、経済的困難、虐待やDV等のリスク、不登校児、様々な障がいを抱えている子ども、外国にルーツを持つ子どもといった複合的な困難を抱える子どもやその家庭を対象

に、心のケアの充実を支援することを目的に2回目の助成事業を実施した。

2020年度は150,010,250円の寄附を受け入れ、第1フェーズとしての公募では、審査会にて51団体を選定し、1団体あたり上限200万円、総額87,446,203円の資金助成を実施した。

また、第2フェーズとしての公募では、審査会にて23団体を選定し、1団体あたり上限300万円、総額52,063,329円の資金助成を実施した。

【第1フェーズにおける公募結果】

助成額	87,446,203 円
公募	2020年4月13日～2020年4月21日
応募	306件
審査会	2020年5月1日
審査委員	<p>■■■■ (法政大学名誉教授、助成財団センター 理事長)</p> <p>■■■■ (公益財団法人あすのぼ 代表理事)</p> <p>■■■■ (公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事)</p>
審査結果	<p>以下の51団体を決定。</p> <p>社会福祉法人 子供の家 アフターケア相談所ゆずりは</p> <p>NPO法人 サステナブルネット</p> <p>一般社団法人 シンママ大阪応援団</p> <p>一般社団法人 栃木県若年者支援機構</p> <p>NPO法人 ウィメンズネット・マサカーネ</p> <p>KAKECOMI</p> <p>NPO法人 アスイク</p> <p>認定NPO法人 Kacotam</p> <p>あさひ子ども見守りネットワーク</p> <p>NPO法人 女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ</p> <p>NPO法人 Learning for All</p> <p>NPO法人 子育てパレット</p> <p>NPO法人 インクルいわて</p> <p>NPO法人 パルシック</p> <p>NPO法人 地域子ども共育ステーションハッピーサークルサイクル</p> <p>NPO法人 BONDプロジェクト</p> <p>認定NPO法人 Living in Peace</p> <p>認定NPO法人 3keys</p> <p>NPO法人 エンカレッジ</p>

	公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会 認定NPO法人 ふーどばんく OSAKA NPO法人 育て上げネット 認定NPO法人 SOS子どもの村JAPAN NPO法人 フードバンクかごしま 認定NPO法人 CPAO NPO法人 キャンピズ(平野みんな食堂ネットワーク) 一般社団法人 ハイコラ NPO法人 グッドネーバーズ・ジャパン NPO法人 青少年自立援助センター 認定NPO法人 D×P NPO法人 ユースコミュニティー NPO法人 西成チャイルド・ケア・センター NPO法人 抱樸 NPO法人 ビーンズふくしま 認定NPO法人 セカンドハーベスト・ジャパン NPO法人 チュラキューブ NPO法人 ライツオン・チルドレン NPO法人 eワーク愛媛 認定NPO法人 ハーモニーネット未来 公益社団法人 チャンス・フォー・チルドレン 社会福祉法人 三愛学園 認定NPO法人 山口せわやきネットワーク 認定NPO法人 フローレンス 新潟県フードバンク連絡協議会 認定NPO法人 PIECES NPO法人 ダイバーシティ工房 NPO法人 豊島子どもWAKUWAKUネットワーク NPO法人 子育てネットひまわり NPO法人 フリースクール クレイン・ハーバー NPO法人 コミュニティサポートスクエア NPO法人 アメラジアンスクール・イン・オキナワ
助成期間	2020年5月1日～2020年11月30日

【第2フェーズにおける公募結果】

助成額	52,063,329円
-----	-------------

公募	2020年8月31日(月)～2020年9月14日(月)
応募	125件
審査会	2020年10月13日(火)
審査委員	<p>■■■■ (法政大学名誉教授、助成財団センター 理事長)</p> <p>■■■■ (公益財団法人あすのぼ 代表理事)</p> <p>■■■■ (公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事)</p>
審査結果	<p>以下、23団体を採択。</p> <p>一般社団法人 シンママ大阪応援団</p> <p>特定非営利活動法人ビーンズふくしま</p> <p>認定NPO法人 CAPNA</p> <p>認定NPO法人 いわて子育てネット</p> <p>特定非営利活動法人山口女性サポートネットワーク</p> <p>NPO法人アントワープカウンセリングオフィス</p> <p>公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢を</p> <p>NPO法人チェンジングライフ</p> <p>認定NPO法人 インクルいわて</p> <p>認定NPO法人 エンパワメントかながわ</p> <p>一般社団法人 京都わかくさねっと</p> <p>特定非営利活動法人サンカクシャ</p> <p>特定非営利活動法人陽だまりの家</p> <p>NPO法人 Learning for All</p> <p>特定非営利活動法人 箱崎自由学舎ESPERANZA</p> <p>特定非営利活動法人グッド・エイジング・エールズ</p> <p>特定非営利活動法人 エンカレッジ</p> <p>特定非営利活動法人 フードバンクにいがた</p> <p>特定非営利活動法人 心音</p> <p>特定非営利活動法人 心魂プロジェクト</p> <p>NPO法人 3.11こども文庫</p> <p>認定特定非営利活動法人 みやぎ発達障害サポートネット</p> <p>特定非営利活動法人フリースクールみなも</p>
助成期間	助成決定時から 2021年3月末

<子ども支援団体等緊急支援基金>

当基金は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策や経済活動の停滞に伴う影響が、子

どもや生活困窮者など弱い立場の人々を支援している団体にも及んでいることを受け、子ども支援団体等の経営危機に対して、次の 2 つの側面から緊急的な資金支援を行うことを目的に、大和証券グループをはじめとする多数の寄付者からの寄付をもとに創設された。

- ①子ども支援団体が、新型コロナウイルス感染症流行への対応として、新たな子どもケアなど事業拡充をする際に必要な資金の支援。
- ②子ども支援団体が、ファンドレイジングの機会減少等による資金不足によって、今後のサービス提供の継続が困難になっている場合の緊急支援。

2020 年度は 14,075,205 円の寄附を受け入れ、審査会にて 15 団体を選定し、1 団体あたり上限 100 万円、総額 11,294,400 円の資金助成を実施した。

受入寄附金額	14,075,205 円
助成額	11,294,400 円
公募	2020 年 5 月 12 日 ~ 2020 年 5 月 18 日
応募	202 件
審査会	2020 年 6 月 2 日
審査委員	<p>■■■■■ (法政大学名誉教授、助成財団センター 理事長)</p> <p>■■■■■ (公益財団法人あすのぼ 代表理事)</p> <p>■■■■■ (公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事)</p>
審査結果	<p>以下の15団体を決定。</p> <p>NPO法人 キッズドア</p> <p>NPO法人 NPO亀岡人権交流センター</p> <p>認定NPO法人 フリースペースたまりば</p> <p>NPO法人 おてらおやつクラブ</p> <p>認定NPO法人 アトピッツ地球の子ネットワーク</p> <p>認定NPO法人 とりで</p> <p>NPO法人 リトルワンズ</p> <p>NPO法人 こどもプロジェクト</p> <p>わたぼうし教室</p> <p>公益財団法人 住吉隣保事業推進協会</p> <p>NPO法人 U. grandma Japan</p> <p>一般社団法人 フードバンクいしのまき</p> <p>NPO法人 DV対策センター</p> <p>NPO法人 希望の光</p> <p>NPO法人 アフリカヘリテイジコミティー</p>
助成期間	2020 年 6 月 3 日 ~ 2020 年 12 月 31 日

<アート・ユナイテッド・ファンド（芸術文化の今を守り未来へつなぐ基金）>

当基金は、クラウドファンディングサイト Good Morning で集められた募金をもとに創設された基金である。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて活動が制限されているアーティスト、制作者、技術スタッフといった芸術文化活動の個人の担い手で、営利・非営利や分野に関係なく、公演自粛等に伴う収入の減少に直面し、活動継続が困難になっている人々に対して、各自のこれからの活動を応援するための助成金を出した。さらに賛同企業による無償の非金銭的支援として、ヤフー株式会社による動画配信支援等を予定している（ケイスリー株式会社が主導）。

2020年度は17,641,280円の寄附を受け入れ、審査会にて76名を選定し、1名あたり上限20万円、総額15,200,000円の資金助成を実施した。

受入寄附金額	17,641,280 円
助成額	15,200,000 円
公募	2020年6月1日～2020年6月9日
応募	1,715 件
審査会	2020年6月21日
審査委員	■■■■■（世田谷パブリックシアター/東京藝術大学非常勤講師） ■■■■■（公益財団法人セゾン文化財団 常務理事） ■■■■■（公益財団法人パブリックリソース財団 理事）
審査結果	76名を決定

<舞台芸術を未来に繋ぐ基金＝Mirai Performing Arts Fund>

当基金は、クラウドファンディングサイト Motion Gallery で集められた募金をもとに創設された基金である。新型コロナウイルス感染症の拡大防止によって活動停止を余儀なくされた舞台芸術に携わる出演者・クリエイター・スタッフ（個人、団体問わず）に対して今後の活動に必要な資金を助成した。

2020年度は54,155,728円の寄附を受け入れ、2回に分けて公募・審査を行い、総額48,445,373円の助成を行った。

【第1回目の公募結果】

受入寄附金額	37,152,964 円
助成額	個人：22,143,280円、団体：8,654,216 円
公募	2020年6月1日～6月9日
応募	個人：1,177件 団体：193件

審査会	2020年6月21日
審査委員	<p>■■■■ 世田谷パブリックシアター/東京藝術大学非常勤講師)</p> <p>■■■■ 公益財団法人セゾン文化財団 常務理事)</p> <p>■■■■ 公益財団法人パブリックリソース財団 理事)</p>
審査結果	<p><個人> 75名を決定</p> <p><団体> 以下の9団体を決定</p> <p>特定非営利活動法人 劇団道化</p> <p>一般社団法人 Buoy</p> <p>一般社団法人 フリンジシアター アソシエーション</p> <p>公益財団法人 日本オペラ振興会</p> <p>公益財団法人 筑後市文化振興公社</p> <p>株式会社 わらび座</p> <p>有限会社 オペラシアターこんにゃく座</p> <p>有限会社 劇団プーク</p> <p>有限会社 人形劇団クラルテ</p>

【第2回目の公募結果】

受入寄附金額	17,002,764円
助成額	個人：17,647,877円
公募	2020年8月24日～8月28日
応募	個人：105件
審査会	2020年9月26日
審査委員	<p>■■■■ 世田谷パブリックシアター/東京藝術大学非常勤講師)</p> <p>■■■■ 公益財団法人セゾン文化財団 常務理事)</p> <p>■■■■ 公益財団法人パブリックリソース財団 理事)</p>
審査結果	<p><個人> 25件を決定</p>

<Dress farm 2020 基金>

当基金は、4人組バンド sumika が発起人となり創設された。sumika が用意した Dress farm 2020 専用サイトにおける新作の楽曲のダウンロードに、個人個人が付けた価値分を寄附し

てもらおう仕組みで、2020年5月28日～2020年12月31日までの期間、Give Oneを受け皿として2,223件、11,006,993円の寄附を受け付けた。ミュージシャンが寄附を呼びかけ、そのファンを中心とした大勢の若い層が自分の思いを伝えるメッセージと共に寄附をするという、寄付層の拡大の手法として新たな試みとなった。

集まった寄附金を原資に、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下で奮闘している医療機関・関係者、および瀕死の状況に追い込まれつつあるエンタテインメント業界で働く方々に対して、医療分野で6団体、音楽ライブ分野で22名の個人に対し、総額9,555,944円の資金助成を実施した。

【第1回目の公募結果】

受入寄附金額	9,761,966円
助成額	医療分野 3,200,000円、音楽ライブ分野 1,580,960円
公募	2020年8月6日～2020年8月19日
応募	医療分野 8件、音楽ライブ分野 10件
審査会	2020年9月7日
審査委員	<医療分野> ■■■■■ (特定非営利活動法人ファミリーハウス 理事長) ■■■ ■■■ (川崎市健康安全研究所 所長) <音楽ライブ分野> ■■■ ■■■ (アーツブリッジ 代表) ■■■■■ ((一社)日本音楽制作者連盟 常務理事)
審査結果	<医療分野> 以下の4団体を決定 公益財団法人地域医療振興協会 練馬光が丘病院 認定特定非営利活動法人 ハートフル福祉募金 医療法人 社団 愛信会 小倉到津病院 特定非営利活動法人 日本消防ピアカウンセラー協会 <音楽ライブ分野> 8名を決定

【第2回目の公募結果】

受入寄附金額	4,574,984円 (第1回目からの繰越分を含む)
助成額	医療分野 1,980,000円、音楽ライブ分野 2,794,984円
公募	2021年1月12日～2021年1月26日
応募	医療分野 12件、音楽ライブ分野 59件

審査会	2021年2月22日
審査委員	<医療分野> ■■■■■ (特定非営利活動法人ファミリーハウス 理事長) ■■■ ■■■ (川崎市健康安全研究所 所長) <音楽ライブ分野> ■■■ ■■■ (アーツブリッジ 代表) ■■■■■ ((一社) 日本音楽制作者連盟 常務理事)
審査結果	<医療分野> 以下の2団体を決定 一般社団法人衛生文化協会 城西病院 横須賀市立市民病院 <音楽ライブ分野> 14名を決定

<Music Cross Aid 基金>

当基金は、一般社団法人 日本音楽事業者協会、一般社団法人 日本音楽制作者連盟、一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会の音楽業界 3 団体が発起人となり「Music Cross Aid 基金」として創設された。同基金は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動の継続が困難を極めている日本の音楽ライブエンタテインメント産業を担う事業者や専門スタッフ（フリーランスの個人）を支援し、音楽ライブエンタテインメント産業の現在とその未来を守る一助となることを目的としている。

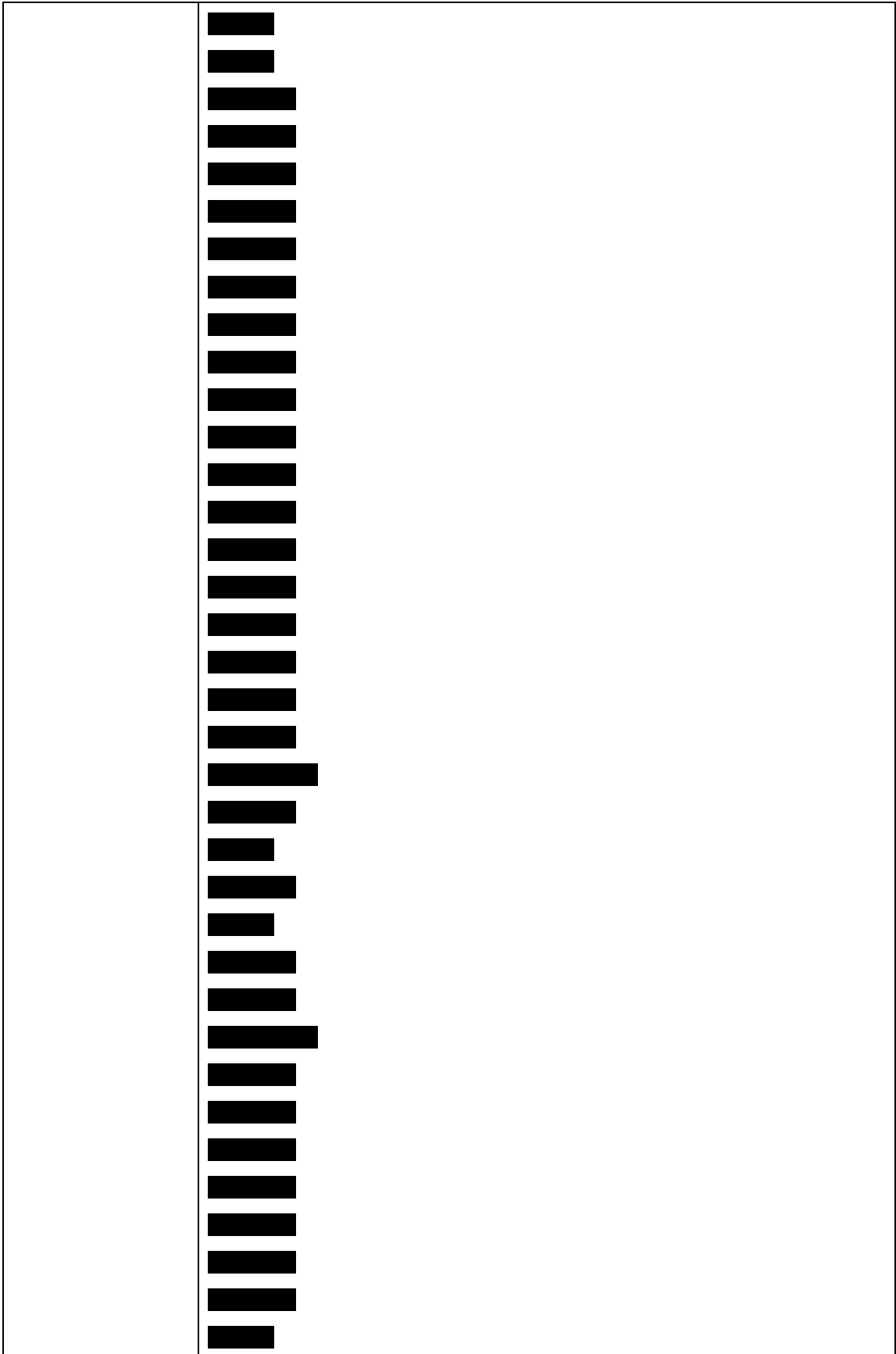
2020年度は225,677,145円の寄附を受け入れた。第1回目の公募では、個人37件、法人11件を採択し、個人は1人あたり上限20万円、法人は1団体あたり上限100万、総額18,170,000円の資金助成を実施した。

第2回目の公募では、個人93件、法人25件を採択し、個人は1人あたり上限20万円、法人は1団体あたり上限100万、総額42,225,656円の資金助成を実施した。

第3回目の公募では、個人115件、法人31件を採択し、個人は1人あたり上限20万円、法人は1団体あたり上限100万、総額53,760,816円の資金助成を実施した。

【第1回目の公募結果】

助成額	18,170,000円
公募	2020年7月14日～7月21日
応募	個人53件、法人25件
審査会	2020年8月14日
審査結果	以下、個人37件を採択。



	<p>■■■■■</p> <p>以下、法人11件を採択。</p> <p>株式会社 アーチドゥーク・オーディオ</p> <p>有限会社 アスク・ミュージック</p> <p>株式会社 197</p> <p>株式会社 サイクルヒット</p> <p>株式会社 キョードー東海</p> <p>有限会社 ジャムライス</p> <p>株式会社 モビーディック</p> <p>有限会社 おふいすべガ</p> <p>有限会社 ハルソニック</p> <p>株式会社 ノースロード・ミュージック</p> <p>株式会社 アイエス</p>
助成期間	助成決定時 ～ 2021 年 3 月 31 日

【第2回目の公募結果】

助成額	42,225,656円
公募	2020年10月8日～10月20日
応募	個人125 件、法人38件
審査会	2020年 11 月 18 日
審査結果	<p>以下、個人93件を採択。</p> <p>■■■■■</p> <p>■■■■■</p> <p>■■■■■</p> <p>■■■■■</p> <p>■■■■■</p> <p>■■■■■</p> <p>■■■ ■■</p> <p>■■■ ■■■■</p> <p>■■■■■</p> <p>■■■■■</p> <p>■■■■■</p> <p>■■■■■</p>

	<p>[REDACTED]</p>
--	-------------------

	<p>[REDACTED]</p>
--	-------------------

■■■ ■■■
■■■■■
■■■■■
■■■■■
■■■ ■■■
■■■■■
■■■■■
■■■ ■■■
■■■■■
■■■■■
■■■■■

以下、法人25件を採択。

有限会社 ワイドオープン

株式会社 T-SOUND-PRO

株式会社 エアーフラッグ

株式会社 プランクトン

有限会社 フィールド・ギア

mplusplus 株式会社

株式会社 若尾総合舞台

有限会社 ボーゲン

株式会社 アズプロデュース

有限会社 恒和 戸田音響サービス

有限会社 エレクトリックレディランド

株式会社 トライシス

株式会社 イーストワン

株式会社 音響スタッフ

有限会社 アームテックパブリシャーズ

株式会社 UNISON COMPANY

株式会社 ジーアンドイー

株式会社 オフィスリベロ

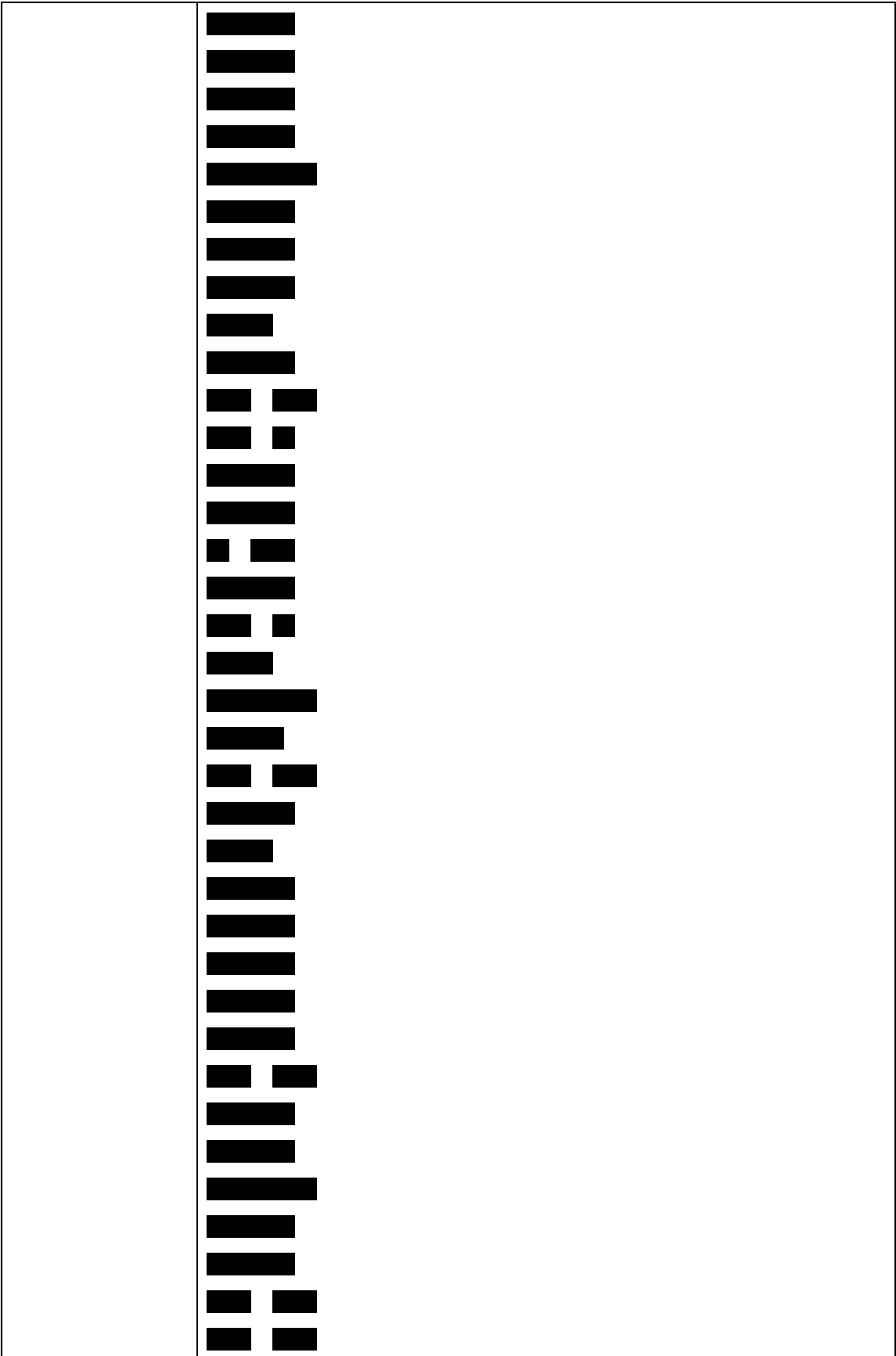
有限会社 エムエイエム

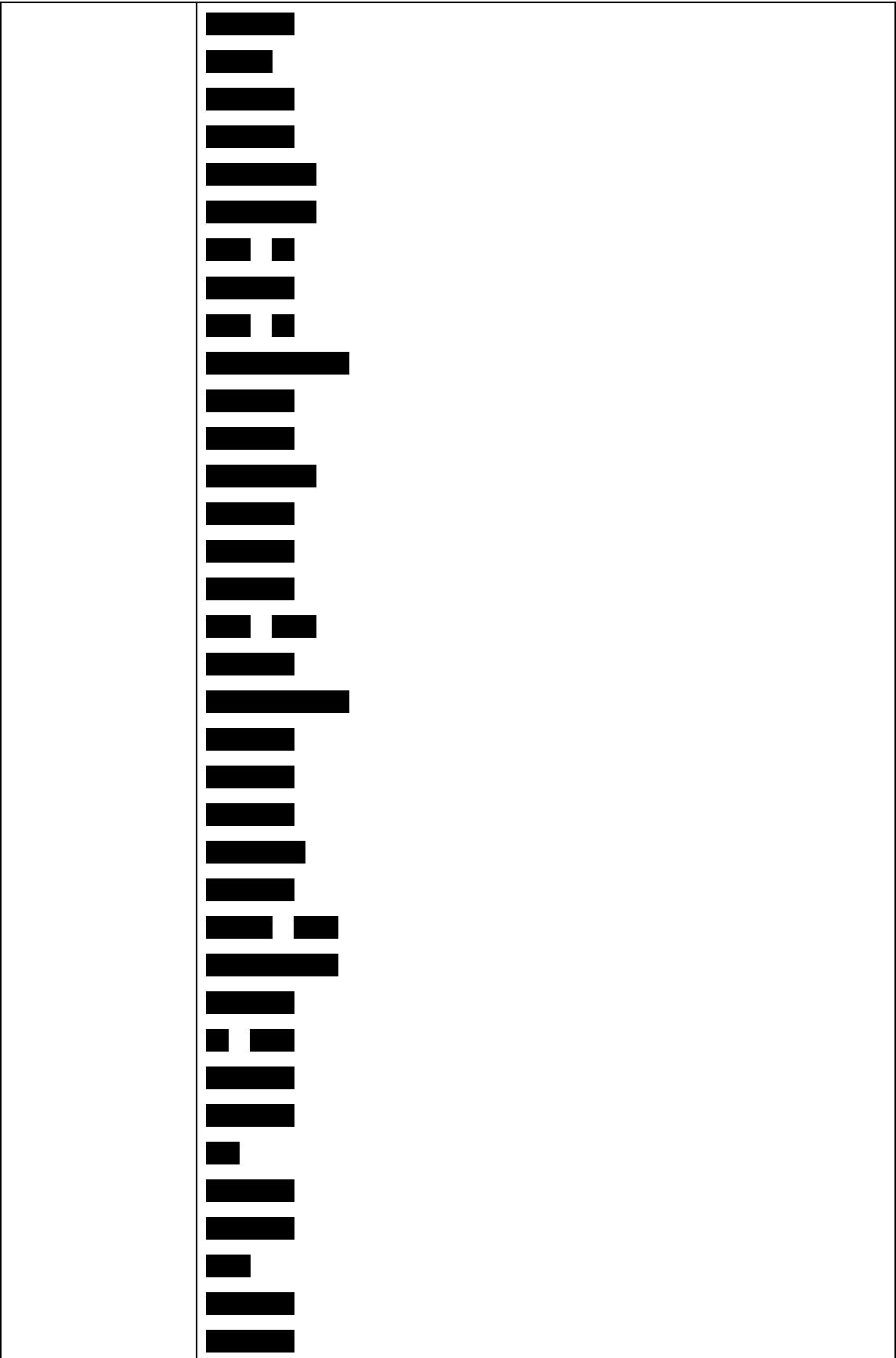
ザックアップ株式会社

有限会社 waver

株式会社 シブヤテレビジョン

アシスト・ジャパン株式会社





[Redacted text]

以下、法人31件を採択。

株式会社 アビリティーミュージック

株式会社 インターブレンド

有限会社 ヘッドライン

有限会社サカモト WaikikiRecord

ナックルポート 株式会社

株式会社 ロッカホリック

株式会社 アーチドゥーク・オーディオ

株式会社 Marvel ENTERTAINMENT

株式会社 サウンドプロジェクトムジカ

有限会社 スラッシュ

有限会社 パライット

有限会社 ジャムライス

株式会社 キョードー東海

有限会社 クロックワイズ

株式会社 DreamQuest Sound

株式会社 エムアンドアイコンパニー

	株式会社ALIVE 株式会社 東京音協 株式会社サンフォニックス大阪 株式会社ディーエムジェイ 有限会社 シグナス 株式会社 MRD 株式会社 フラッグシップ・アーティスト nuclearness合同会社 株式会社ピーエムエージェンシー 有限会社MINFAPLAN 株式会社LilFarm 株式会社 ワイズ音楽出版 デライト 株式会社 株式会社 PRIMITIVE (DMC JAPAN 事務局) 株式会社 ヒューマンデザイン
助成期間	助成決定時から 2021 年 7 月 31 日

<J-Coin 基金>

みずほフィナンシャルグループ、J-Coin 加盟行、賛同企業・団体、そして J-Coin Pay のユーザーからの支援により、創設された基金である。集まった寄付金を原資として、新型コロナウイルス感染症に立ち向かっている医療機関・医療関係者、新型コロナウイルス感染症及び感染拡大防止の影響を受けている子どもたち、生活困窮家庭、学生、さらには、アフターコロナに向けての地域活性化への取組みなど、幅広い分野の非営利団体を対象とした助成を行った。

2020 年度は 507,652,109 円の寄附を受け入れ、第 1 回目の公募では、82 団体を選定し、1 団体あたり上限 200 万円、総額 146,727,966 円の資金助成を実施した。

第 2 回目の公募では、52 団体を選定し、1 団体あたり上限 200 万円、総額 96,656,361 円の資金助成を実施した。

第 3 回目の公募では、79 団体を選定し、1 団体あたり上限 200～500 万円、総額 206,097,442 円の資金助成を実施した。

全 3 回の合計としては、205 団体の 213 事業に対して、総額 449,481,769 円の資金助成を実施し、全国の幅広い分野の新型コロナ対応事業に対して資金的支援を行った。

【第 1 回目の公募結果】

助成額	146,727,966 円
-----	---------------

公募	2020年6月18日～2020年6月25日
応募	229件
審査会	2020年7月17日
審査委員	<p>■■■■ (聖マリアンナ医科大学 理事長)</p> <p>■■■■ (特定非営利活動法人新公益連盟 代表理事)</p> <p>■■■■ (公益財団法人あすのぼ 代表理事)</p> <p>■■■■ (株式会社日本総合研究所 主席研究員)</p>
審査結果	<p>以下の82団体を決定。</p> <p><①医療分野></p> <p>公益社団法人 奈良県柔道整復師会</p> <p>医療法人社団 まごのクリニック</p> <p>郡山医療生活協同組合</p> <p>医療法人社団愛信会 小倉到津病院</p> <p>国立大学法人 香川大学医学部附属病院 血液内科</p> <p>公立大学法人 福島県立医科大学 感染制御学講座</p> <p>公益社団法人 地域医療振興協会</p> <p>福島医療生活協同組合</p> <p>医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院</p> <p>医療法人 秀峰会 川村病院</p> <p>医療法人慈公会 公平病院</p> <p><②社会的弱者支援分野></p> <p>一般社団法人 ちろる</p> <p>特定非営利活動法人 フードバンクTAMA</p> <p>社会福祉法人 高取町社会福祉協議会</p> <p>特定非営利活動法人 Lotus</p> <p>NPO法人 コミュニティワーク研究実践センター</p> <p>特定非営利活動法人 WEL'S</p> <p>特定非営利活動法人 どんぐりパン</p> <p>NPO法人 ケアット</p> <p>特定非営利活動法人 楽笑</p> <p>NPO法人 DV対策センター</p> <p>特定非営利活動法人 あそびとまなび研究所</p> <p>一般社団法人 コミュニティシンクタンク北九州</p> <p>特定非営利活動法人 フードバンクうつのみや</p> <p>社会福祉法人 大田区社会福祉協議会</p>

<p> 特定非営利活動法人 まいど家 一般社団法人 シンママ大阪応援団 NPO法人 奏海の杜 NPO法人 子どもNPOセンター福岡 特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan) 社会福祉法人 滋賀県母子福祉のぞみ会 特定非営利活動法人 Switch 特定非営利活動法人 チュラキューブ 特定非営利活動法人 抱樸 一般社団法人 にぎわい夢創りプロジェクト NPO法人 み・らいず2 NPO法人 レインボーリボン NPO法人 寺子屋方丈舎 一般社団法人 インクルージョンネットかながわ NPO法人 日向ぼっこ NPO法人 がんばろう福島、農業者等の会 特定非営利活動法人 eワーク愛媛 特定非営利活動法人 ゆずりは学園 NPO法人 キッズドア NPO法人 たんたん 特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク 認定NPO法人 フローレンス 一般社団法人 青少年自助自立支援機構 NPO法人 サステナブルネット 社会福祉法人 ぶるーむ NPO法人 NPO亀岡人権交流センター 特定非営利活動法人 なまむぎこども食堂 NPO法人 維新隊ユネスコクラブ 特定非営利活動法人 STORIA 特定非営利活動法人 ワーカーズコレクティブてとて 特定非営利活動法人 つなぐ舎 一般社団法人 コ・エル NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 特定非営利活動法人 サンカクシャ 特定非営利活動法人 トイボックス NPO法人 回復はどこにでもある </p>
--

	<p>特定非営利活動法人 山王学舎 NPO法人 フリースクール クレイン・ハーバー 認定NPO法人 シャイン・オン・キッズ 認定NPO法人 ふーどばんく OSAKA NPO法人 あなたの街の三河やさん 認定NPO法人 アトピッ子地球の子ネットワーク NPO法人 応援のしっぽ 特定非営利活動法人 チャイルドラインみやぎ <③困窮学生支援分野> 一般財団法人 鎌倉フェロウシップ 特定非営利活動法人 さいたまユースサポートネット 特定非営利活動法人 学生人材バンク 認定非営利活動法人 山口せわやきネットワーク <④地域活性化支援分野> 一般社団法人 SAVE IWATE 認定NPO法人 あっちこっち 一般社団法人 清水沢プロジェクト 特定非営利活動法人 ボランティアインフォ 特定非営利活動法人 UNE NPO法人 黒島観光協会 一般社団法人 SGSG 特定非営利活動法人 BaRaKa 特例認定NPO法人 三段峡一太田川流域研究会</p>
助成期間	2020年7月22日～2021年3月31日

【第2回目の公募結果】

助成額	96,656,361円
公募	2020年7月30日～2020年8月6日
応募	151件
審査会	2020年8月31日
審査委員	<p>■■■■ (聖マリアンナ医科大学 理事長) ■■■■ (特定非営利活動法人新公益連盟 代表理事) ■■■■ (公益財団法人あすのば 代表理事) ■■■■ (株式会社日本総合研究所 主席研究員)</p>
審査結果	以下の52団体を決定。

	<p><①医療分野></p> <p>医療法人 心泉会 上條記念病院</p> <p>医療法人 尚和会</p> <p>学校法人 聖路加国際大学</p> <p>公益財団法人 河野臨牀医学研究所</p> <p>国立大学法人 香川大学医学部附属病院輸血部／看護部</p> <p>医療法人社団 聖カタリナ病院</p> <p>社会福祉法人 浴風会浴風会病院</p> <p><②社会的弱者支援分野></p> <p>特定非営利活動法人 おりざの家</p> <p>特定非営利活動法人 アスイク</p> <p>NPO法人 リトルワンズ</p> <p>特定非営利活動法人 なかのドリーム</p> <p>特定非営利活動法人 キッズ未来プロジェクト</p> <p>特定非営利活動法人 アフタースクール</p> <p>一般社団法人 北長瀬エリアマネジメント</p> <p>特定非営利活動法人 ウィメンズネット・マサカーネ</p> <p>公益財団法人 京都YWCA</p> <p>一般社団法人 イシノマキ・ファーム</p> <p>NPO法人 Kodomo Saijo</p> <p>公益社団法人 MORIUMIUS</p> <p>特定非営利活動法人 子どもパートナーズHUGっこ</p> <p>NPO法人 えんばわめんと堺／ES</p> <p>特定非営利活動法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ</p> <p>NPO法人 京都難病支援パッショナーネ</p> <p>特定非営利活動法人 こどもプロジェクト</p> <p>特定非営利活動法人 西臼杵教育振興連合会</p> <p>認定特定非営利活動法人 ポケットサポート</p> <p>NPO法人 エデュケーションエーキューブ</p> <p>認定特定非営利活動法人 マギーズ東京</p> <p>NPO法人 マドレボニータ</p> <p>NPO法人 アスクネット</p> <p>公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会</p> <p>特定非営利活動法人 いるか</p> <p>NPO法人 北関東医療相談</p> <p>特定非営利活動法人 T E D I C</p>
--	---

	特定非営利活動法人 クラブハウスこころのリカバリー 特定非営利活動法人 Synapse40 NPO法人 プラスエデュケート 特定非営利活動法人 CAN 一般社団法人 ワタママスマイル NPO法人 ミーネット <③困窮学生支援分野> 国立大学法人 富山大学 特定非営利活動法人 日本教育再興連盟 <④地域活性化支援分野> 特定非営利活動法人 きっかけ食堂 NPO法人 MIYAZAKI C-DANCE CENTER 特定非営利活動法人 益田市・町おこしの会 NPO法人 さとうみファーム NPO法人 ロクマル 特定非営利活動法人 NICE (日本国際ワークキャンプセンター) 一般社団法人 ふらっとーほく 一般社団法人 紀の川フルーツ・ツーリズム NPO法人 SET 特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン
助成期間	2020年9月7日～2021年3月31日

【第3回目の公募結果】

助成額	206,097,442 円
公募	2020年9月15日～2020年9月29日
応募	372 件
審査会	2020年10月23日
審査委員	■■■■■ (聖マリアンナ医科大学 理事長) ■■■■■ (特定非営利活動法人新公益連盟 代表理事) ■■■■■ (公益財団法人あすのば 代表理事) ■■■■■ (株式会社日本総合研究所 主席研究員)
審査結果	以下の79団体を決定。 <①医療分野> 国立大学法人 京都大学大学院医学研究科 臨床病態検査学 一般社団法人 衛生文化協会

<p> 独立行政法人 国立病院機構 三重中央医療センター 社会医療法人 岡村一心堂 岡村一心堂病院 学校法人 久留米大学 久留米大学病院 公益社団法人 地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院 国立大学法人 富山大学 富山大学附属病院 北海道公立大学法人 札幌医科大学 社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 香川県済生会病院 学校法人昭和大学 昭和大学横浜市北部病院 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 学校法人昭和大学 昭和大学江東豊洲病院 公立大学法人福島県立医科大学 感染制御学講座 医療法人 尚和会 国立研究開発法人 国立循環器病研究センター <②社会的弱者支援分野> 特定非営利活動法人 あきた結いネット 特定非営利活動法人 リベラヒューマンサポート NPO法人 女性と子ども支援センター・ウィメンズネットこうべ 社会福祉法人 恩賜財団済生会 済生会熊本福祉センター 特定非営利活動法人 四ツ葉の会 特定非営利活動法人 どんぐりの家 特定非営利活動法人 Mama's cafe 特定非営利活動法人 みんなで子育てドロップス 特定非営利活動法人 エス・アイ・エヌ 集いの場あゆみ 国立大学法人 熊本大学こばと保育園 NPO法人 アントワープカウンセリングオフィス 公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を 社会福祉法人 松山市社会福祉協議会 社会福祉法人 猪位金福社会 暖家の丘おひさま保育園 特定非営利活動法人 ここ 特定非営利活動法人 くまもとスローワーク・スクール こども食堂わかやま 医療法人 野尻医院 NPO法人ソレゾレ 特定非営利活動法人 U. grandma Japan 特定非営利活動法人 ASOVIVA NPO法人 熊本どんぐり </p>
--

<p> 特定非営利活動法人 びーのびーの 認定NPO法人 NEXTEP 非営利型一般社団法人 かたつむり NPO法人 オリーブの家 アフターケア相談所ゆずりは 認定特定非営利活動法人 女性のスペース結 特定非営利活動法人 えがおのたね 特定非営利活動法人 報徳食品支援センター 一般社団法人 らしくサポート 特定非営利活動法人 西成チャイルド・ケア・センター 特定非営利活動法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ シンママ熊本応援団 NPO法人 子どもセンター 特定非営利活動法人 バリアフリー総合研究所 特定非営利活動法人 あつとすくーる 認定特定非営利活動法人 ハートフル福祉募金 特定非営利活動法人 グッド・エイジング・エールズ 特定非営利活動法人 フードバンクかごしま NPO法人 ちぼりーの NPO法人 熊本若葉会 認定NPO法人 3keys 特定非営利活動法人 エンカレッジ 認定NPO法人 D×P 特定非営利活動法人 Chance For All 特定非営利活動法人 WELgee 特定非営利活動法人 西臼杵教育振興連合会 社会福祉法人 滋賀県母子福祉のぞみ会 特定非営利活動法人 フードバンクTAMA 認定特定非営利活動法人 マギーズ東京 <③困窮学生支援分野> 公益財団法人 クロサワ育成財団 学校法人 龍谷大学 特定非営利活動法人 G-net 茨城県生活協同組合連合会 <④地域活性化支援分野> 特定非営利活動法人 湯来観光地域づくり公社 </p>

	NPO法人 みさと 伊自良の里・食と農推進協議会 いちのせきニューツーリズム協議会 NPO法人 熊本まちなみトラスト 社会福祉法人 小菅村社会福祉協議会 特定非営利活動法人 土佐山アカデミー 一般社団法人ちろる 特定非営利活動法人 北関東医療相談会
助成期間	2020年10月26日～2021年3月31日

<コロナ給付金寄付プロジェクト>

当財団とヤフー株式会社、株式会社トラストバンクは、政府が「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」として、全国すべての国民を対象に一律で給付した10万円を、新型コロナウイルス拡大に伴い影響を受けた個人や企業を支援するために寄付ができる新たな寄付プラットフォームを2020年5月に立ち上げた。ヤフーとトラストバンクの運営するインターネット上の寄付サイトを中心に幅広い層から寄付を集め、「医療分野」「福祉・教育・子ども分野」「文化・芸術・スポーツ分野」「経営困難に追い込まれた中小企業分野」の四分野に助成する仕組みである。下記の委員からなる審査委員会を立ち上げ、2020年度は、総額354,231,280円の寄附を受け入れ、公募による助成を3回実施した。

◆審査委員名（五十音順）：

- 認定特定非営利活動法人カタリバ代表理事／中央教育審議会委員
- 特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会代表理事
- 公益財団法人セゾン文化財団理事長
- 認定特定非営利活動法人育て上げネット理事長／金沢工業大学客員教授
- 医師 グローバルファンド（世界エイズ・結核・マラリア対策基金）戦略・投資・効果局長
- 医師 WHO 事務局長上級顧問、英国キングス・カレッジ・ロンドン教授
- ビジонаル株式会社代表取締役社長
- 一般社団法人RCF代表理事／特定非営利活動法人新公益連盟理事・事務局長
- 株式会社日本総合研究所調査部主席研究員／株式会社日本政策投資銀行地域企画部特別顧問

コロナ給付金寄付プロジェクト 第3回までの寄付金額、応募件数、採択件数										
<寄付額>										
	医療分野	ぎふ清流	福祉・教育・子ども分野	文化・芸術・スポーツ分野		中小企業		手配いらず		合計
第1回公募 5/7～5/31	39,629,930	-	20,342,214	11,855,558		18,129,803		-		89,957,505
第2回公募 6/1～7/31	62,694,003	1,004,744	34,460,762	16,552,482		27,665,399		10,000,000		152,377,390
第3回公募 8/1～9/30	14,171,303	726,064	6,575,991	5,793,795		7,642,633		-		34,909,786
合計	116,495,236	1,730,808	61,378,967	34,201,835		53,437,835		10,000,000		277,244,681
<応募件数>										
	医療分野 ※ぎふ清流含む	福祉・教育・子ども分野	文化・芸術・スポーツ分野		中小企業			手配いらず		合計
			団体	個人	法人	個人	その他	法人	個人	
第1回公募	16	80	36	71	13	17	5	-	-	238
第2回公募	24	111	54	126	41	35	-	6	3	400
第3回公募	11	53	9	34	5	2	-	1	1	116
合計	51	244	99	231	59	54	5	7	4	754
<採択数>										
	医療分野 ※ぎふ清流含む	福祉・教育・子ども分野	文化・芸術・スポーツ分野		中小企業			手配いらず		合計
			団体	個人	法人	個人	その他	法人	個人	
第1回公募	8	10	4	10	9	10	-	-	-	51
第2回公募	10	18	4	23	17	7	-	5	0	84
第3回公募	4	4	0	12	5	0	-	1	1	27
合計	22	32	8	45	31	17	0	6	1	162

◆第一回助成の概要

公募期間：5月7日（月）～5月25日（月）

書類審査：5月26日（月）～6月7日（日）

審査委員会開催日：6月8日（月）

① 医療分野：採択件数8件、助成総額34,069,667円

全国各地の医療機関や医療機関を支援する団体から、全16件の応募があった。医療機関においては、今後さらに重要となるPCR検査体制の充実を中心に、すでに感染患者の受け入れを行い集中治療において大きな貢献をした病院、感染症対策と通常医療との両立、手術中止や健診中断などにより悪化した経営の立て直しを図るものなど多様な応募が見られた。医療機関を支援する団体からは、通常ではなかなか支援の手が及ばない難病患者や障害者の感染防止策の提案や、仮設のPCR検査場の設置を推進するものなどがあった。

組織の信頼性、これまでの実績や申請事業の明確さ、緊急性などに鑑み、以下の8件を採択した。

所在地	申請団体名	申請金額	申請事業名
東京都 北区	東京ほくと医療生活協同組合 王子生協病院	¥4,996,590	新型コロナウイルス感染対策
千葉県 浦安市	公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター	¥5,000,000	新型コロナウイルス感染症患者診療事業
北海道 苫小牧	一般社団法人苫小牧市医師会	¥1,910,547	マスク・ガウンなどを購入し医療機関へ配布など

市			
岡山県 岡山市	公益財団法人操風会 岡山旭東病院	¥4,984,000	新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者外来事業
大阪府 八尾市	八尾市立病院	¥5,000,000	新型コロナウイルス感染症時勢下における発熱患者受診拒否防止事業
宮城県 仙台市	認定特定非営利活動法人 ハートフル福祉募金	¥4,400,000	支援が届きにくい、在宅難病児者と在宅肢体不自由児者へ、安全な国産マスクと国産フェイスシールドを配布し安心を届ける
東京都 文京区	国立大学法人 東京医科 歯科大学医学部附属病院	¥5,000,000	医師による COVID-19 の診療外支援業務
沖縄県 石垣市	沖縄県立八重山病院	¥2,778,530	感染症病床整備事業

② 福祉・教育・子ども分野：採択件数 10 件、助成総額 16,051,200 円

全国の福祉施設や NPO 等から、全 80 件の応募があった。休校措置や外出自粛などの感染症予防対策の影響を受けて、しわ寄せがきている社会的弱者を支援する多様な団体からの応募があった。経済的に困難な世帯に対する食料支援を行うフードバンク事業、オンラインでの学習支援や子育て支援・若者の悩み相談、生活困窮者支援、DV 被害防止など多彩な事業があった。

組織の信頼性、これまでの実績に加え、受益者のニーズを確実に捉えているか、実現可能な計画になっているか、などの視点から審査を行い、以下の 10 件を採択した。

所在地	申請団体名	申請金額	申請事業名
宮城県 仙台市	特定非営利活動法人ワンファミリー仙台	¥1,657,000	DV 被害者等の住宅確保要配慮者に特別定額給付金を受給可能にするための居所支援事業
埼玉県 さいたま市	認定特定非営利活動法人 女性のスペース結	¥1,443,500	DV・虐待ストップ事業（こんなときだからこそ居場所が必要）

千葉県 船橋市	特定非営利活動法人 ウィーズ	¥1,800,000	家庭にとどまる子どもへのアウトリーチ事業
大阪府 堺市	認定特定非営利活動法人 ふーどばんく OSAKA	¥2,000,000	おすそわけ食でみんなをサポート！ 緊急食デリバリー支援と食マーケット個別相談支援で地域の情報弱者をサポートする事業
宮城県 仙台市	宮城学院女子大学リエゾン・アクション・センター	¥330,000	フードバンクプロジェクト
東京都 新宿区	認定特定非営利活動法人 3keys	¥1,964,000	オンラインと SNS を活用した啓発動画・記事の配信と支援機関への接続
東京都 台東区	特定非営利活動法人 国際子ども権利センター(通称:シーライツ)	¥1,000,000	子育てが苦しいと感じている養育者支援事業
東京都 江東区	公益社団法人 チャンス・フォー・チルドレン	¥2,000,000	新型コロナ影響下における生活困窮世帯の子ども教育格差解消事業
大阪府 大阪市	認定特定非営利活動法人 D×P	¥2,000,000	孤立した10代に、LINE で食べる住む働く をサポートする
愛知県 名古屋市	一般社団法人 草の根ささえあいプロジェクト	¥1,856,700	コロナ後の社会変化において新たに生まれる困窮孤立の問題を地域連携でサポートする相談事業

③ 文化・芸術・スポーツ分野：採択件数団体4件、個人10件、助成総額10,162,000円

劇団等の芸術団体、企業、NPOなど36団体とアーティスト、パフォーマーなど個人71人から応募があった。イベントや集会の自粛、客席数の削減などの逆風のなかで、オンラインを活用したパフォーマンスや動画配信などを中心に、新たな芸術やスポーツの可能性を模索するものが寄せられた。

これまでの実績や、文化・芸術・スポーツ活動の存続や再開に向けた活動になっているか、今後の社会における心と身体のゆたかさの回復・向上に貢献するか、などの視点から審査を行い、以下の団体4件、個人10件を採択した。

所在地	申請団体名	申請金額	申請事業名
-----	-------	------	-------

神奈川県横浜市	合同会社 白A	¥2,000,000	全日本新体操オンライン演技会 ONE
奈良県高市郡	株式会社魂源堂	¥2,000,000	明日香音魂祭（野外ライブ&和太鼓体験ワークショップ等）及びオンライン配信
東京都中央区	一般社団法人 ダイアログ・ジャパン・ソサエティ	¥2,000,000	ダイアログ・イン・ザ・ダーク（オンライン）
大阪府大阪市	公益財団法人 山本能楽堂	¥1,162,000	【無料で活用公募】オンライン配信環境整備事業

所在地	申請者名	申請金額	職業
東京都板橋区	■■■■■	¥300,000	テノール歌手・遊音楽企画代表
東京都豊島区	■■■■■	¥300,000	俳優（演劇）
東京都立川市	■■■■■	¥300,000	演出家
東京都練馬区	■■■■■	¥300,000	劇作家・演出家
京都府京都市	■■■■■	¥300,000	作曲家
東京都三鷹市	■■■■■	¥300,000	演奏家
京都府京都市	■■■■■	¥300,000	演劇
東京都練馬区	■■■ ■■	¥300,000	振付家、ダンサー
東京都世田谷区	■■■■■	¥300,000	作曲家/ピアニスト
東京都国立市	■■■■■	¥300,000	振付家・ダンサー・舞台音響家

④ 中小企業分野：採択件数企業9社、個人事業主10件、助成総額11,673,800円

本分野では、障害者、女性、若者の雇用促進や経営参加に取り組んでいる中小企業および個人事業主で、新型コロナウイルスの感染拡大によって経済的影響を受けた中小企業および個人事業主に助成した。障害者、女性、若者の雇用促進や経営参加に取り組んでいる「人にやさしい」企業や個人事業主から合計35件の応募があった。新型コロナで被ったダメー

ジが大きい、経営努力がなされている、事業を通じて社会や地域に貢献しているなどの観点から審査を行い、以下の中小企業9社、個人事業主10人を採択した。

所在地	申請団体名	申請金額
大阪府大阪市	竹内商事 株式会社	¥1,000,000
宮城県亘理郡	株式会社 WATALIS	¥1,000,000
東京都渋谷区	株式会社ミライ LABO	¥1,000,000
東京都新宿区	株式会社 A Ma-no	¥993,800
千葉県千葉市	株式会社ダイヤサービス	¥1,000,000
埼玉県さいたま市	藍建築工房株式会社	¥1,000,000
東京都台東区	株式会社 グローバル・デイリー	¥1,000,000
大阪府大阪市	有限会社 ウィメンズセンター大阪	¥1,000,000
愛知県名古屋市	田園社会イニシアティブ株式会社	¥680,000

所在地	個人事業主名	申請金額
長野県北佐久郡	お肴ダイニング樹楽	¥300,000
青森県西津軽郡	藤原航太針灸院	¥300,000
北海道旭川市	H.m paint	¥300,000
福島県郡山市	久保田彩乃	¥300,000
東京都板橋区	太陽の恵み指圧治療院	¥300,000
愛知県豊田市	エスコーラ ネクター	¥300,000
東京都大田区	スターズ	¥300,000
新潟県妙高市	結びの宿 田端屋	¥300,000
東京都八王子市	Cafe Chocolate (カフェショコラテ)	¥300,000
宮城県柴田郡	ナルミ・キッチン	¥300,000

◆第二回助成の概要

公募期間：7月1日（水）～7月9日（木）

書類審査：7月10日（金）～7月30日（木）

審査委員会開催日：7月31日（金）

① 医療分野：採択件数10件、助成総額47,000,000円

全国各地の医療機関や医療機関を支援する団体から、全 24 件の応募があった。医療機関においては、PCR 検査体制確立のための応募のほか、防護具の調達・設備の充実等による院内感染拡大防止のための措置に対する応募が多くみられた。第一回目の公募に比べ、新型コロナウイルス感染症患者とその治療・検査体制確立を行うというものに留まらず、病院を利用する様々な疾患を持つ患者や、医療従事者自身の感染防止体制を整えるための応募も多くみられた。

組織の信頼性、これまでの実績や申請事業の明確さ、緊急性などに鑑み、以下の 10 件を採択した。

所在地	申請団体名	申請金額	申請事業の概要
東京都 千代田区	公益社団法人 地域医療振興 協会	¥5,000,000	N95 マスク、フェイスシールド、防護服などの防護具の調達、確保を協会本部で行ったうえで、病院や老健施設等の各施設への配送を行う。通常の購入ルートである卸が物品の供給、調達を行えないがために、協会本部にて海外のメーカーや提携先、新規のメーカーへの発注を行うことで、物品不足に対応する。感染防止と感染予防を通じて地域住民の健康や命を守る医療活動として、継続した医療体制の維持に貢献する。また、地域医療振興協会の施設は、地方自治体からの指定管理契約で運営する施設も多く、自治体の医療政策に直接貢献するものにもなっている。
京都府 京都市	京都府公立大 学法人京都府 立医科大学附 属病院	¥5,000,000	新型コロナ陽性患者の診療にあたる中で、分娩や帝王切開、あるいは脳外科や耳鼻咽喉科などの上気道手術などの感染性の高い手術や処置に対して、直接従事する医療者を職業感染から守るための装備を購入する。
沖縄県 中頭郡 西原町	国立大学法人 琉球大学琉球 大学病院	¥5,000,000	本事業では、沖縄県内の琉球大学病院を含む 6 つの感染症指定医療機関と 15 の感染症協力医療機関を対象とし、一定の検査基準を満たした医療従事者は無償で呼吸器ウイルス（新型コロナとその他の呼吸器ウイルス）検査を受けることができる体制をつくる。迅速かつ積極的に検査を行うことで医療従事者の新型コロナウイルス感染症の感染防止、感染拡大防止につとめ沖縄県内の医療機関を医療崩壊から守る手助けをする。
東京都 大田区	学校法人東邦 大学東邦大学 医療センター	¥5,000,000	PCR 検査体制を確立するため以下の物品を購入する。 ・PCR 検査試薬キット ・サージカルマスク

	大森病院		・フェイスシールド
京都府 京都市	独立行政法人 国立病院機構 京都医療セン ター	¥5,000,000	本事業により導入するシステムでは、カメラ映像により、ICU、HCU、初療室、救急外来での患者ベッドの周辺の撮影が可能となり、生体情報モニターや人工呼吸器の画面などを見ることができる。これにより、コロナ陽性／疑い患者など隔離が必要な患者に対し、患者に直接接する人数を少なくし、清潔な区域からもモニタリングや患者観察を行なえるようになる。直接接触する人数を減らせることで、感染予防や、在庫数が逼迫している感染に関する防護服関係品の節約にもつながるものである。
大阪府 和泉市	医療法人徳洲 会和泉市立総 合医療センタ ー	¥5,000,000	酸素を必要とする中等症・軽症者患者の受入を行うために立ち向かう。その際中等症から重症化し、人工呼吸器を装着する患者が出た場合には陰圧装置および ICU にて治療が必要であるが、医療用空気清浄器、多機能型簡易陰圧装置が整備されておらず、治療が難しい。今回これを ICU に整備し治療にあたりたい。透析患者・化学療法にて感染した患者部屋にも使用する。
東京都 立川市	独立行政法人 国立病院機構 災害医療セン ター	¥5,000,000	緊急事態制限も一度は解除となったが、今後は「重点医療機関」及び「新型コロナ疑い救急医療機関」（東京ルール）に登録したことで、第2、第3波の影響により患者の増加があった際に、積極的に新型コロナ患者等を受け入れる。このために院内の呼吸器管理関係の医療機器や新型コロナ患者等の受入体制を充実・強化させていく。
埼玉県 川口市	医療法人新青 会川口工業総 合病院	¥5,000,000	4月以降、現在まで規模を拡大しながら行ってきたコロナ感染症患者専用病棟の運営体制を強化し、感染患者の継続的受入を行う。運営に当たるチームへの危険手当等を確保し、地域の医療ニーズに応え続ける体制を整えていく。
東京都 練馬区	地域医療振興 協会練馬光が 丘病院	¥5,000,000	新型コロナ患者やその疑い患者さんについては、外来ではコロナ外来や救急外来で対応するため他の患者さんとは別に電子カルテが必要となる。特に簡易診察室（トレーラー診察室）や簡易待合（テント）では医師の診察の他に看護師の問診やトリアージ用にノート型電子カルテの投入がスムーズな医療へ貢献する。また、入院では面会が制限されるため、iPad 等でのモニター面会や、オンライン感染対策会議用の PC 購入で、患者さんご家族のストレ

			ス軽減と職員の在宅勤務化に努める事を目的とする。
東京都 八王子 市	学校法人東京 医科大学八王 子医療センタ ー	¥2,000,000	総合病院である八王子医療センターの「発熱外来」が受け入れられる患者数を増し、安全に運営できるよう下記の通りハード・ソフト両面の整備を行う。 1) 感染症外来診察室の陰圧環境の整備（結核疑い患者が受診したときのために陰圧個室となっているが、老朽化に伴い陰圧環境に不備が生じている） 2) 上記診察室の待合室の整備（現況では1人用の待合室のため、2人以上の患者が受診した場合は、自家用車の中で待ってもらうようにしている） クリーンパーテーションを設置し、2人以上の患者が安全に待合室を利用できるよう整備する。 3) 診察室、待合室にWebカメラ、インターホンを設置（検査の待ち時間に医療スタッフが同室にいなくてもよいように遠隔で見守れるような装置を設置する）

② 福祉・教育・子ども分野：採択件数 18 件、助成総額 30,994,916 円

全国の福祉施設や NPO 等から、全 111 件の応募があった。コロナ禍で深刻な影響を受けている、子ども、若者、高齢者等、社会的弱者を支援する幅広い分野で活動する団体からの応募が多数あった。前回に引き続き経済的に困難な世帯に対する食料や生活支援の他、乳幼児、アレルギー疾患、重度障がい児、不登校、LGBT 等、複合的に困難を抱える子どもやその家族を支援するといった、幅広い課題に取り組む団体からの応募もあった。また、こうした幅広い層に対する物理的な支援にとどまらず、オンライン化や居場所作り、メンタルケア、心理的サポートを含む支援内容も多くあった。

組織の信頼性、これまでの実績に加え、受益者のニーズを確実に捉えているか、実現可能な計画になっているか、などの視点から審査を行い、以下の 18 件を採択した。

所在地	申請団体名	申請金額	申請事業概要
滋賀県 大津市	認定特定非営利活動法人 マイママ・セラピー	¥2,000,000	本事業は、コロナ禍で健診がストップし、地域の保健センターや子育て支援センターも閉鎖され、相談先や居場所を失くして不安を抱える母親たち、特に妊産婦を対象に、地域保健を展開したいと願う助産師や保健師の人たちとともに、

			オンラインでの相談・妊産婦教室を行うもの。既に活動は開始しており、5月連休には1日2回、情報提供や居場所をネット上に設定し、活動を行っている。サポートしている助産師や保健師の皆さんは、すべてボランティアで参加しており、今後の活動継続のために本事業を申請した。
沖縄県 那覇市	一般社団法人 Kukurū	¥2,000,000	コロナ禍の影響で、障がい児や学童を遊ばせる場所が相次いで使えなくなっており、障がい児とその家族は、一般の方と接触を避けて遊ばせられる場所を探している。本事業では、当法人が、在宅医療が必要な重い障がいのある子どもとその家族支援の拡充のために、昨年秋に竣工した施設の屋上バルコニーを子どもたちの遊び場として整備する。当法人の利用者や近隣の障がい児支援事業所を利用する子ども達にも開放する。具体的には、安全性を高めるラバーマットの敷設、感染予防等のための水栓と流し台の設置、非接触型体温測定機を購入する。
大阪府 大阪市	社会福祉法人関西いのちの電話	¥100,000	当法人は、東京に続き全国2番目の“いのちの電話”として1974年より活動している。コロナ感染が拡大するに伴い、コロナ禍に関連する電話相談が増加している。365日24時間体制を維持している相談窓口となっているが、活動を継続するためにも、相談員自らが感染を予防する必要がある。本事業では、相談員の感染予防対策として、検温器、パーティションの設置、顔面シールド等を購入する予定。
東京都 渋谷区	認定特定非営利活動法人 マドレボニータ	¥1,810,200	当法人は、産後が起点となる社会問題（産後うつ、乳児虐待等）の解決をミッションとし、独自の産後ケアプログラムの提供によって、最も不安定にある産後の母親とその家族を支援している。本事業では、コロナ禍で平時以上にストレスフルな生活の中で、シングルマザーが心身ともに健康な状態を維持するためのセルフケアの機会を60分の「オンライン講座」という形で提供する。この講座は4月から既に実施しており、

			<p>9月に終了予定であったが、継続を望む声が多いため、本10～12月も継続できるよう今回の申請を行う。</p> <p>オンライン講座を通じて、日頃、自分の時間をもつ余裕のないシングルマザーが自身をケアする時間を持ち、シングルマザー同士が地域を超えてオンラインで交流することで、母親の身体的な健康と、精神的な安定をもたらす効果を目指す。</p>
神奈川県横浜市	特定非営利活動法人青空 保育ぺんぺんぐさ	¥2,000,000	<p>当法人は、育児の孤立を防ぎ、のびのびと子育てをしたい親子のための居場所作りと保育事業を展開している。活動地域である横浜市は生活水準が高く転勤族も多いため、平時より育児の孤立化の傾向が顕著であり、コロナ禍においてさらに孤立化が進んでいる。</p> <p>本事業では、地域に住む近隣の親子をつなぐ助けとなるような配布物の制作、オンライン「のびのび子育て講座」を実施する。</p> <p>また、コロナの影響で閉鎖や利用制限のある公共施設を利用せずとも、子ども達の遊び場を提供できるよう、当法人の既存の活動場所の1つである畑の休憩小屋の改修・整備を行い、感染予防対策をしつつ、荒天時の避難場所として活用できるようにする。</p>
宮城県石巻市	一般社団法人ワタマスマイル	¥2,000,000	<p>当法人は、東日本大震災で被災した石巻を拠点に、被災者の生活支援や生きがいづくりの活動を行っている。特に、シングルマザーの就労支援、生活困窮家庭の子ども達への食事の提供、学習支援、不登校児の居場所づくりなどに取り組んでいる。本事業では、コロナの影響により休職や失業によって経済的困窮度が増している家庭を対象に次の活動を行う。</p> <p>① 「地域子ども食堂」の定期開催（コロナ感染予防対策を講じた上で6月より毎週土曜）</p> <p>② ひとり親世帯や生活困窮世帯などに月2回食料支援を実施</p>

			<p>③ 子ども食堂を利用している子どもたちを中心に週2回2時間程度の学習支援活動</p> <p>④ 小中学校や石巻市子育て支援課、児童相談所と連携して虐待の恐れのある子どもの見守り、相談、ケア、防止ための啓蒙活動</p>
秋田県 秋田市	特定非営利活動法人あきた結いネット	¥1,870,000	当法人は、様々な理由で自分の力だけでは望む生活を送ることができない生活困窮者、身寄りのない方への衣食住の提供や就労支援を行っている。本事業では、コロナ禍でさらに困難度を増す人たちを対象に、当法人が運営するシェルターを提供し、一人ひとりが自立できるまでのサポートを行う。具体的にはニーズの把握、アセスメント、支援方針の決定、モニタリング、フォローアップ等を訪問支援、面談支援、同行支援にて実施する。社会福祉士が中心となり他団体との連携を図り、ネットワークで支える仕組みを整えて行くことで、様々なケースに対応できる枠組みを構築する。
東京都 新宿区	特定非営利活動法人キッズ未来プロジェクト	¥2,000,000	当法人は、子どもへの虐待、子どもの貧困の連鎖のない社会を目指し、出産後・子育て中の女性への支援を行っている。また経済的困難を抱える子どもとその家族に対する食の支援も行っている。本事業では、コロナの影響で経済的困窮度を増す家庭に宅配で食材を届ける。民間からの食材の寄付を募り、ボランティアによる食材の箱詰め作業を行うことで、フードロスと経済的に困難を抱える家庭を支える。また様々な理由から居場所を特定されたくない家庭に配慮し、外部の宅配業者を通じて食材を届ける。
大阪府 吹田市	特定非営利活動法人ここ	¥2,000,000	当法人は、子どもがその子らしく育ち貢献できる場と教育の創造を目指し、虐待や貧困、いじめや発達障がい、精神疾患等によって不登校になった子ども達の学校外の学びの場としてフリースクールを展開している。本事業では、コロナ感染拡大防止による休校措置によって高まった虐待や家庭内暴力・自傷行為・自殺・昼夜逆転のり

			<p>スクを早期発見し解消することを目的とする。</p> <p>各家庭に十分な支援を届けられるよう当団体と学校や教育委員会とで連携をしながら課題を早期発見し、苦登校や不登校の親子が孤立することのないよう適切な支援に繋げ復学や進学に繋げる。</p> <p>具体的には、支援を必要とする不登校の子ども達への学習支援と居場所の提供、ならびに保護者の不安解消のための相談支援を行う。</p>
神奈川県横浜市	特定非営利活動法人アレルギーを考える母の会	¥1,000,000	<p>当法人は、アレルギー患者が健康を回復するために必要な医療や医療機関に関する情報提供、相談事業を中心に、学校や保育所、行政とも連携し、病態理解と支援を推進している。</p> <p>コロナ禍で、慢性疾患であるアレルギーを持つ子どもたちが、定期受診と薬物療法の継続が必要であるにも関わらず、コロナ感染を恐れて受診抑制が続き、必要な薬剤の不足に伴う喘息の増悪、アトピー性皮膚炎の悪化が懸念されている。また子どもたちを受け入れる学校、保育所に対するアレルギーに関する研修の機会も失われており、環境整備の遅れが指摘されている。</p> <p>そのため本事業では、電話、メールなどを通じて当会に寄せられる相談に対応し、アレルギー専門医と連携しながら、必要に応じて医療や医療機関情報の提供、リモート研修会の実施、当事者に寄り添う家庭訪問や施設に同行するといった活動を行う。</p>
神奈川県足柄下郡	一般社団法人ユガラボ	¥2,000,000	<p>当法人は、子どもから高齢者までの多世代が自由に過ごす「居場所」と多世代間が共に学び対話を行う「多世代共創塾」を提供している。</p> <p>本事業では、湯河原町を拠点とし、コロナの影響による失業等で経済的に困難を抱えるひとり親世帯、就学援助世帯などに対して、子どもとその家庭への食材の宅配、オンラインによる見守りや相談、学習支援、ソーシャルカウンセラーとの連携によるメンタルケアを行う。</p>

<p>大阪府 大阪市</p>	<p>あさひ子ども見守りネットワーク</p>	<p>¥600,000</p>	<p>当法人は、大阪市旭区において、貧困と虐待の課題を抱える子どもの発見とその家庭への支援を目的として、子ども食堂の運営と子どもの居場所を提供している。これまで地域の集会所や他団体と共同で利用していた拠点は、コロナの影響で閉所となるなど活動の継続に多大な影響を与えている。本事業では、コロナ禍で経済的困窮や虐待リスクが高まっている、既につながっている家庭を対象に、コロナ感染防止対策を行いつつ、いつでも子どもたちが立ち寄れる新しい居場所拠点を整備する。また、ひとり親家庭、多子世帯を中心に毎月 25 世帯以上への食品配付を行う。さらに、食料配付を通じて繋がった家庭の個別相談を受け、生活保護の申請同行や、障がい者年金の情報提供などを行う。</p>
<p>東京都 豊島区</p>	<p>特定非営利活動法人 LightRing.</p>	<p>¥2,000,000</p>	<p>当法人は、子どもや若者の自殺や精神疾患の予防のために、啓発活動、社会体験活動、傾聴ボランティアの育成と運営事業等を行っている。コロナ禍において、心の悩みを抱える人たちの増加が懸念されているが、全国で自殺対策に取り組んでいる民間団体の 8 割以上が、感染拡大によって活動の制限を余儀なくされている。本事業では、新型コロナの影響を受け増加する「子ども・若者の自傷行為や暴言・暴力行為による自殺防止」を目的として、心理的孤立を抱え、自殺の前兆行動を図る「子ども・若者」を対象に、日常生活の場で支える友人や知人など身近な相談相手となっている人々（以下、“ユースゲートキーパー”と呼称）を支援する活動を行う。具体的には、ユースゲートキーパー年間 30 名に対しプログラムを提供することにより、彼らのバーンアウトを防ぐ。また、定期的にゲートキーパーに向けて継続的居場所提供による心理的サポートおよびコミュニティを創出することで、ゲートキーパー本人が悩みを打ち明けられる居場所を提供し、孤立</p>

			しない仕組みづくりを行う。さらに、ユースゲートキーパーの抱える問題や必要とされる支援について、事例を収集してその実態を明らかにすることで社会への啓発活動につなげる。
栃木県 大田原市	一般社団法人えんがお	¥2,000,000	当法人は、「誰もが人とのつながりを感じられる社会」をビジョンとし、高齢者を中心に人が孤立しない地域づくりのために活動している。 コロナ感染拡大の影響を受けて、全国的に高齢者の外出の減少により認知機能や身体機能の低下などが報告されている。テレビ電話などの対策もあるが、独居高齢者の声を聞くと「よくわからない」という不安が強いことも多く、そばに都度説明してくれる人がいれば取り入れたいという声が多い。当法人ではオンラインの活用と並行して実際に人と会える機会の維持・再構築が重要だと考える。そこで本事業では、感染対策を徹底した上で、主に高齢者を対象にした地域食堂および宅食サービスの提供を、地域の人々とのつながりを作るサロンの拡大や屋外イベントの実施を行う。これにより、毎週の定期的な訪問が可能となり、見守りも含め、つながりの維持になる。また、高齢者だけでなく、これらの活動を生活困窮世帯にも広げ、多世代間に広げて、多くの人を巻き込んでいくことを目指す。
福島県 安達郡	一般社団法人ちろる	¥1,967,000	当法人は、福島県を中心とした地域福祉活動の向上を目的として、避難者支援、高齢者支援、地域コミュニティ支援、ボランティア支援、障がい者支援、生活困窮者支援、直売所との連携や農業に関連する事業を展開している。コロナの影響による長期間の自粛生活によって、高齢者の身体機能の低下や、他者との交流が減少したことによる認知機能の低下が多くみられてきている。 本事業では、高齢者宅の戸別訪問を行って傾聴活動や個別機能訓練を実施し、メンタルヘルスと身体機能の向上を図る。また週に1回は集会

			施設に集ってもらい、参加者全員で出来る軽体操やレクリエーションを行うのと同時に、他者との交流機会の増加を図り、自分が出来る事を増やし、元気な高齢者を増やす。
東京都千代田区	特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン	¥2,000,000	当法人は、障がいのある人や生きにくさを抱えている人たちとともに、主に芸術文化活動を通じたセルフケア・交流・社会参加支援を行っている。これまで障害児者にとってミュージアムなどの文化施設は、余暇の楽しみのひとつであったが、コロナ禍ではこうした文化的で豊かな営みに直接参加することができなくなっている。with コロナにおける新しいスタイルとして、オンラインによる文化的な学びの機会は急速に広がり、場所を問わず発信・参加・交流が可能となったが、大多数の障害児者は、情報弱者（要支援者）となっている場合が多い。そこで本事業では、ミュージアムなどの文化施設と障害児者や外出困難となっている人たちをつなぎ、生きる力に寄り添う「アクセスアートプログラム・オンライン」を実施する。対象とする人たちは、身体障害（肢体/視覚/聴覚）・知的障害・発達障害・精神障害児者、また病気などの理由により鑑賞の場に出かけられない人、対面の場が苦手な引きこもりの人なども含む。
東京都新宿区	公益社団法人シャンティ国際ボランティア会	¥1,987,716	当法人は、国内外において教育・文化活動を通じた国際開発協力活動を行っている。国内では、被災地での緊急救援を行うとともに、災害を経験した子ども達同士の交流プログラムや災害後の復興を学ぶプログラムの提供などを行っている。本事業では、主に外国にルーツを持つ子ども達を対象とした支援を行う。新型コロナの影響で学校が休校となり、外国ルーツの子どもたちは日本語が十分理解できず、地域でのつながりも少ない中で孤立を深めている。また、入学式以来友人を作る機会がなく、一人で過ごすことが多い子どもたちも存在している。こうした子ども

			も達に対して、孤立の解消・ストレス緩和を目的に、オンラインでプログラム提供を行う。具体的には、外国ルーツの子どもたちが毎回のテーマに沿ったグループワークを行い、他者とつながる機会や社会問題について一緒に考える居場所を提供する。新型コロナが終息し、施設での活動が可能となった際には、地域の廃校校舎を利用して新型コロナ対応を盛り込んだ居場所づくりも行う。
東京都 中野区	LGBT ハウジングファーストを考える会・東京	¥1,660,000	当法人は、LGBT 当事者や生活困窮者を対象にシェルターを提供し、医療や行政機関との連携、就労支援等を行い、社会復帰に向けた伴走支援を行っている。全国的にコロナ禍自粛要請の影響による収入の減少により、住まいを失う LGBT 当事者が増え、シェルターへの入居を求めるニーズが高まるとともに、生活困窮から自立していくにあたり、人的なサポートへのニーズも増加している。 本事業では、新しく追加整備するシェルターにおける感染予防資材の購入及びオンライン環境を整備し、感染予防対策を充実させ、利用者・支援者の安全を図る。また、シェルターの増設に伴い必要となる、ソーシャルワーカーなどの専門家と連携し自立支援のための人員体制を強化する。さらに、LGBT 当事者や生活困窮者を支援するための横のつながりを強化するために、多分野の協力団体を増やし、連携会議を開催する。また、全国から寄せられている LGBT 当事者からの相談に対応できるよう、全国の LGBT 当事者が必要とする支援窓口や支援団体の情報を収集し状況を把握する調査活動を行う。

③ 文化・芸術・スポーツ分野：

劇団等の芸術団体、企業、NPO など 54 団体と、アーティスト、パフォーマーなど個人 126 人から応募があった。イベントや演奏会、部活動などの自粛などの逆風のなかで、オンライ

ンを活用したパフォーマンスや動画配信などを中心に、心の孤立を防ぐもの、新たな芸術やスポーツの可能性を模索するものが寄せられた。

これまでの実績や、文化・芸術・スポーツ活動の存続や再開に向けた活動になっているか、今後の社会における心と身体のゆたかさの回復・向上に貢献するか、などの視点から審査を行い、以下の団体4件、個人23件を採択した。

採択件数4件、助成総額8,000,000円

所在地	申請団体名	助成金額	申請事業概要
東京都 渋谷区	一般社団法人グローバルアスリートプロジェクト	¥2,000,000	スポーツを通じて、将来スポーツ界にとどまらず様々な分野において、世界を舞台に活躍できる日本人を育てることをミッションに活動している。新型コロナの影響で、子ども向け英語サッカースクールなどの休校や休会、退会やキャンプなどのイベントの中止が相次いだため、全てのスクールをオンラインレッスンに切り替え、独自の英語学習プログラムを確立した。このカリキュラムを、小学校の先生や学童保育、他サッカースクールなどの教育関係者やスポーツ関係者にオンラインにて一部無償解放する。
京都府 京都市	株式会社おもれい	¥2,000,000	高校生の部活動を支援している。新型コロナの流行で部活動が中止になり、高校生は目標としていた引退試合・コンサートも出来ずに卒業することになる。 そこで3年生が参加可能な引退試合・イベントを企画し、各競技の楽しさを味わえる機会を提供する。 他の学年の生徒には衛生面に配慮した練習方法、大会運営などについて学べる機会を提供したり、新入部員の勧誘・サポート、部費調達など、今後の運営が継続して行える仕組み作りのノウハウ提供も行う。
宮崎県 五ヶ瀬町	G音楽たい	¥2,000,000	宮崎県最北端の、芸術文化がなかった地域に音楽を根付かせるために10年前に設立した。演奏会や楽器体験会が開催できなくなり、地域の中学生や高校生の最高学年の学生は演奏する唯一の機会がなくなってしまった。そのため、元々実

愛知県	■■■■■	¥300,000	舞踏家・振付家・演出家・芸術監督
埼玉県	■■■■■	¥300,000	映像作家、アートディレクター、キュレーター、翻訳・通訳者
東京都	■■■■■	¥300,000	演劇
山梨県	■■■■■	¥300,000	舞踏家
東京都	■■■■■	¥300,000	音楽家 クラシックサクソフォン奏者
大分県	■■■■■	¥300,000	アーティスト / 美術
新潟県	■■■■■	¥300,000	現代美術家
神奈川県	■■■■■	¥300,000	アーティスト 美術家
岡山県	■■■■■	¥300,000	舞台芸術企画、コンクール主催
兵庫県	■■■■■	¥300,000	アーティスト
東京都	■■■■■	¥300,000	演出家・脚本家
千葉県	■■■■■	¥300,000	キュレーター、アートマネージャー
北海道	■■■■■	¥300,000	音楽（演奏家、作編曲、指導者）、マーケティング（指導者、演出家）
愛知県	■■■■■	¥300,000	アーティスト

④ 中小企業分野：

本分野では、障害者、女性、若者の雇用促進や社会貢献に取り組んでおり、新型コロナウイルスの感染拡大によって経済的影響を受けた中小企業および個人事業主に助成した。中小企業 41 社と個人事業主 35 件の応募があり、そのほかに【特別枠】として宿泊業分野の中小企業 6 社、個人事業主 3 件から応募があった。新型コロナで被ったダメージが大きい、経営努力がなされている、事業を通じて社会や地域に貢献しているなどの観点から審査を行い、以下の中小企業 17 社、個人事業主 7 名、宿泊業を営む中小企業 5 社を採択した。

採択件数 17 社、助成総額 16,731,000 円

所在地	申請団体名	業種	申請金額
-----	-------	----	------

東京都渋谷区	株式会社ローランズ	専門サービス業	¥1,000,000
沖縄県国頭郡	株式会社ローカルランドス ケープ	食料品製造業	¥1,000,000
京都府京都市	株式会社はいせつ総合研究 所	その他の小売業	¥1,000,000
沖縄県浦添市	有限会社おきなわ教育ラボ	その他の事業サービス業	¥1,000,000
東京都渋谷区	株式会社 ELDNACS	その他のサービス業	¥1,000,000
山梨県甲府市	アロンジェ株式会社	洗濯・理容・美容・浴場業	¥1,000,000
山梨県南アルプ ス市	合同会社ズーパーズース	情報サービス業	¥1,000,000
宮崎県宮崎市	合同会社 さくら	社会保険・社会福祉・介護事業	¥1,000,000
北海道札幌市	産後ケアハウス さんさん 助産院	医療業	¥750,000
沖縄県宜野湾市	株式会社 海屋	その他の事業サービス業	¥1,000,000
東京都台東区	株式会社 デイリー・イン フォメーション	広告業	¥1,000,000
福岡県福岡市	株式会社 デイリー・イン フォメーション九州	広告業	¥1,000,000
兵庫県神戸市	株式会社 Quattro	映像・音声・文字情報制作業	¥1,000,000
東京都新宿区	株式会社 笑下村塾	その他の教育、学習支援業	¥1,000,000
東京都中央区	株式会社 And Nature	その他の教育、学習支援業	¥1,000,000
東京都千代田区	アジアサービス株式会社	飲食店	¥1,000,000
東京都新宿区	株式会社 ツー・スリー	広告業	¥981,000

採択件数 7 件、総助成額 1,986,440 円

所在地	個人事業主名	業種	申請金額
奈良県宇陀郡	山浦農園	農業	¥186,840
東京都港区	K & Associates International	その他の事業サービス業	¥300,000
神奈川県綾瀬市	スタジオ ボレロ	専門サービス業	¥300,000
青森県西津軽郡	食べ物屋セイリング	飲食店	¥299,600
静岡県浜松市	Per Noi	繊維・衣服等卸売業	¥300,000
静岡県浜松市	大塚ゆかり	その他の生活関連サービス業	¥300,000

福岡県朝倉市	宴処 麦わら食堂	飲食店	¥300,000
--------	----------	-----	----------

採択件数 5 件、総助成額 5,000,000 円

所在地	個人事業主名	業種	申請金額
静岡県御殿場市	公益財団法人日本 YMCA 同盟国際青少年センター東 山荘	宿泊業	¥1,000,000
新潟県南魚沼市	株式会社 木の芽荘	宿泊業	¥1,000,000
北海道余市郡	株式会社 NIKI Hills ヴィ レッジ	宿泊業を含む複合サービス業	¥1,000,000
長野県下高井郡	株式会社 ブイカインター ナショナル	宿泊業	¥1,000,000
静岡県浜松市	株式会社 KST	宿泊業	¥1,000,000

◆第三回助成の概要

公募期間：9月29日（火）～10月13日（火）

書類審査：10月14日（水）～11月13日（金）

審査委員会開催日：11月12日（木）

① 医療分野：採択件数 4 件、助成総額 20,000,000 円

全国各地の医療機関や医療機関を支援する団体から、全 11 件の応募があった。医療機関においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組む事業の応募のほか、地域医療等の安定的提供のための設備拡充に対する応募が多く見られた。第一回・第二回目の公募に比べ、新型コロナウイルス感染症患者への治療・検査体制確立を行うというものに留まらず、それぞれの病院や団体が新型コロナウイルス感染症に対し、個別の状況に対し改善をはかるための事業の応募が多くあった。

組織の信頼性、これまでの実績や申請事業の明確さ、緊急性などに鑑み、以下の 4 件を採択した。

所在地	申請団体名	申請金額	申請事業の概要
東京都 文京区	国立大学法人 東京医科歯科 大学 歯学部 附属病院	¥5,000,000	院内感染のリスクを回避し、患者に安心して歯科診療を受けてもらうため、歯科医師等はマスク、グローブ、プラスチックガウン、フェイスシールドという感染防護具を着用し、治療にあたっている。さらに患者の診療ごとに除菌シート等による診療チェアユニットの清掃を行い、診

			療ユニットの間に間仕切りを設置する等、感染対策を徹底している。感染防護具についても患者一人ごとに交換するなど、感染予防をより一層強化し、安心して歯科治療を受けることができる環境の整備を目指す。
長野県 須坂市	医療法人 公 仁会	¥5,000,000	インフルエンザの流行時期を前に、新型コロナウイルス感染症による症状とインフルエンザの症状とを見極め、前者による患者は近くにある当病院との連携病院である県立病院に紹介し、早期治療を図る。その検査を通常の患者とは別ルート、別室で行い、隔離が出来るように整備を行う。また、ケースによっては、その場所で人工呼吸器や心電図も図れる対応も併せておこない、院内での感染から患者及びその家族、職員を守るための事業を行う。
熊本県 熊本市	熊本赤十字病 院	¥5,000,000	<p>(1) 重症患者用医療機器の整備</p> <p>新型コロナウイルス感染症重症患者の受入を継続的に実施するため、重症患者管理のために必須となる高度医療機器(生体情報モニターおよび医用テレメータ)を追加整備する。</p> <p>院内の重症患者受入体制を強化することによって、更なる感染症の大流行に備え、救急医療の砦として、地域の医療崩壊を防ぐ。</p> <p>(2) 感染対策用パーテーションの整備</p> <p>新型コロナウイルス感染症患者および疑い患者対応スペースや有熱者の待機エリア、医療スタッフ用宿泊スペース等として、迅速にプライベート空間を設置することが可能な感染対策用パーテーションを整備する。</p> <p>然災害発生時には、このパーテーションを避難所に設置することで、被災者の感染予防に役立てることができる。基幹災害拠点病院として、院内の感染対策に留まらず、熊本県内および全国の被災地への支援にも備える。</p>
岐阜県 岐阜市	地方独立行政 法人 岐阜県 総合医療セン ター	¥5,000,000	新型コロナウイルス感染症の重症患者へ対応するため、患者の生体情報を各種検査等への移動時なども含め常時モニターするための機器拡充を行う。また人工呼吸器から離脱後に管理を適切に行うことで、より安全な医療を効率的に提供していく。

② 福祉・教育・子ども分野：採択件数4件、助成総額6,038,000円

全国の福祉施設やNPO等から、全53件の応募があった。長期化する新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、給与の減額や失業等により、もともと脆弱であった層の困難度が増している。困窮度合いが深刻化している子どもやその家族、若者、社会的弱者を支援する応募が多くみられた。また、フードパントリーや食料支援といった経済的困窮に対する支援だけでなく、社会的孤立を防ぎ、精神的ケアを行う、相談窓口の設置やアウトリーチ型の相談支援や訪問支援といった、オンラインだけではない、寄り添い型の支援活動の応募も多数みられた。

組織の信頼性、これまでの実績に加え、受益者のニーズを確実に捉えているか、実現可能な計画になっているか、などの視点から審査を行い、以下の4件を採択した。

所在地	申請団体名	申請金額	申請事業概要
福岡県 福岡市	特定非営利活動法人 SOS子どもの村 JAPAN	¥1,400,000	本事業は、育児に困難を抱える家族が「子どもショートステイ(以下、子どもSS)」を早期にかつ抵抗なく利用する事により、児童虐待等を予防する事を目的にする。特にコロナ禍による外出自粛生活の影響により顕在化してきた家族の困難な状況や、第2、3波の中での困難の拡がりも視野に入れ、今後、ショートステイの利用が必要となることが予測される。よって本事業では、次の2点に取り組む。1つは、あらたにショートステイ専用ハウスを1棟増設し、職員も増員することで受入れ体制を強化する。もう1つは、ショートステイの認知度を高め、潜在的ニーズを掴むために、広報活動を強化する。
静岡県 静岡市	特定非営利活動法人 P O P O L O	¥1,138,000	長期化する新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、給与の減少や失業などによって生活困窮に陥り、自助努力だけでは状況を脱することができない状況にある。本事業では、こうした困窮家庭と繋がるために、子ども食堂、母子寡婦福祉会、国際交流協会、生活困窮者支援団体、女性支援団体などと連携し、食品の提供を行うとともに、SNSやLINEチャットを活用した相談体制によって、これまで繋がれなかった世

			帯にリーチする。繋がった世帯と行政の既存の相談窓口と連携するなど、関係性構築の橋渡しに取り組む。
愛媛県 新居浜市	特定非営利活動法人 e ワーク愛媛	¥1,500,000	長期化する新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、困難を極めるひとり親世帯や高齢者、障がい者等、生活に困難を抱える人たちを対象に、近隣市の社会福祉協議会、シングルマザー支援団体などと連携し、食料支援を行うとともに、地域密着型で見守り・伴走型の支援を継続して行う。
東京都 豊島区	特定非営利活動法人 サ ンカクシャ	¥2,000,000	本事業では、親や身近な人を頼ることができず、支援につながりにくい子ども若者を見つけ出し、伴走支援を提供し、本人のニーズに合わせ、適切な社会資源をつなげ、孤立を予防し、自立へのサポートを行う。主に、義務教育終了のタイミングで支援が途切れてしまう 15 歳から 25 歳くらいまでの子どもや若者を対象に、行政や地域の支援者と連携し、サポートを行う。また、家から出ることができない、居場所などに行くことができない若者に対して家庭訪問や個別のサポートを行う。さらに、地域住民と連携した居場所作りや、大学や地域住民と連携し、訪問支援や個別支援ができる支援者を育成する。

③ 文化・芸術・スポーツ分野：

地域の文化振興を担う NPO やイベント・コンサートの企画・運営を担う企業など 9 団体と、演劇や美術、音楽の分野で活躍するアーティストやパフォーマーなど個人 34 人から応募があった。舞台や展覧会、演奏会等の自粛という逆風のなかで、オンラインを活用したパフォーマンスやライブの動画配信、ワークショップの開催などを中心に、新たな文化・芸術・スポーツの可能性を模索するものが寄せられた。

これまでの実績や、文化・芸術・スポーツ活動の存続や再開に向けた活動になっているか、今後の社会における心と身体のゆたかさの回復・向上に貢献するか、などの視点から審査を行い、以下の個人 12 件を採択した。なお、今回は団体の採択はなかった。

採択件数 12 件、助成総額 3,595,826 円

所在地	申請者名	申請金額	職業
東京都	■■■■■	¥296,750	俳優
千葉県	■■■■■	¥299,076	写真家
神奈川県	■■■■■	¥300,000	写真家
東京都	■■■■■	¥300,000	舞台演出家
東京都	■■■■■	¥300,000	音楽家
東京都	■■■ ■■	¥300,000	音楽家
大阪府	■■■■■	¥300,000	オルガニスト
神奈川県	■■■■■	¥300,000	音楽家
東京都	■■■■■	¥300,000	サクソプレイヤー
東京都	■■■■■	¥300,000	指揮者
神奈川県	■■■■■	¥300,000	民謡歌手・演奏家
東京都	■■■■■	¥300,000	俳優・歌手

④ 中小企業分野：

本分野では、障害者、女性、若者の雇用促進や社会貢献に取り組んでおり、新型コロナウイルスの感染拡大によって経済的影響を受けた中小企業および個人事業主に助成した。中小企業 5 社と個人事業主 2 件の応募があり、そのほかに【特別枠】として宿泊業分野の中小企業 1 社、個人事業主 1 件から応募があった。応募件数が前回の 85 件から 9 件に激減したのは、政府が行う Go To キャンペーンの影響があったことが考えられる。

新型コロナで被ったダメージが大きい、経営努力がなされている、事業を通じて社会や地域に貢献しているなどの観点から審査を行い、以下の中小企業 5 社、宿泊業を営む中小企業 1 社および個人事業主 1 件を採択した。

採択件数 5 社、助成総額 5,000,000 円

所在地	申請団体名	業種	申請金額
-----	-------	----	------

岐阜県多治見市	特定非営利活動法人 Mama's cafe	飲食店	¥1,000,000
北海道札幌市	合同会社 服部商店	飲食店	¥1,000,000
静岡県富士宮市	株式会社ホールアース	その他の生活関連サービス業	¥1,000,000
神奈川県横浜市	日本ミャンマー支援機構株式会社	職業紹介・労働者派遣業	¥1,000,000
沖縄県那覇市	株式会社 FONTE	飲食店	¥1,000,000

宿泊業（個人事業） 採択件数 1 件、総助成額 300,000 円

所在地	個人事業主名	業種	申請金額
静岡県御殿場市	マンテングストハウス	宿泊業	¥300,000

宿泊業（中小企業） 採択件数 1 件、総助成額 1,000,000 円

所在地	個人事業主名	業種	申請金額
岐阜県飛騨市	株式会社 美ら地球	宿泊業	¥1,000,000

<民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律に伴う事業>

民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律に基づき、指定活用団体である一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）により、弊財団は 2019 年度通常枠としてすでに選定済の 2 事業（「子ども支援団体の組織基盤強化（草の根活動支援事業・全国ブロック）」および「支援付住宅建設・人材育成事業（ソーシャルビジネス形成支援事業）」）に加え、2020 年度通常枠および 2020 年度緊急支援枠の資金分配団体として選定された。助成対象となった事業は「中核的フードバンクによる地域包括支援体制」（イノベーション企画支援事業）、「コロナ禍の住宅困窮者支援事業」（新型コロナウイルス対応緊急支援助成事業）である。

① 子ども支援団体の組織基盤強化

本事業は、子ども支援に取り組む団体（実行団体）が組織基盤強化事業に取り組むことを支援することで、支援ニーズのある子どもを対象としたプログラムを提供する NPO の組織力を高めることを目指す。その結果、支援プログラムやサービスの量や質が向上し、5～10 年後には最終受益者である子どもの状況が改善される社会環境となっていくことを目標にするものである。

2020 年度は 2020 年度分の助成金及びコロナ緊急の交付を行い、実行団体の 1 年目の助成事業の伴走支援および 2021 年度の継続審査を行った。なお、本事業の実施期間は 2022 年

度までとなる。

受入助成金額	81,686,819 円 (3年間総額、PO関連経費、評価関連経費含む)
助成額	45,532,800 円 (3年間総額、評価関連経費含む)
継続審査会	2021 年 3 月 2 日
審査委員	<p>■■■■ (立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 教授)</p> <p>■■■■ (office musubime 代表)</p> <p>■■■■ (特定非営利活動法人 子どもと文化全国フォーラム代表理事、特定非営利活動法人 子ども文化地域コーディネーター協会 専務理事)</p>
実行団体	<p>特定非営利活動法人 沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい</p> <p>認定特定非営利活動法人 発達わんぱく会</p> <p>認定特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル</p> <p>一般社団法人 無限</p>
実行団体 事業実施期間	2020 年 4 月 ~ 2023 年 3 月

② 支援付住宅建設・人材育成事業

本事業は、2020 年 4 月から政府が実施する「貧困ビジネス対策と、単独での居住が困難な方への生活支援」制度を活用し、無料低額宿泊所の新基準に対応する建設費用等を助成すると同時に、質の高い生活支援人材の育成を通じ、「住まい」と「生活支援」をセットで提供するソーシャルビジネスのビジネスモデルの構築を支援するものである。

2020 年度は公募・審査・選定・助成金の交付を行い、実行団体の 1 年目の助成事業の伴走支援を行った。なお、本事業の実施期間は 2022 年度までとなる。

受入助成金額	244,084,451 円 (3年間総額、PO関連経費、評価関連経費含む)
助成額	197,470,587 円 (3年間総額、評価関連経費含む)
公募	2020 年 4 月 1 日~2020 年 5 月 29 日
応募件数	8件
審査会	2020 年 8 月 20 日
審査委員	高橋 紘士 (東京通信大学教授、一般財団法人高齢者住宅財団顧問)

	■■■■■ (岡山大学客員教授、日本薬業連合会理事長) ■■■■■ (日本社会事業大学専門職大学院教授) ■■■■■ (株式会社シグマクス常務執行役員) ■■■■■ (小野田高砂法律事務所代表)
実行団体	特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会 特定非営利活動法人抱樸 特定非営利活動法人ワンファミリー仙台
事業実施期間	2020年11月～2023年3月

③中核的フードバンクによる地域包括支援体制

本事業は、地域の食支援ネットワークの中核となる団体の基盤強化を行い、継続的な食品・資金調達につなげ、地域のフードバンク、子ども食堂、フードパントリー等と連携関係をつくることを通じ、県域レベルの包括的な食支援の体制構築を目指す。ネットワークを組成する各種食支援団体によって支援を必要とする世帯に支援が届くのみならず、支援対象者が食に欠く状況から脱し、それぞれの事情に応じた公的支援に繋がっている状態を目標とする。

2020年度は実行団体の公募を実施した。審査・選定・助成金の交付及び助成事業開始は2021年度からとなる。なお、本事業の実施期間は2023年度までとなる。

受入助成金額	242,862,630円 (3年間総額、P0関連経費、評価関連経費含む)
助成額	178,500,000円 (3年間総額、評価関連経費含む)
公募	2021年2月3日～2021年3月26日
応募件数	20件
実行団体 事業実施期間	2021年7月～2024年3月

④コロナ禍の住宅支援事業

本事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で住まいや居場所を失い、生活の立て直しが必要な人を対象に、「住まい」と「就労支援含む自立支援」をセットで提供する社会的事業構築を、住宅物件取得のための初期投資へ資金提供することで支援し、その後の持続可能な支援付き住宅提供システムの構築を目指す事業である。

2020年度は資金分配団体としての選定を受け、JANPIAとの資金提供契約を締結した。審査・選定・助成金の交付及び助成事業開始は2021年度からとなる。なお、本事業の実施期

間は 2022 年 3 月末までとなる。

受入助成金額	502,999,762 円（管理的経費、PO 関連経費含む）
助成額	425,000,000 円
実行団体 事業実施期間	2021 年 9 月(予定) ～ 2022 年 2 月末

（２） 社会貢献活動についての情報提供、相談事業

社会貢献活動を促進したいと考える企業を対象に、以下の情報提供や成果評価を行った。

<azbil みつばち倶楽部>

Azbil みつばち倶楽部は、会員（アズビル株式会社の役職員の有志）が毎月 100 円を拠出して集めた寄附をもとに、会員が推薦する市民活動団体に対して資金支援をすることを目的としている。本年度は、アズビル株式会社と業務委託契約を結び、支援先の募集、受付、選定、連絡、報告書の取り寄せ、本プログラムへのアドバイス等を行った。

（３） 寄附を推進するための普及啓発活動等に関する事業

１） 個人や企業等からの寄附を喚起するための事業

遺言や相続に関係する寄附やオリジナル基金の創設について説明する各種パンフレットの作成に取り組んだ。遺贈寄附推進のために全国レガシーギフト協会の「いぞうの窓口」として活動した。

（４） 社会的活動を行う団体等に対する助成事業

上記（４）は、（１）の事業において受け入れた寄附を活用する事業である。いずれの事業においても、広く対象を募集し、社会的活動や各種の公益活動分野に関して知見のある有識者で構成された委員会による公平かつ厳正な審査を経て選定を行う。（４）の助成事業については、（１）の事業で記載した。

（５） 社会的活動を行う団体等に対する表彰・顕彰事業

<「チャンピオン・オブ・チェンジ」日本大賞>

本賞は、アメリカ在住の日本出身女性、厚子・東光・フィッシュの提案により、創設され

た。フィッシュ・ファミリー財団と業務委託契約を結び、本賞の実施を担った。超高齢社会、大災害、子どもの貧困、地域社会の疲弊など様々な課題に対して、勇気をもって自ら行動を起こし、地道に活動を続け、地域社会の課題解決や新たなシステムの構築に取り組んできた女性たちを表彰すると同時に、その活動を広く知らしめ、受賞者の志、知恵やアイデアをより多くの女性と共有し、後につなぎ、より良い社会を築くための社会貢献活動の意義と喜びを広める事を目指している。

公募	2020年7月28日～8月31日
応募	164件
選考会	一次選考会：2020年11月5日 最終選考会：2020年12月2日、3日
選考委員	<p>■■■■■■■■■■ (フィッシュ・ファミリー財団 共同創設者・理事) ※審査委員長</p> <p>■■■■■■■■■■ (特定非営利活動法人 CANPANセンター 代表理事)</p> <p>■■■■■■■■■■ (ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク 社長)</p> <p>■■■■■■■■■■ (一般財団法人非営利組織評価センター 業務執行理事)</p> <p>■■■■■■■■■■ (NPO法人マドレボニータ 代表)</p> <p>■■■■■■■■■■ 日本マイクロソフト株式会社 法務政策企画統括本部 渉外・社会貢献課長)</p>
選考結果	<p><大賞></p> <p>■■■■■■■■■■ (エスコラネクター 校長)</p> <p><入賞></p> <p>■■■■■■■■■■ (NPO法人 若者メンタルサポート協会 理事長)</p> <p>■■■■■■■■■■ (NPO法人 ピルコン 理事長)</p> <p>■■■■■■■■■■ (一般社団法人MarriageForAllJapan -結婚の自由をすべての人に 代表理事)</p> <p>■■■■■■■■■■ (NPO法人WELgee 代表)</p>
表彰式	2020年12月7日
表彰内容	<p><大賞></p> <p>正賞 (ティファニー社製カップ) と副賞 100 万円</p> <p><ファイナリスト></p> <p>ティファニー社製の記念品と賞金 25 万円</p>

(6) 社会的活動を行う団体等に対する寄贈事業

<AED・地域あんしん基金>

キヤノンマーケティングジャパン株式会社と共同で「AED・地域あんしん基金」を設立した。本基金はご寄附をもとに、多くの市民が利用する公共施設や福祉施設にAEDを寄贈し、災害時などに避難所となることが想定される施設などに設置することを目的としている。運営管理はパブリックリソース財団が行い、キヤノンマーケティングジャパン株式会社は募金活動の協力およびAEDの設置、講習インストラクターの派遣を行う。

本年度は、1件合計400,000円の寄附を受け入れた。

審査委員会で応募1団体を審査し、1団体に寄贈を決定した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、寄贈は2021年度に持ち越すこととする。

受入寄附金額	400,000 円
寄贈台数	1 台
公募	財団ホームページ上で随時受け付け
応募件数	1 団体
審査会	2020年12 月（メールによる持ち回り審査）
選考委員	<p>■■■■■（早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」 招聘研究員）</p> <p>■■■■■（NPO法人世田谷福祉住環境コーディネーター研究会 理事長）</p> <p>■■■■■（キヤノンマーケティングジャパン株式会社 CSR本部CSR推進部）</p> <p>■■■■■（特定非営利活動法人笑顔せたがや 理事・事務局長）</p>
AED寄贈先 選定結果	<p>1 団体を決定。</p> <p>認定特定非営利活動法人 エデュケーションエークューブ</p>

<株主優待活用プロジェクト>

一般社団法人ギビングフォワードと協働で取り組んだプロジェクトで、放棄されたり有効に使われなかった株主優待品を現物寄附として受け取り、社会貢献に取り組む民間非営利団体等に寄贈した。

受入寄付金額	4,101,221円（現物寄附）
寄贈金額	3,478,325円

(7) 社会的活動を行う団体等に対する研修事業

NPO 法人の経営力・信頼性の向上を支援することを目的に、以下の研修事業を実施した。

1) NPO のマネジメントコンサルティングの実施

<特定非営利活動法人 ESA アジア教育支援の会>

ESA アジア教育支援の会が Panasonic NPO サポート ファンドの支援を受け、弊財団にマネジメントコンサルティングを業務委託した。弊財団では、2019 年度から引き続き組織診断のコンサルティングを実施した。

契約期間：2020 年 1 月 18 日 ～ 2020 年 8 月 31 日

コンサルティングの内容：組織診断

<認定特定非営利活動法人 SOS 子どもの村 JAPAN>

SOS 子どもの村 JAPAN が WAM 助成モデル事業からの助成を受け、「困難を抱えた家族への里親による地域養育支援の仕組みづくり事業」を実施するにあたり、伴走支援を行うことを、業務受託した。

契約期間：2019 年 4 月 1 日 ～ 2022 年 3 月 31 日

コンサルティングの内容：進捗管理と自己評価の伴走支援

<「国際協力 NPO 基盤強化支援事業」への協力>

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会が行う、「2020 年度国際協力 NPO 基盤強化支援事業」において、支援先の 2 団体に対する「NPO マネジメント診断シート」の提供および回答の集計と、活用方法についてのレクチャーを行った。

レクチャー実施日：2020 年 4 月 17 日

回答期間：2020 年 4 月 17 日 ～ 2020 年 5 月 7 日

2) NPO マネジメントに関する講座の運営および講師派遣

<講師派遣>

外部セミナー等への講師派遣を 4 回行った。

(8) 調査研究、情報発信、政策提言に関する事業

1) Panasonic NPO サポート ファンド 2018 年に助成事業を終了した団体を対象とした

成果評価

パナソニック株式会社が企業市民活動の一環として実施する「Panasonic NPO サポートファンド」に関し、成果評価を行った。

評価対象は、2018年に同ファンドによる組織基盤強化事業を終了した団体（対象団体：10団体）である。本事業による資金提供及び非資金的取組みが、助成の受け手における組織基盤の強化、活動の充実による社会課題の解決の促進に与えた影響を検証した。また、組織基盤強化の手法として、組織診断を実施したことによる効果、および第三者によるコンサルティングの効果をはかった。

助成先団体の応募用紙・報告書類の分析、診断シートを活用した事前・事後の変化分析、助成先団体へのアンケート調査を行った。弊財団では、同社に対し報告書を提出した。

2) Panasonic NPO サポート ファンドの組織基盤強化助成の成果をはかる調査

同ファンドの20周年の節目に、これまでの組織基盤強化助成（環境、子ども、アフリカ分野）の成果評価を行い、2021年2月に「環境分野・子ども分野 成果評価報告書 および アフリカ分野 調査報告書」をパナソニック株式会社に提出した。

以上

監査報告書

公益財団法人 パブリックリソース財団
代表理事(理事長) 久住 剛 様

2019年5月22日

公益財団法人 パブリックリソース財団

監事 跡田 直澄

監事 富岡 順一

私たち監事は、2018年4月1日から2019年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決議書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

監査報告書

公益財団法人 パブリックリソース財団
代表理事(理事長) 久住 剛 様

2020年5月29日

公益財団法人 パブリックリソース財団

監事 跡田 直澄

監事 富岡 順一

私たち監事は、2019年4月1日から2020年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決議書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書及びその附属明細書並びに財産目録）について検討いたしました。

また、現物租税特別措置法施行令第25条の17第7項第2号イ又はロ(2)に規定する基金として証明を取得している現物資産等寄付基金に関し、現物資産等寄付基金規程第8条第1項に基づき、その基金明細書及び同別紙について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) 現物資産等寄付基金の基金明細書及び同別紙の監査結果

現物資産等寄付基金の基金明細書及び同別紙は、同基金に受け入れ、管理している資産の状況を適正に示しているものと認めます。

以上

監査報告書

公益財団法人 パブリックリソース財団
代表理事(理事長) 久住 剛 様

2021年5月27日

公益財団法人 パブリックリソース財団

監事 跡田 直澄

監事 富岡 順一

私たち監事は、2020年4月1日から2021年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決議書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書及びその附属明細書並びに財産目録）について検討いたしました。

また、現物租税特別措置法施行令第25条の17第7項第2号イ又はロ(2)に規定する基金として証明を取得している現物資産等寄付基金に関し、現物資産等寄付基金規程第8条第1項に基づき、その基金明細書及び同別紙について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) 現物資産等寄付基金の基金明細書及び同別紙の監査結果

現物資産等寄付基金の基金明細書及び同別紙は、同基金に受け入れ、管理している資産の状況を適正に示しているものと認めます。

以上

財産目録
2019年 3月31日現在

公益財団法人パブリックリソース財団 第7期

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金 預金	現金 預金	手元保管	運転資金として使用	103,047
		普通預金 (以下2件)		
		三菱東京UFJ銀行新富町支店	運転資金として使用	862,446
		ジャパンネット銀行すずめ支店	運転資金として使用	749,669
		きらぼし銀行八丁堀支店	運転資金として使用	57,102
未収金	未収金	振替口座		
		ゆうちょ銀行〇一九支店	運転資金として使用	179
		アズビル(株)からの未収額	業務受託に係る未収分	119,988
前払費用		職員通勤定期(3名)、中央厚生事業協同組合(ライオンズマンション鉄砲洲)他に対する前払額	事業経費および運営管理費に係る前払分	433,360
流動資産合計				2,325,791
(固定資産)				
基本財産				
	基本金(指定)	定期預金 三菱東京UFJ銀行新富町支店	指定寄付金として受け入れた資金であり、公益目的保有財産として管理	3,000,000
特定資産				
	特定資産	普通預金(以下20件すべて)		270,224,312
	GiveOne(オンライン)	ジャパンネット銀行すずめ支店	指定寄付金として受け入れた資金であり、GiveOne他の各寄付基金の事業の財源として使用	287,268
	JNBCMJ未来につなぐふるさと基金	ジャパンネット銀行すずめ支店		13,948,639
	東日本3.11基金	ジャパンネット銀行すずめ支店		1,667,249
	アート&ヘルス基金	ジャパンネット銀行すずめ支店		216,732
	ふくしま未来基金①	ジャパンネット銀行すずめ支店		1,496,927
	ふくしま未来基金②	ジャパンネット銀行はやぶさ支店		103,968,580
	ふくしま未来基金③	ジャパンネット銀行はやぶさ支店		4,662,500
	ふくしま未来基金③東邦銀	東邦銀行本店営業部		31,875,000
	あい基金	ジャパンネット銀行すずめ支店		1,200,000
	AED地域あんしん基金	ジャパンネット銀行すずめ支店		1,646,621
	魚沼の未来基金	塩沢信用組合本店		9,745,048
	グッドジョブ基金	ジャパンネット銀行はやぶさ支店		2,068,893
	ゆーじチャレンジ基金	ジャパンネット銀行はやぶさ支店		2,690,000
	I.H.K.基金	ジャパンネット銀行はやぶさ支店		600,000
	WSCF基金	ジャパンネット銀行はやぶさ支店		1,144,000
	角方基金	ジャパンネット銀行はやぶさ支店		9,500,000
	佐渡水仙基金	ジャパンネット銀行はやぶさ支店		1,900,000
	大和証券グループ子ども応援基金	ジャパンネット銀行はやぶさ支店		4,470,226
	緊急災害支援基金	ジャパンネット銀行はやぶさ支店		2,850,000
	高山基金	ジャパンネット銀行ヒジメ初営業部支店		53,040,000
	ふくしま未来基金①(定期)	定期預金(以下1件) 八千代銀行八丁堀支店		8,500,000
	財団運営管理基金	普通預金 三菱東京UFJ銀行新富町支店	指定寄付金として受け入れた資金であり、財団の運営管理の財源として使用	7,633,500
	GiveOne未収金	寄付718件のカード決済分	指定寄付金として受け入れ予定の資金であり、GiveOne事業の財源として使用	4,950,229
	株主優待寄付物品	委託先(㈱スクーナ(東京都大田区山王)の倉庫に保管)	株主優待活用プロジェクトにおける寄贈物品として使用	162,900
その他固定資産				
	敷金	中央厚生事業協同組合(ライオンズマンション鉄砲洲)	事務所賃借の敷金として使用	320,000
固定資産合計				273,544,312
資産合計				275,870,103

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)				
	未払費用	(一社)ふくしま連携復興センター、日本年金機構、(公財)日本自然保護協会他に対する未払額	事業経費および運営管理費に係る未払分	2,864,013
	預り金	報酬源泉税、財団職員7名からの預り額	報酬源泉税、財団職員7名に係る税金および社会保険料の預り分	719,192
	給与源泉税			96,010
	報酬源泉税			50,121
	健康保険料			170,610
	厚生年金			278,160
	雇用保険料			54,791
	個人住民税			69,500
流動負債合計				3,583,205
負債合計				3,583,205
正味財産				272,286,898

注：受け入れる指定寄附金は、寄附者の指定に基づき、別に定めのある基金を除いて寄附金額の20%を上限に、当財団の運営管理費に充当するため財団運営管理基金に受け入れている。

財産目録

2020年 3月31日現在

公益財団パブリックリソース財団 第8期

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として使用	54,987
預金	普通預金 (以下8件)		
	三菱東京UFJ銀行新富町支店	運転資金として使用	103,897
	ジャパンネット銀行すずめ支店	運転資金として使用	189,911
	ジャパンネット銀行ビジネス営業部	次年度休眠預金活用助成の自己資金として使用	477,936
	第一勧業信用組合神楽坂支店	運転資金として使用	10,143
	きらぼし銀行八丁堀支店	運転資金として使用	37,271
	大和ネクスト銀行ダイコク支店	運転資金として使用	31
	みずほ銀行新川支店	運転資金として使用	4,101
	塩沢信用組合本店	奨学金1名2020年4月振込分として使用	37,162
	振替口座		
	ゆうちょ銀行〇一九支店	運転資金として使用	59,797
		〈現預金計〉	975,236
未収金	アズビル㈱、(特非)ラムサル・ネットワーク他未収額	業務受託、組織診断支援にかかる未収分	1,000,000
		〈未収金計〉	1,000,000
前払費用	職員通勤定期、中央厚生事業協同組合(ライオンマンション鉄砲洲)、杉浦光子(リガビル)他2020年4月分前払経費	事業経費および運営管理費に係る前払分	637,986
		〈前払費用計〉	637,986
仮払金	職員出張仮払	3月出張未精算分	30,400
		〈仮払計〉	30,400
流動資産合計			2,643,622
(固定資産)			
基本財産	基本金(指定)	定期預金	
		三菱東京UFJ銀行新富町支店	指定寄付金として受け入れた資金であり、公益目的保有財産として管理
			3,000,000
			《基本金計》
			3,000,000
特定資産	特定資産	普通預金	
	Giveone(オンライン)	みずほ銀行新川支店	指定寄付金として受け入れた資金であり、Giveone他の各寄付基金の公益事業財源として使用
	CMJ未来につなぐふるさと基金	ジャパンネット銀行すずめ支店	6,000
	東日本3.11基金	ジャパンネット銀行すずめ支店	11,891,271
	7-ト&ヘルズ基金	ジャパンネット銀行すずめ支店	1,558,651
	AED地域あんしん基金	ジャパンネット銀行すずめ支店	224,387
	あい基金	ジャパンネット銀行すずめ支店	506,621
		ゆうちょ銀行〇一九支店	950,000
	高山弘子基金	ジャパンネット銀行すずめ支店	100,000
	ふくしま未来基金②	ジャパンネット銀行すずめ支店	44,133,750
	ふくしま未来基金③	ジャパンネット銀行すずめ支店	76,399,995
	ふくしま未来基金③	ジャパンネット銀行すずめ支店	4,662,624
	魚沼の未来基金	東邦銀行本店営業部	31,874,876
	グッドジョブ基金	塩沢信用組合本店	12,179,701
	ゆーじチャレンジ基金	ジャパンネット銀行はやぶさ支店	2,068,893
	I・H・K基金	ジャパンネット銀行はやぶさ支店	3,470,000
	謝縁教育基金	ジャパンネット銀行はやぶさ支店	1,360,000
	佐渡水仙基金	ジャパンネット銀行はやぶさ支店	7,248,770
	ビックブリッジ基金	ジャパンネット銀行はやぶさ支店	1,900,000
	高田弘子基金	ジャパンネット銀行はやぶさ支店	760,000
	大和証券グループ こども応援基金	ジャパンネット銀行はやぶさ支店	950,000
	サンタチャリティ	ジャパンネット銀行はやぶさ支店	8,548,884
	緊急災害支援基金	ジャパンネット銀行はやぶさ支店	114,084
	次年度事業繰越資金	ジャパンネット銀行すずめ支店	4,550,000
		定期預金	1,770,000
	ふくしま未来基金②	大和ネクスト銀行ホテイ店	3,970,321
	森山秀男基金	大和ネクスト銀行ホテイ店	218,442,309
	財団運営管理基金	三菱UFJ銀行新富町支店	指定寄付金として受け入れた資金であり、財団の運営管理の財源として使用
		ジャパンネット銀行すずめ支店	5,005,212
		定期預金	298,645
		大和ネクスト銀行ホテイ店	19,900,326
		資産間貸借取引	2,163,140

その他固定資産	Giveone未収金	寄付のカード決済分	指定寄付金として受け入れ予定の資金であり、Giveone事業の財源として使用	2,876,860
	運用有価証券		〈特定資産計〉	469,885,320
	じゅんき教育基金	有価証券 大和証券本店	指定寄付金として受け入れた資金を運用し、公益事業の財源として使用	7,366,024
	森山秀男基金	大和証券本店		219,209,154
	休眠預金活用助成金		〈運用有価証券計〉	226,575,178
	支援付住宅建設・人材育成事業	普通預金 ジャパンネット銀行ビジネス営業部	助成金として交付された資金であり、公益事業の財源として使用	86741807
	子ども支援団体の組織基盤強化	ジャパンネット銀行ビジネス営業部		29,345,969
			〈休眠預金活用助成金計〉	116,087,776
			《特定資産計》	812,548,274
	什器備品	PC1台	公益目的保有財産	346,670
	敷金	中央厚生事業協同組合(ライオンスマンション鉄砲洲)	事務所賃貸の敷金として使用する財産	320,000
	杉浦光子(リソカビル)	会議室賃貸の敷金として使用する財産	255,000	
		〈敷金計〉	575,000	
		《その他固定資産計》	921,670	
固定資産合計			816,469,944	
資産合計			819,113,566	
(流動負債)	未払費用	(合)はまから、ソーシャルイントウ株、(公財)日本自然保護協会、(一社)オープンターボ、(合)志事社他に対する未払額	事業経費および運営管理経費に係る未払い分	2,666,318
	預り金	職員、業務委託者、審査員等からの預り金	職員、会計事務所、業務委託、審査員等の源泉税および社会保険料の預り金	638,081
	給与源泉税			58,910
	報酬源泉税			48,777
	健康保険料			138,001
	厚生年金			224,175
	雇用保険料			70,034
	個人住民税			59,400
	報酬源泉日給			38,784
			〈預り金計〉	638,081
流動負債合計			3,304,399	
負債合計			3,304,399	
正味財産			815,809,167	

注：受け入れる指定寄付金は、寄付者の指定のに基づき、別に定めのある基金を除いて寄付金額の5%を、当財団の運営管理費に充当するため財団運営管理基金に受け入れている。

財産目録

2021年 3月31日現在

公益財団パブリックリソース財団 第9期

(単位:円)

	貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として使用	101,231
	預金	普通預金		
		第一勧業信用組合 神楽坂支店	運転資金として使用	10,144
		きらぼし銀行 八丁堀支店	運転資金として使用	37,031
		塩沢信用組合 本店	公益目的事業『魚沼の未来基金』にかかる運営資金として使用	704,699
		ジャパンネット銀行 ビジネス営業部	休眠預金助成金(支援付住宅・人材育成)の次年度自己資金として使用	1,596,293
		ジャパンネット銀行 ビジネス営業部	休眠預金助成金(子ども支援組織強化)の次年度自己資金として使用	1,325,440
		郵便振替口座		
		ゆうちょ銀行 〇一九支店	運転資金として使用	35,693
			(現預金計)	3,810,531
	未収金	アズビル株他	2020年度下半期業務受託他	195,947
			(未収金計)	195,947
	前払費用	本和コーポレーション(ライオス マシソン鉄砲洲)、杉浦光子(ソカビル)他	事務所賃料、職員通勤定期代他公益目的事業および管理目的に関する費用	455,616
			(前払費用計)	455,616
	貯蔵品	郵便切手	公益目的事業および管理目的に関する未使用の郵便切手	17,030
		(貯蔵品計)	17,030	
仮払金	GMOペイメントゲートウェイ株式会社	一括振込送金サービスの振込資金他	1,485,481	
		(仮払金計)	1,485,481	
流動資産合計				5,964,605
(固定資産)	基本財産			
	基本金(指定)	定期預金		
		三菱東京UFJ銀行 新富町支店	指定寄付金として受け入れた資金であり、公益目的保有財産として管理	3,000,000
			(基本金計)	3,000,000
特定資産	指定寄付金基金	普通預金		
	東日本3.11基金	みずほ銀行 新川支店	指定寄付金として受け入れた資金であり、各寄付金の公益目的事業財源として使用	1,500,000
	未来につなぐふるさと基金	みずほ銀行 新川支店		17,179,274
	ゴールドマンサックス基金	みずほ銀行 新川支店		17,110,407
	ゴールドマンサックス緊急子ども支援基金	みずほ銀行 新川支店		500,000
	ビックブリッジ基金	みずほ銀行 新川支店		570,000
	高田弘子基金	みずほ銀行 新川支店		100,000
	J-Coin基金	みずほ銀行 新川支店		1,000,000
	匿名基金A	みずほ銀行 新川支店		2,384,810
	ギブワン寄付金(オンライン)	みずほ銀行 新川支店		792,419
	AED地域あんしん基金	ジャパンネット銀行 すすめ支店		33,000
	アート&ヘルス基金	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		886,621
	あい基金	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		224,387
	ギブワン寄付金(オフライン)	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		1,029,553
	ゆーじチャレンジ基金	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		8,550,000
	ゆーじ基金ひとり親支援プロジェクト	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		4,180,000
	高山弘子基金	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		2,450,000
	I・H・K基金	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		35,807,090
	大和証券グループ とも応援基金	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		1,360,000
	大和証券グループ 未来応援ボンド	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		8,889,657
	とも応援団体サステナブル基金	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		3,690,418
	謝縁教育基金	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		6,000,000
	緊急災害支援基金	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		6,400,000
	子ども支援団体等緊急支援基金	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		500,000
	Music Cross Aid	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		107,222,790
	NOBUKO基金	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		50,000,000
	ふくしま未来基金②	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		65,136,112
	ふくしま未来基金③	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		4,662,741
	グッドジョブ基金	東邦銀行 本店営業部		31,874,759
	佐渡水仙基金	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		2,068,893
	働く力応援基金	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		1,900,000
	石川清子基金	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		150,000,000
	魚沼の未来基金	塩沢信用組合 本店		40,000,000
	森山秀男基金	ゆうちょ銀行 〇一九支店		15,583,422
	コロナ給付金寄付プロジェクト(医療分野助成基金)	ジャパンネット銀行 はやぶさ支店		50,738,639
				48,953,523

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金額		
その他固定資産	コロナ給付金寄付プロジェクト (福祉・教育・子ども分野助成基金)	ジャパンネット銀行	はやぶさ支店	指定寄付金として受け入れた資金であり、財団の運営管理目的の財源として使用 ヤフー経由で受け入れた指定寄付金であり、公益目的事業財源として使用 有価証券運用益を公益目的事業の財源として使用 助成金として受け入れた資金であり、公益目的事業の財源として使用 公益目的保有財産 事務所賃貸の敷金として使用する財産 会議室賃貸の敷金として使用する財産	14,335,201		
	コロナ給付金寄付プロジェクト (文化・芸術・スポーツ分野助成基金)	ジャパンネット銀行	はやぶさ支店		5,843,755		
	コロナ給付金寄付プロジェクト (経営困難に追い込まれた中小企業分野助成基金)	ジャパンネット銀行	はやぶさ支店		24,479,339		
	財団運営管理基金	三菱東京UFJ銀行	新富町支店		50,000,000		
		三菱東京UFJ銀行	新富町支店		5,000,000		
	コロナ給付金寄付プロジェクト	みずほ銀行	新川支店		99,069		
		ジャパンネット銀行	すずめ支店		20,306,125		
		ジャパンネット銀行	はやぶさ支店		23,269,893		
		ジャパンネット銀行	はやぶさ支店		140,707		
		塩沢信用組合	本店		344,380		
		コロナ給付金寄付プロジェクト(ヤフー経由)	未収金		3,003,648		
	運用型基金				《指定寄付金基金計》	836,100,632	
	じゅんき教育基金	有価証券			有価証券運用益を公益目的事業の財源として使用	8,391,315	
		森山秀男基金	大和証券株			本店	487,289,053
	じゅんき教育基金	普通預金			普通預金	249,661	
		森山秀男基金	ゆうちょ銀行			〇一九支店	13,750,339
	休眠預金助成金				《運用型基金計》	509,680,368	
	支援付住宅・人材育成 子ども支援組織強化 中核的フードバンクによる地域包括支援 こけの住宅困窮者支援	普通預金			助成金として受け入れた資金であり、公益目的事業の財源として使用	30,338,139	
		ジャパンネット銀行	ビジネス営業部			9,083,837	
		ジャパンネット銀行	ビジネス営業部			84,001,392	
昭和信用金庫		京橋支店	502,999,762				
《休眠預金助成金計》				626,423,130			
《特定資産計》				1,972,204,130			
什器備品	PC1台		公益目的保有財産	249,925			
			《什器備品計》	249,925			
	敷金	本和コーポレーション株(ライオンズマンション鉄砲洲)		事務所賃貸の敷金として使用する財産	320,000		
杉浦光子(リソグビル)		会議室賃貸の敷金として使用する財産	255,000				
《敷金計》				575,000			
《その他固定資産計》				824,925			
固定資産合計					1,976,029,055		
資産合計					1,981,993,660		
(流動負債)	未払金	『未来につなぐふるさと基金』助成金5件他		公益目的事業の助成金、委託費他に係る未払い分	4,352,204		
	《未払金計》				4,352,204		
	未払費用	㈱朝日ネット		公益目的事業および管理目的経費に係る未払い分	11,303		
	《未払費用計》				11,303		
	預り金	職員、業務委託者、審査員等からの預り金		公益目的事業及び管理目的の事業に従事する職員の預り金(源泉税、社会保険料、住民税)および公益目的事業に関する業務委託者委託費、審査員謝金等の預り金(源泉税)	263,677		
		給与源泉税			114,418		
		報酬源泉税			367,213		
		健康保険料			599,618		
		厚生年金			106,138		
		雇用保険料			83,600		
個人住民税			1,534,664				
《預り金計》				1,534,664			
流動負債合計					5,898,171		
負債合計					5,898,171		
正味財産					1,976,095,489		

注)・受け入れる指定寄付金は、寄付者の指定のに基づき、別に定めのある基金を除いて寄付金額の5%を、当財団の運営管理費に充当するため財団運営管理基金に受け入れている。

・当該年度より下記の貸借対照表科目の表示を変更した。

(固定資産)特定資産

「指定寄付金資産」を「指定寄付金基金」へ変更

「有価証券」を「運用型基金」へ変更

「休眠預金活用助成金」を「休眠預金助成金」へ変更

正味財産増減計算書
2018年 4月 1日から2019年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1). 経常収益			
基本財産運用益	[298]	[298]	[0]
基本財産受取利息	298	298	0
特定資産運用益	[6,334]	[6,248]	[86]
特定資産受取利息	6,334	6,248	86
賛助会費	[970,000]	[760,000]	[210,000]
事業員受取会費	970,000	760,000	210,000
事業収入	[12,086,095]	[18,420,674]	[△ 6,334,579]
事業収入	12,086,095	18,420,674	△ 6,334,579
寄付金収益	[183,869,735]	[124,848,111]	[59,021,624]
指定寄付金収益	183,869,735	124,848,111	59,021,624
受取物品振替	581,483	0	581,483
雑収益	[664]	[24,034]	[△ 23,370]
受取利息	61	41	20
雑収益	603	23,993	△ 23,390
経常収益計	196,933,126	144,059,365	52,873,761
(2). 経常費用			
事業費	[192,314,867]	[147,120,224]	[45,194,643]
役員報酬	4,608,000	3,222,400	1,385,600
臨時役員料	13,436,714	16,875,399	△ 3,438,685
雇賃	6,386,068	3,687,327	2,698,741
法会費	3,084,471	3,048,069	36,402
研究会費	1,573,054	1,736,405	△ 163,351
出張費	332,648	393,373	△ 60,725
交通費	5,503,424	5,231,670	271,754
通搬費	769,528	648,370	121,158
通信費	1,597,422	1,665,983	△ 68,561
物品寄付金	129,894,938	73,951,117	55,943,821
諸謝託金	1,577,336	1,402,920	174,416
委託費	1,684,099	2,881,834	△ 1,197,735
消耗品費	14,091,314	25,088,161	△ 10,996,847
印刷費	391,055	359,932	31,123
水道費	1,425,622	969,414	456,208
地代	321,848	317,785	4,063
り家賃	1,762,560	1,762,560	0
保支	1,005,488	1,121,547	△ 116,059
租税	0	8,380	△ 8,380
諸公課	1,664,758	1,479,634	185,124
広告費	594,650	883,100	△ 288,450
修繕費	12,000	12,000	0
寄付物品売却	485,240	322,840	162,400
雑費	103,680	50,004	53,676
管 理 費	[4,673,298]	[4,172,417]	[500,881]
役員報酬	5,500	0	5,500
臨時役員料	1,152,000	805,600	346,400
雇賃	485,688	447,081	38,607
法会費	576,076	559,277	16,799
	261,813	170,706	91,107

科 目	当年度	前年度	増減
福 利 厚 生 費	26,208	0	26,208
会 議 費	247,280	193,936	53,344
研 究 費	62,848	0	62,848
出 張 費	126,554	114,120	12,434
旅 通 費	883	16,888	△ 16,005
消 費 信 運 通 搬 費	98,175	116,995	△ 18,820
印 耗 品 費	132,784	165,623	△ 32,839
水 刷 製 本 費	27,946	35,119	△ 7,173
地 道 光 熱 費	56,797	56,080	717
リ 代 一 家 賃 料	311,040	311,040	0
支 払 手 数 料	150,305	180,838	△ 30,533
弁 護 士 税 理 士 報 酬	107,781	183,014	△ 75,233
租 税 公 課	367,200	367,200	0
諸 会 費	1,700	2,700	△ 1,000
広 告 宣 伝 費	438,600	435,400	3,200
修 繕 費	5,980	0	5,980
雑 費	24,840	0	24,840
	10,800	10,800	0
経常費計	196,988,165	151,292,641	45,695,524
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 55,039	△ 7,233,276	7,178,237
評価損益計	0	0	0
当期経常増減額	△ 55,039	△ 7,233,276	7,178,237
2. 経常外増減の部			
(1). 経常外収益			
過 年 度 助 成 金 戻 り	[129,033]	[0]	[129,033]
経常外収益計	129,033	0	129,033
(2). 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	129,033	0	129,033
当期一般正味財産増減額	73,994	△ 7,233,276	7,307,270
一般正味財産期首残高	206,232	7,439,508	△ 7,233,276
一般正味財産期末残高	280,226	206,232	73,994
II 指定正味財産増減の部			
指 定 寄 付 金	[160,104,072]	[133,374,897]	[26,729,175]
指 定 寄 付 金	159,359,689	133,374,897	25,984,792
受 取 寄 付 物 品	744,383	0	744,383
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[△ 183,869,735]	[△ 124,848,111]	[△ 59,021,624]
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 183,869,735	△ 124,848,111	△ 59,021,624
当期指定財産増減額	△ 23,765,683	8,526,786	△ 32,292,469
指定正味財産期首残高	295,772,335	287,245,549	8,526,786
指定正味財産期末残高	272,006,672	295,772,335	△ 23,765,663
III 正味財産期末残高	272,286,898	295,978,567	△ 23,691,669

※株主優待活用プロジェクトの開始に伴い、当年度、以下の科目名の追加と変更を行っている。

経常収益において、寄付金収益「受取寄付金振替」を同「指定寄付金振替」に変更、また同「受取寄付物品振替」を追加

経常費用において、事業費「寄付物品売却損」を追加

指定寄付金において、「受取寄付物品」を追加

正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

公益財団法人パブリックリソース財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[298]	[298]	[0]
基本財産受取利息	298	298	0
特定資産運用益	[4,581]	[6,334]	[△ 1,753]
特定資産運用益	4,581	6,334	△ 1,753
受取会費	[590,000]	[970,000]	[△ 380,000]
賛助会員受取会費	590,000	970,000	△ 380,000
事業収益	[25,600,106]	[12,086,095]	[13,514,011]
事業業収入	25,600,106	12,086,095	13,514,011
寄付金収益	[284,600,734]	[183,869,735]	[100,730,999]
受取寄付金	331,529		331,529
指定寄付金振替	278,158,159	183,288,252	94,869,907
受取寄付物品振替	6,111,046	581,483	5,529,563
受取助成金等	[6,433,030]	[0]	[6,433,030]
休眠預金活用助成金振替	6,433,030	0	6,433,030
寄贈土地・建物	[206,258]	[0]	[206,258]
寄贈土地運用振替額	146,443	0	146,443
寄贈建物運用振替額	59,815	0	59,815
雑収益	[855]	[664]	[191]
受取利息	95	61	34
雑収益	760	603	157
経常収益計	317,435,862	196,933,126	120,502,736
(2) 経常費用			
事業員報酬	[310,298,251]	[192,314,867]	[117,983,384]
役員料	4,761,600	4,608,000	153,600
臨時雇用賃料	22,748,566	13,436,714	9,311,852
法定福利費	3,744,411	6,386,068	△ 2,641,657
会議費	2,900,669	3,084,471	△ 183,802
研究費	5,090,290	1,573,054	3,517,236
出張費	261,220	332,648	△ 71,428
旅費	4,158,633	5,503,424	△ 1,344,791
通信費	3,404,305	769,528	2,634,777
支払補助金	3,186,694	1,597,422	1,589,272
物品寄付金	219,735,287	129,894,938	89,840,349
支払寄付金	5,533,144	1,577,336	3,955,808
諸謝金	50,054	0	50,054
委託託費	1,782,093	1,684,099	97,994
消耗品費	22,676,574	14,091,314	8,585,260
減価償却費	1,482,183	391,055	1,091,128
印刷製本費	40,310	0	40,310
水道光熱費	1,414,067	1,425,622	△ 11,555
地代家賃	388,655	321,848	66,807
リリース料	2,477,394	1,762,560	714,834
保険料	1,129,196	1,005,488	123,708
支払手数料	43,540	0	43,540
租税公課	2,560,476	1,664,758	895,718
諸会費	378,175	594,650	△ 216,475
広告伝費	27,000	12,000	15,000
修繕費	64,800	485,240	△ 420,440
寄付物品売却損	30,699	103,680	△ 72,981
雑費	0	3,450	△ 3,450
管 理 費	228,216	5,500	222,716
役員報酬	[5,299,640]	[4,673,298]	[626,342]
給料	998,400	1,152,000	△ 153,600
臨時雇用賃料	1,461,073	485,688	975,385
	0	576,076	△ 576,076

法 定 福 利 生 費		317,731	261,813	55,918
福 利 厚 生 費		134,267	26,208	108,059
会 議 費		175,503	247,280	△ 71,777
研 究 費		27,000	62,848	△ 35,848
出 張 費		55,920	126,554	△ 70,634
旅 費		80,756	883	79,873
通 信 費		43,358	98,175	△ 54,817
委 託 費		55,000	0	55,000
消 耗 品 費		333,388	132,784	200,604
印 刷 製 本 費		53,846	27,946	25,900
水 道 光 熱 費		42,264	56,797	△ 14,533
地 代 家 賃		375,906	311,040	64,866
り 一 ス		0	150,305	△ 150,305
保 險 料		18,500	0	18,500
支 払 手 数 料		119,831	107,781	12,050
弁 護 士 税 理 士 報 酬		369,600	367,200	2,400
租 税 公 課		5,600	1,700	3,900
諸 会 費		454,200	438,600	15,600
広 告 宣 伝 費		0	5,980	△ 5,980
修 繕 費		103,130	24,840	78,290
雑 費		74,367	10,800	63,567
經常費計		315,597,891	196,988,165	118,609,726
評価損益等調整前当期經常増減額		1,837,971	△ 55,039	1,893,010
評価損益等計		0	0	0
当期經常増減額		1,837,971	△ 55,039	1,893,010
2. 經常外増減の部				
(1) 經常外収益				
過 年 度 支 払 助 成 金 戻 り		132,581	129,033	3,548
寄 贈 土 地 建 物 運 用 振 替 額		2,005,372	0	2,005,372
寄 贈 土 地 運 用 振 替 額		1,423,815	0	1,423,815
寄 贈 建 物 運 用 振 替 額		581,557	0	581,557
經常外収益計		2,137,953	129,033	2,008,920
(2) 經常外費用				
雑 損 失		219,885	0	219,885
特 定 資 産 売 却 損		2,005,372	0	2,005,372
次 年 度 事 業 繰 越 資 産		1,770,000	0	1,770,000
經常外費用計		3,995,257	0	3,995,257
当期經常外増減額		△ 1,857,304	129,033	△ 1,986,337
当期一般正味財産増減額		△ 19,333	73,994	△ 93,327
一般正味財産期首残高		280,226	206,232	73,994
一般正味財産期末残高		260,893	280,226	△ 19,333
II 指定正味財産増減の部				
指 定 寄 付 金	[718,291,606]	[160,104,072]	[558,187,534]	
指 定 寄 付 金	712,343,460	159,359,689	552,983,771	
受 取 寄 付 物 品	5,948,146	744,383	5,203,763	
受 取 助 成 金 等	[122,520,806]	[0]	[122,520,806]	
休 眠 預 金 活 用 助 成 金	122,520,806	0	122,520,806	
受 贈 土 地 建 物	[10,105,372]	[0]	[10,105,372]	
受 贈 土 地 一	7,152,671	0	7,152,671	
受 贈 建 物	2,952,701	0	2,952,701	
特 定 資 産 運 用 有 価 証 券	[242,807,495]	[0]	[242,807,495]	
寄 贈 土 地 建 物 運 用 有 価 証 券	7,893,742	0	7,893,742	
寄 付 金 運 用 有 価 証 券	234,913,753	0	234,913,753	
次 年 度 事 業 繰 越 資 産	[1,770,000]	[0]	[1,770,000]	
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[△ 292,913,865]	[△ 183,869,735]	[△ 109,044,130]	
指 定 寄 付 振 替 額	△ 280,369,789	△ 183,869,735	△ 96,500,054	
寄 付 物 品 振 替 額	△ 6,111,046	0	△ 6,111,046	
休 眠 預 金 活 用 助 成 金 振 替 額	△ 6,433,030	0	△ 6,433,030	
特 定 資 産 運 用 有 価 証 券 へ の 振 替 額	[△ 242,807,495]	[0]	[△ 242,807,495]	
特 定 資 産 評 価 損	[16,232,317]	[0]	[16,232,317]	
当期指定正味財産減額	543,541,602	△ 23,765,663	567,307,265	
指定正味財産期首残高	272,006,672	295,772,335	△ 23,765,663	
指定正味財産期末残高	815,548,274	272,006,672	543,541,602	
III 正味財産期末残高	815,809,167	272,286,898	543,522,269	

正味財産増減計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

公益財団法人パブリックリソース財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[118]	[298]	[△ 180]
基本財産受取利息	118	298	△ 180
特定資産運用益	[3,644,512]	[4,581]	[3,639,931]
特定資産受取利息	312,428	4,581	307,847
運用型基金有価証券受取配当金	417,312	0	417,312
運用型基金有価証券運用益	2,914,772	0	2,914,772
受取会費	[1,050,000]	[590,000]	[460,000]
賛助会費	1,050,000	590,000	460,000
自主事業収益	[10,295,826]	[25,600,106]	[△ 15,304,280]
自主事業収入	10,295,826	25,600,106	△ 15,304,280
受取寄付金収益	[1,377,474,445]	[284,600,734]	[1,092,873,711]
一般寄付金	0	331,529	△ 331,529
指定寄付金振替	1,371,603,224	278,158,159	1,093,445,065
受取寄付物振替	4,101,221	6,111,046	△ 2,009,825
次年度事業繰越	1,770,000	0	1,770,000
受取助成金	[94,648,968]	[6,433,030]	[88,215,938]
指定助成金振替	94,648,968	6,433,030	88,215,938
寄贈土地・建物	[0]	[206,258]	[△ 206,258]
寄贈土地運振替	0	146,443	△ 146,443
寄贈建物運振替	0	59,815	△ 59,815
雑受取利息	[47,674]	[855]	[46,819]
雑受取利息	47,674	855	46,819
雑収	47,569	760	46,809
経常収益計	1,487,161,543	317,435,862	1,169,725,681
(2) 経常費用			
事業費	[1,466,731,555]	[310,298,251]	[1,156,433,304]
役員報酬	1,760,000	4,761,600	△ 3,001,600
給料	32,935,829	22,748,566	10,187,263
臨時雇用賃	4,292,694	3,744,411	548,283
法定福利費	0	2,900,669	△ 2,900,669
会費	481,985	5,090,290	△ 4,608,305
研究会費	128,693	261,220	△ 132,527
出張費	1,629,334	4,158,633	△ 2,529,299
旅費	340,153	3,404,305	△ 3,064,152
通信費	3,998,196	3,186,694	811,502
消耗品費	181,407	1,482,183	△ 1,300,776
修繕費	1,067,550	30,699	1,036,851
印刷費	294,513	1,414,067	△ 1,119,554
水道光熱費	309,065	388,655	△ 79,590
代家賃	1,696,824	2,477,394	△ 780,570
リリース料	1,066,633	1,129,196	△ 62,563
保険料	71,810	43,540	28,270
支謝金	25,968,716	2,560,476	23,408,240
諸謝金	5,817,909	1,782,093	4,035,816
租税公課	259,580	378,175	△ 118,595
支助金	1,351,910,074	219,735,287	1,132,174,787
物品運搬費	3,478,325	5,533,144	△ 2,054,819
評価連費	777,200	0	777,200
諸支費	24,000	27,000	△ 3,000
委託付金	0	50,054	△ 50,054
委託宣費	27,319,004	22,676,574	4,642,430
広告伝却費	292,266	64,800	227,466
減価償却費	96,745	40,310	56,435
雑費	533,050	228,216	304,834
管理費	[21,826,821]	[5,299,640]	[16,527,181]
役員報酬	4,840,000	998,400	3,841,600
給料	7,646,094	1,461,073	6,185,021
法定福利費	3,009,590	317,731	2,691,859
会費	59,365	134,267	△ 74,902
研究会費	89,648	175,503	△ 85,855
出張費	33,968	27,000	6,968
旅費	0	55,920	△ 55,920
通信費	145,984	80,756	65,228
消耗品費	156,872	43,358	113,514
修繕費	91,564	333,388	△ 241,824
印刷費	0	103,130	△ 103,130
水道光熱費	11,208	53,846	△ 42,638
代家賃	128,163	42,264	85,899
地賃	1,543,467	375,906	1,167,561

科 目	当年度	前年度	増減
リ	100,636	0	100,636
保 険 料	0	18,500	△ 18,500
支 払 手 数 料	236,450	119,831	116,619
弁 護 士 税 理 士 等 支 払 報 酬	704,000	369,600	334,400
租 税 公 課	1,677,550	5,600	1,671,950
諸 会 費	425,600	454,200	△ 28,600
支 払 寄 付 金	60,000	0	60,000
委 託 費	849,552	55,000	794,552
雑 費	17,110	74,367	△ 57,257
経常費計	1,488,558,376	315,597,891	1,172,960,485
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,396,833	1,837,971	△ 3,234,804
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,396,833	1,837,971	△ 3,234,804
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過 年 度 助 成 金 戻	0	132,581	△ 132,581
過 年 度 物 品 寄 付 買 取 益	60,600	0	60,600
寄 贈 土 地 建 物 運 用 振 替 額	0	2,005,372	△ 2,005,372
寄 贈 土 地 運 用 振 替 額	0	1,423,815	△ 1,423,815
寄 贈 建 物 運 用 振 替 額	0	581,557	△ 581,557
運用型基金運用益次年度事業充当資金	3,546,334	0	3,546,334
前期損益修正益	39,640	0	39,640
経常外収益計	3,646,574	2,137,953	1,508,621
(2) 経常外費用			
特 定 資 産 売 却 損	0	2,005,372	△ 2,005,372
次 年 度 事 業 繰 越 資 産	0	1,770,000	△ 1,770,000
雑 損 失	1,619,275	219,885	1,399,390
経常外費用計	1,619,275	3,995,257	△ 2,375,982
当期経常外増減額	2,027,299	△ 1,857,304	3,884,603
当期一般正味財産増減額	630,466	△ 19,333	649,799
一般正味財産期首残高	260,893	280,226	△ 19,333
一般正味財産期末残高	891,359	260,893	630,466
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
指 定 寄 付 金	[1,962,132,066]	[718,291,606]	[1,243,840,460]
指 定 寄 付 金	1,958,030,845	712,343,460	1,245,687,385
受 取 寄 付 物 品	4,101,221	5,948,146	△ 1,846,925
指 定 助 成 金	[604,984,322]	[122,520,806]	[482,463,516]
休 眠 預 金 助 成 金	604,984,322	122,520,806	482,463,516
受 贈 土 地 建 物	[0]	[10,105,372]	[△ 10,105,372]
受 贈 土 地	0	7,152,671	△ 7,152,671
受 贈 建 物	0	2,952,701	△ 2,952,701
運用型基金有価証券	[221,126,888]	[242,807,495]	[△ 21,680,607]
寄 付 金 運 用	0	234,913,753	△ 234,913,753
寄 贈 土 地 建 物 運 用	0	7,893,742	△ 7,893,742
特 定 資 産 預 金 運 用	218,442,309	0	218,442,309
特 定 資 産 運 用 益	2,684,579	0	2,684,579
運用型基金資産資金	[14,000,000]	[0]	[14,000,000]
運用型基金資産運用益	[23,572,019]	[0]	[23,572,019]
次 年 度 事 業 繰 越 資 産	[0]	[1,770,000]	[△ 1,770,000]
一般正味財産への振替額	[△ 1,479,010,853]	[△ 292,913,865]	[△ 1,186,096,988]
指 定 寄 付 金 振 替 額	△ 1,371,603,224	△ 280,369,789	△ 1,091,233,435
寄 付 物 品 振 替 額	△ 4,101,221	△ 6,111,046	2,009,825
指 定 助 成 金 振 替 額	△ 94,648,968	△ 6,433,030	△ 88,215,938
次 年 度 事 業 繰 越 振 替 額	△ 1,770,000	0	△ 1,770,000
特 定 資 産 運 用 益 振 替 額	△ 6,887,440	0	△ 6,887,440
特 定 資 産 振 替 額	[△ 235,126,888]	[△ 242,807,495]	[7,680,607]
運用型基金有価証券への振替額	△ 221,126,888	△ 242,807,495	21,680,607
運用型基金資産資金への振替額	△ 14,000,000	0	△ 14,000,000
特 定 資 産 評 価 益	[31,745,985]	[0]	[31,745,985]
特 定 資 産 評 価 損	[△ 16,232,317]	[16,232,317]	[△ 32,464,634]
当期指定正味財産減額	1,159,655,856	543,541,602	616,114,254
指定正味財産期首残高	815,548,274	272,006,672	543,541,602
指定正味財産期末残高	1,975,204,130	815,548,274	1,159,655,856
Ⅲ 正味財産期末残高	1,976,095,489	815,809,167	1,160,286,322

注) 当該年度より下記の勘定科目の表示を変更した。

- Ⅰ 一般正味財産の部Ⅰ.経常増減の部(1)経常収益
 - ・ 特定資産運用益の中科目「特定資産運用益」を「特定資産受取利息」に変更
 - ・ 大科目「事業収益」中科目「事業収入」を大科目「自主事業収益」中科目「自主事業収入」に変更
 - ・ 大科目「寄付金収益」中科目「受取寄付金」を大科目「受取寄付金収益」中科目「一般寄付金」に変更
 - ・ 大科目「受取助成金等」中科目「休眠預金活用助成金振替」を大科目「受取助成金」中科目「指定助成金振替」に変更
- Ⅱ 指定正味財産の部
 - ・ 大科目「受取助成金等」中科目「休眠預金活用助成金」を大科目「指定助成金」中科目「休眠預金助成金」に変更
 - ・ 大科目「特定資産運用有価証券」中科目「寄付金運用有価証券」および「寄贈土地建物運用有価証券」を大科目「運用型基金有価証券」中科目「寄付金運用」および「寄贈土地建物運用」に変更
 - ・ 一般正味財産への振替「休眠預金活用助成金振替額」を「指定助成金振替額」に変更
 - ・ 大科目「特定資産運用有価証券への振替額」を「特定資産振替額」に変更し、中科目「運用型基金有価証券への振替額」で計上する

貸借対照表
2019年3月31日現在

公益財団法人パブリックリソース財団 第7期

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,772,443	495,035	1,277,408
現金	103,047	210,701	△ 107,654
普通預金 三菱東京UFJ	862,446	180,840	681,606
普通預金 ジャパンネット銀行	749,669	0	749,669
普通預金 八千代銀行	57,102	76,124	△ 19,022
当座預金郵便振替口座	179	27,370	△ 27,191
未払費用	119,988	3,468,766	△ 3,348,778
前払費用	433,360	632,420	△ 199,060
流動資産合計	2,325,791	4,596,221	△ 2,270,430
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
特定資産	270,224,312	296,348,181	△ 26,123,869
特定資産合計	270,224,312	296,348,181	△ 26,123,869
(3) その他固定資産			
敷金	320,000	320,000	0
その他固定資産合計	320,000	320,000	0
固定資産合計	273,544,312	299,668,181	△ 26,123,869
資産合計	275,870,103	304,264,402	△ 28,394,299
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	0	2,300,000	△ 2,300,000
未払費用	2,864,013	5,148,794	△ 2,284,781
預り金	719,192	837,041	△ 117,849
流動負債合計	3,583,205	8,285,835	△ 4,702,630
負債合計	3,583,205	8,285,835	△ 4,702,630
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定寄付金	271,843,772	295,772,335	△ 23,928,563
受取寄付物品	162,900	0	162,900
指定正味財産合計	272,006,672	295,772,335	△ 23,765,663
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(269,006,672)	(292,772,335)	(△ 23,765,663)
2. 一般正味財産	280,226	206,232	73,994
正味財産合計	272,286,898	295,978,567	△ 23,691,669
負債及び正味財産合計	275,870,103	304,264,402	△ 28,394,299

貸借対照表

2020年3月31日現在

公益財団法人パブリックリソース財団 第8期

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	975,236	1,772,443	△ 797,207
現金	54,987	103,047	△ 48,060
普通預金	860,452	1,669,217	△ 808,765
当座預金郵便振替口座	59,797	179	59,618
未収金	1,000,000	119,988	880,012
前払費用	637,986	433,360	204,626
仮払金	30,400	0	30,400
流動資産合計	2,643,622	2,325,791	317,831
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
特定資産	812,548,274	270,224,312	540,553,962
指定寄付金資産	468,115,320	270,224,312	197,891,008
休眠預金活用助成金	116,087,776	0	116,087,776
有価証券	226,575,178	0	226,575,178
その他特定資産	1,770,000	0	1,770,000
特定資産合計	812,548,274	270,224,312	540,553,962
(3) その他固定資産			
敷金	575,000	320,000	255,000
什器備品	346,670	0	346,670
その他固定資産合計	921,670	320,000	601,670
固定資産合計	816,469,944	273,544,312	542,925,632
資産合計	819,113,566	275,870,103	543,243,463
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	2,666,318	2,864,013	△ 197,695
預り金	638,081	719,192	△ 81,111
流動負債合計	3,304,399	3,583,205	△ 278,806
負債合計	3,304,399	3,583,205	△ 278,806
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産の部			
寄付金	471,115,320	271,843,772	199,271,548
物品寄付	0	162,900	△ 162,900
休眠預金活用助成金	116,087,776	0	116,087,776
運用有価証券	226,575,178	0	226,575,178
その他特定資産	1,770,000	0	1,770,000
指定正味財産合計	815,548,274	272,006,672	543,541,602
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(812,548,274)	(269,006,672)	(543,541,602)
2. 一般正味財産の部	260,893	280,226	△ 19,333
正味財産合計	815,809,167	272,286,898	543,522,269
負債及び正味財産合計	819,113,566	275,870,103	543,243,463

貸借対照表

2021年3月31日現在

公益財団法人パブリックリソース財団 第9期

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,810,531	975,236	2,835,295
現金	101,231	54,987	46,244
普通預金	3,673,607	860,452	2,813,155
郵便振替口座	35,693	59,797	△ 24,104
未収金	195,947	1,000,000	△ 804,053
前払費用	455,616	637,986	△ 182,370
貯蔵品	17,030	0	17,030
仮払金	1,485,481	30,400	1,455,081
流動資産合計	5,964,605	2,643,622	3,320,983
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
指定寄付金基金資産	836,100,632	468,115,320	367,985,312
運用型基金資産	509,680,368	226,575,178	283,105,190
休眠預金助成金	626,423,130	116,087,776	510,335,354
その他特定資産	0	1,770,000	△ 1,770,000
特定資産合計	1,972,204,130	812,548,274	1,159,655,856
(3) その他固定資産			
敷金	575,000	575,000	0
什器備品	249,925	346,670	△ 96,745
その他固定資産合計	824,925	921,670	△ 96,745
固定資産合計	1,976,029,055	816,469,944	1,159,559,111
資産合計	1,981,993,660	819,113,566	1,162,880,094
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,352,204	0	4,352,204
未払費用	11,303	2,666,318	△ 2,655,015
預り金	1,534,664	638,081	896,583
流動負債合計	5,898,171	3,304,399	2,593,772
負債合計	5,898,171	3,304,399	2,593,772
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産の部			
指定寄付金基金資産	839,100,632	471,115,320	367,985,312
運用型基金資産	509,680,368	226,575,178	283,105,190
休眠預金助成金	626,423,130	116,087,776	510,335,354
その他特定資産	0	1,770,000	△ 1,770,000
指定正味財産合計	1,975,204,130	815,548,274	1,159,655,856
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,972,204,130)	(812,548,274)	(1,159,655,856)
2. 一般正味財産の部	891,359	260,893	630,466
正味財産合計	1,976,095,489	815,809,167	1,160,286,322
負債及び正味財産合計	1,981,993,660	819,113,566	1,162,880,094

注) 当該年度より下記の勘定科目の表示を変更した。

- I 資産の部2. 固定資産 (2) 特定資産
 - ・ 有価証券を運用型基金資産へ変更
 - ・ 休眠預金活用助成金を休眠預金助成金へ変更
- III 正味財産の部1 指定正味財産の部
 - ・ 寄付金を指定寄付金基金資産へ変更
 - ・ 運用有価証券を運用型基金資産
 - ・ 休眠預金活用助成金を休眠預金助成金へ変更

財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

消費税の会計処理：消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金	3,000,000	0	0	3,000,000
合計	3,000,000	0	0	3,000,000

3. 基本財産の財源の内訳

基本財産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に 対応する額
基本財産				
基本金	3,000,000	3,000,000	0	0
合計	3,000,000	3,000,000	0	0

4. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
寄附基金				
ギブワン寄附金（オンライン）	4,355,630	28,257,417	27,375,550	5,237,497
ギブワン寄附金（オフライン）	405,471	3,081,434	3,486,905	0
未来につなぐふるさと基金	13,884,922	12,199,044	12,135,327	13,948,639
東北3.11基金	981,120	1,695,935	1,009,806	1,667,249
アート&ヘルス基金	175,214	41,518	0	216,732
ふくしま未来基金①	40,888,054	0	30,891,127	9,996,927
ふくしま未来基金②	116,130,440	10,185	12,172,045	103,968,580
ふくしま未来基金③	36,537,500	0	0	36,537,500
あい基金	1,500,000	1,119,227	1,419,227	1,200,000
AED 地域あんしん基金	1,589,953	1,594,270	1,834,537	1,349,686
AED 健康スポーツ基金	275,455	21,480	0	296,935
魚沼の未来基金	6,296,763	7,089,811	3,641,526	9,745,048

純子ども基金	0	3,400,000	3,400,000	0
グッドジョブ基金	2,050,519	20,000	1,626	2,068,893
ゆーじチャレンジ基金	1,940,000	1,176,000	426,000	2,690,000
I.H.K.基金	120,000	1,116,000	636,000	600,000
高山基金	53,040,000	0	0	53,040,000
WSCF基金	0	1,144,000	0	1,144,000
角方基金	0	9,500,000	0	9,500,000
佐渡水仙基金	0	1,900,000	0	1,900,000
緊急災害支援基金	0	2,850,000	0	2,850,000
大和証券グループ子ども応援基金	650,000	22,026,399	18,206,173	4,470,226
ゴールドマンサックス基金①	2,203,340	0	2,203,340	0
ゴールドマンサックス基金②	0	55,851,842	55,851,842	0
教育基金	0	19,383	19,383	0
エイブルアート年賀状寄附金	0	87,894	87,894	0
株主優待活用プロジェクト(物品寄贈)	0	744,383	581,483	162,900
その他指定寄附金	0	10,000	10,000	0
財団運営管理基金	13,323,800	5,147,850	10,838,150	7,633,500
合 計	296,348,181	160,104,072	186,227,941	270,224,312

注：受け入れる指定寄附金は、寄附者の指定に基づき、別に定めのある基金を除いて寄附金額の20%を上限に、当財団の運営管理費に充当するため財団運営管理基金に受け入れている。

5. 特定資産の財源の内訳

特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に 対応する額
特定資産				
寄附基金	270,224,312	269,006,672	0	1,217,640
合 計	270,224,312	269,006,672	0	1,217,640

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	金額
経常収益への振替額	
指定寄附金の使用による振替額	183,869,735
合計	183,869,735

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記「2. 基本財産の増減額及びその残高」及び「4. 特定資産の増減額及びその残高」において記載しているため記載を省略している。

財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

時価のあるその他有価証券につき、決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額を正味財産増減として処理)を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産につき、定額法によっている。

(3) 消費税等の処理方法

消費税の会計処理：消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金	3,000,000	0	0	3,000,000
合計	3,000,000	0	0	3,000,000

3. 基本財産の財源の内訳

基本財産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
基本金	3,000,000	3,000,000	0	0
合計	3,000,000	3,000,000	0	0

4. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
寄附基金				
ギブワン寄附金(オンライン)	5,237,497	33,824,404	36,179,041	2,882,860
ギブワン寄附金(オフライン)	0	3,653,181	3,653,181	0
未来につなぐふるさと基金	13,948,639	12,340,998	14,398,366	11,891,271

東日本 3.11 基金	1,667,249	1,553,329	1,661,927	1,558,651
アート&ヘルス基金	216,732	7,655	0	224,387
ふくしま未来基金①	9,996,927	15,107,360	25,104,287	0
ふくしま未来基金②	103,968,580	0	23,598,264	80,370,316
ふくしま未来基金③	36,537,500	10,800	0	36,537,500
あい基金	1,200,000	1,796,441	1,946,441	1,050,000
AED 地域あんしん基金 (物品寄贈を含む)	1,646,621	380,000	1,520,000	506,621
魚沼の未来基金	9,745,048	7,155,639	4,720,986	12,179,701
純 子ども基金	0	3,200,000	3,200,000	0
グッドジョブ基金	2,068,893	0	0	2,068,893
ゆーじチャレンジ基金	2,690,000	1,176,000	396,000	3,470,000
I. H. K. 基金	600,000	1,501,000	741,000	1,360,000
高山基金	53,040,000	0	8,906,250	44,133,750
WSCF 基金	1,144,000	160,000	1,304,000	0
角方基金	9,500,000	1,499,000	3,750,230	7,248,770
佐渡水仙基金	1,900,000	0	0	1,900,000
緊急災害支援基金	2,850,000	2,850,000	1,150,000	4,550,000
大和証券グループこども応援基金	4,470,226	28,475,009	24,396,351	8,548,884
大和証券サンタチャリティプロジェクト	0	9,342,000	9,227,916	114,084
ゴールドマンサックス基金	0	112,046,601	112,046,601	0
移民難民支援基金	0	3,800,000	3,800,000	0
ビッグブリッジ基金	0	950,000	190,000	760,000
高田基金	0	950,000	0	950,000
はる基金	0	1,900,000	1,900,000	0
エイブルアート年賀状寄附金	0	35,705	35,705	0
じゅんき教育基金 (※1)	0	10,105,372	2,739,348	7,366,024
森山基金 (※2)	0	453,542,309	15,890,846	437,651,463
その他の指定寄附金	0	35,000	35,000	0
パナソニック事業評価プロジェクト	0	1,770,000	0	1,770,000
株主優待活用プロジェクト (物品寄贈)	162,900	5,948,146	6,111,046	0
休眠預金助成金 (支援付住宅・人材育成)	0	91,066,935	4,325,128	86,741,807
休眠預金助成金 (子ども支援組織強化)	0	31,453,871	2,107,902	29,345,969
財団運営管理基金	7,633,500	30,169,189	10,435,366	27,367,323
合 計	270,224,312	867,795,144	324,471,182	812,548,274

(※1) 運用型基金であり、当期減少額には期末評価損 15,704,599 円を含む。

(※2) 運用型基金であり、当期減少額には期末評価損 527,718 円を含む。

注：受け入れる指定寄附金は、寄附者の指定に基づき、別に定めのある基金を除いて、寄附金額の5%を、当法人の運営管理費に充当するため財団運営管理基金に受け入れている。

5. 特定資産の財源の内訳

特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に 対応する額
特定資産				
寄附基金	468,115,320	468,115,320	0	0
指定助成金	116,087,776	116,087,776	0	0
有価証券	226,575,178	226,575,178	0	0
特定事業費	1,770,000	1,770,000	0	0
合計	812,548,274	812,548,274	0	0

6. 担保にしている資産

該当する資産はない。

7. 固定資産の取得価額、減価償却類型学及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却類型学及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	386,980	40,310	346,670
合計	386,980	40,310	346,670

8. 保証債務等の偶発債務

該当する偶発債務はない。

9. 補助金の交付者、増減額及びその残高

補助金等の交付者、増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
助成金					
休眠預金活用法に基づく	一般財団法人 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)				
ソーシャルビジネス形成 支援事業助成金 (住宅)		0	91,066,935	4,325,128	86,741,807
草の根活動 支援事業助成金 (子ども)		0	31,453,871	2,107,902	29,345,969
合計		0	122,520,806	6,433,030	116,087,776

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	金額
経常収益への振替額	
指定寄附金の使用による振替額	292,913,865
合計	292,913,865

11. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属性	法人等の名称及び住所 及び住所	資産総額 (単位：円)	事業の 内容	議決権の 保有割合
役員	株式会社パブリック不動産 神奈川県横浜市西区南浅間町 20-18	1,174,398	不動産業	1/2(及び 近親者 1/2)
関係内容；役員の兼務等 (事業上の関係はない)	取引の内容	取引金額 (単位：円)	科目	計上額
当法人代表理事久住剛が 同社代表取締役である	当法人保有不動産の売却 (価額 8,100 千円) の仲介	8,100,000	支払 手数料	200,000

取引条件：期間は令和 1 年 10 月 21 日～同年 412 月 21 日を有効期間とする一般媒介契約締結、仲介手数料 200,000 円（法定上限 303,000 円）、別途同社から当法人に対し当該不動産に係る登記関係費用及び租税の当法人負担分相当額（308,900 円）を寄附

12. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、基本財産は安全性の高い預貯金で運用する他、公益目的事業の原資に運用益を充当するよう寄附者から指定された寄附金について、預貯金及び国内外の債券、株式、投資信託、リート等を組み込んだ複合金融商品等により資産運用を行う。デリバティブ取引は行わない。

(2) 金融商品及びそのリスク

運用対象としている金融商品は、国内外の債券、株式、リートを組み込んだポートフォリオの受益証券であり、発行体の信用リスク、市場リスク（金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク）、カントリーリスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクにかかる管理体制

①資産運用管理規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用管理規程に基づき行う。

②信用リスク、市場リスク及びカントリーリスク

保有する金融商品について関連する市場等の動向を把握し、運用状況について理事会及び評議員会に報告する。

なお、金融商品の状況に関する事項の注記は、「平成 27 年度公益法人の会計に関する諸課題の検討結果について」（平成 28 年 3 月 23 日 内閣府公益認定等委員会 公益法人の会計に関する研究会）で示された結論に準拠している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記「2. 基本財産の増減額及びその残高」及び「4. 特定資産の増減額及びその残高」において記載しているため記載を省略している。

11 財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

時価のあるその他有価証券につき、決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額を正味財産増減として処理)を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産につき、定額法によっている。

(3) 消費税等の処理方法

消費税の会計処理：消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金	3,000,000	0	0	3,000,000
合計	3,000,000	0	0	3,000,000

3. 基本財産の財源の内訳

基本財産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
基本金	3,000,000	3,000,000	0	0
合計	3,000,000	3,000,000	0	0

4. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
指定寄付金基金				
東日本3.11基金	1,558,651	1,331,482	1,390,133	1,500,000
未来につなぐふるさと基金	11,891,271	10,714,116	5,426,113	17,179,274

ゴールドマンサックス基金	0	142,096,174	124,985,767	17,110,407
ゴールドマンサックス緊急子ども支援基金	0	150,010,250	149,510,250	500,000
ビックブリッジ基金	760,000	0	190,000	570,000
高田弘子基金	950,000	1,000,000	1,850,000	100,000
J-Coin 基金	0	507,652,109	506,652,109	1,000,000
匿名基金A	0	50,000,000	47,615,190	2,384,810
ギブワン寄付金（オンライン）	2,882,860	25,276,310	27,333,751	825,419
AED 地域あんしん基金	506,621	400,000	20,000	886,621
アート&ヘルス基金	224,387	0	0	224,387
あい基金	1,050,000	95,711	116,158	1,029,553
ギブワン寄付金（オフライン）	0	9,000,000	450,000	8,550,000
ゆーじチャレンジ基金	3,470,000	1,270,000	560,000	4,180,000
ゆーじ基金ひとり親支援プロジェクト	0	2,572,500	122,500	2,450,000
高山弘子基金	44,133,750	0	8,326,660	35,807,090
I・H・K基金	1,360,000	1,580,000	1,580,000	1,360,000
大和証券グループこども応援基金	8,548,884	16,675,480	16,334,707	8,889,657
大和証券サンタチャリティプロジェクト	114,084	12,635,648	12,749,732	0
大和証券グループ未来応援ポンド子ども支援団体サステナブル基金	0	35,199,455	31,509,037	3,690,418
謝縁教育基金	7,248,770	50,000	1,298,770	6,000,000
緊急災害支援基金	4,550,000	3,000,000	1,150,000	6,400,000
子ども支援団体等緊急支援基金	0	14,075,205	13,575,205	500,000
Music Cross Aid	0	225,677,145	118,454,355	107,222,790
NOBUKO 基金	0	50,000,000	0	50,000,000
ふくしま未来基金①	0	14,915,373	14,915,373	0
ふくしま未来基金②	80,370,316	0	15,234,204	65,136,112
ふくしま未来基金③	36,537,500	0	0	36,537,500
グッドジョブ基金	2,068,893	0	0	2,068,893
佐渡水仙基金	1,900,000	0	0	1,900,000
働く力応援基金	0	150,000,000	0	150,000,000
石川清子基金	0	40,000,000	0	40,000,000
魚沼の未来基金	12,179,701	8,275,264	4,871,543	15,583,422
森山秀男基金	218,442,309	53,409,094	221,112,764	50,738,639
コロナ給付金寄付プロジェクト(医療分野助成基金)	0	168,124,523	116,167,352	51,957,171

コロナ給付金寄付プロジェクト(福祉・教育・子ども分野助成基金)	0	74,841,218	60,506,017	14,335,201
コロナ給付金寄付プロジェクト(文化・芸術・スポーツ分野助成基金)	0	38,458,254	32,614,499	5,843,755
コロナ給付金寄付プロジェクト(経営困難に追い込まれた中小企業分野助成基金)	0	72,807,285	48,327,946	24,479,339
その他の指定寄付金	0	4,959,086	4,959,086	0
エイブルアート年賀状寄付金	0	40,535	40,535	0
移民難民支援基金	0	4,000,000	4,000,000	0
舞台芸術を未来に繋ぐ基金	0	54,155,728	54,155,728	0
アーツ・ユナイテッド・ファンド	0	17,641,280	17,641,280	0
Dress farm 2020 基金	0	11,006,993	11,006,993	0
次年度事業繰越資金	1,770,000	0	1,770,000	0
株主優待活用プロジェクト(物品寄贈)	0	4,101,221	4,101,221	0
財団運営管理基金	27,367,323	84,529,302	12,736,451	99,160,174
運用型基金				
じゅんき教育基金(※1)	7,366,024	1,274,952	0	8,640,976
森山秀男基金(※2)	219,209,154	290,592,016	8,761,778	501,039,392
指定金助成金				
休眠預金助成金(支援付住宅・人材育生)	86,741,807	0	56,403,668	30,338,139
休眠預金助成金(子ども支援組織強化)	29,345,969	14,283,000	34,545,132	9,083,837
休眠預金助成金(中核的フードバンクによる地域包括支援)	0	87,701,560	3,700,168	84,001,392
休眠預金助成金(コロナ禍の住宅困窮者支援)	0	502,999,762	0	502,999,762
合計	812,548,274	2,958,428,031	1,798,772,175	1,972,204,130

(※1) 運用型基金であり、当期増加額には期末評価益 497,573 円を含む。

(※2) 運用型基金であり、当期増加額には期末評価益 31,248,412 円を含む。

注：受け入れる指定寄付金は、寄付者の指定に基づき、別に定めのある基金を除いて、寄付金額の5%を、当法人の運営管理費に充当するため財団運営管理基金に受け入れている。

5. 特定資産の財源の内訳

特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に 対応する額
特定資産				
指定寄付金基金	836,100,632	836,100,632	0	0

運用型基金	509,680,368	509,680,368	0	0
指定助成金	626,423,130	626,423,130	0	0
合 計	1,972,204,130	1,972,204,130	0	0

6. 担保にしている資産

該当する資産はない。

7. 固定資産の取得価額、減価償却類型学及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却類型学及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	512,390	262,465	249,925
合 計	512,390	262,465	249,925

8. 保証債務等の偶発債務

該当する偶発債務はない。

9. 補助金の交付者、増減額及びその残高

補助金等の交付者、増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
助成金					
休眠預金活用法に基づく	一般財団法人 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)				
ソーシャルビジネス形成 支援事業助成金 (住宅)		86,741,807	0	56,403,668	30,338,139
草の根活動 支援事業助成金 (子ども)		29,345,969	14,283,000	34,545,132	9,083,837
中核的フードバンクによる 地域包括支援事業助成 (フ ードバンク)		0	87,701,560	3,700,168	84,001,392
コロナ禍の住宅困窮者支援 事業助成 (コロナ)		0	502,999,762	0	502,999,762
合 計		116,087,776	604,984,322	94,648,968	626,423,130

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	金額
経常収益への振替額	
指定寄付金の使用による振替額	1,377,474,445
指定助成金の使用による振替額	94,648,968
特定資産運用益による振替額	6,887,440
合計	1,479,010,853

1.1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、基本財産は安全性の高い預貯金で運用する他、公益目的事業の原資に運用益を充当するよう寄附者から指定された寄附金について、預貯金及び国内外の債券、株式、投資信託、リート等を組み込んだ複合金融商品等により資産運用を行う。デリバティブ取引は行わない。

(2) 金融商品及びそのリスク

運用対象としている金融商品は、国内外の債券、株式、リートを組み込んだポートフォリオの受益証券であり、発行体の信用リスク、市場リスク（金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク）、カントリーリスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクにかかる管理体制

①資産運用管理規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用管理規程に基づき行う。

②信用リスク、市場リスク及びカントリーリスク

保有する金融商品について関連する市場等の動向を把握し、運用状況について理事会及び評議員会に報告する。

なお、金融商品の状況に関する事項の注記は、「平成 27 年度公益法人の会計に関する諸課題の検討結果について」（平成 28 年 3 月 23 日 内閣府公益認定等委員会 公益法人の会計に関する研究会）で示された結論に準拠している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記「2. 基本財産の増減額及びその残高」及び「4. 特定資産の増減額及びその残高」において記載しているため記載を省略している。